

(表紙)

重豪公
自寶曆十二年十二月
至同十三年十二月

追
舊
記
雜
錄
卷百二十

2752 重豪公御譜中

正文在文庫

明十五日五時登
城、婚姻之御禮可被申上外、以上、

〔寶曆十二年〕
十二月十四日

松平右京大夫(重高)
井上河内守(正)
秋元但馬守(源)
松平右近將監(武)
酒井左衛門尉(忠)

松平薩摩守殿(重)

2753 全御譜中

同年十二月十五日以嚮婚姻禮畢、故獻縮緬十卷于
大樹家治公、白銀五枚于御臺所、拜謝之是日有疾不能遣朝以三
名代阿部豊前守、夫人亦獻縮緬五卷・二種一荷于
正固一拜、
家治公、卷物三・一種一荷于御臺所也、

2754 重豪公御譜中

正文在文庫

今朝蜜柑二箱・炙鮎一箱被獻之外、遂披露外處一段之御
仕合外、恐々謹言、

〔寶曆十二年〕
十二月十八日 輝高判

松平薩摩守殿
松平右京大夫
輝高

2755 全上

なをくめてたくかしく、
歳暮の御しう儀御めてたさ、先く
公方様
御邊様
若君様御機嫌よくならせられ、

2756

姫君様 御出生様御機嫌よく御賑くしく御いわぬあそ
ハされり、さては歳暮之御祝義として、此目錄のとをり
被進り、御めて度御いたゝき被成まいらせり、なを幾久
しく永年御機嫌よく御長久御繁昌の御事にて、相かハラ
すと祝入まいらせり、めてたくかしく、

〔寶曆十二年〕

6

松平

薩摩守様

人々御中

- 松しま
- 高をか
- うら尾
- いは瀬
- いさ野
- たき川
- むめた

全上

扣正文在右筆所

進上

御刀備前國盛景

一腰

以上

(島津重豪)
御名

2757

全上

扣正文在右筆所

覺

御刀 備前國盛景代令二拾五枚
長二尺三寸六分

- 一 御三所物栗色繪作廉乘
- 一 御組二重金
- 一 御切羽金
- 一 御鍔赤銅磨
- 一 御縁赤銅七子
- 一 御柄鮫白糸卷
- 一 御鞆黒塗
- 一 御鵬目金
- 一 御下緒
- 一 御小刀壽命
- 一 御袋緞子

以上

右御里披キ之節、十二月廿一日

刑部卿様に被進り、

2758

饗婚禮已成矣、以故欲招請徳川宗尹卿於芝第一、而家作

未全就、是以十二月二十五日迎宗尹卿之家老田沼能登守意誠以下番頭及用人等於芝第二櫻、焉（婚姻以後稱之、五目祝儀）支族末

家亦招之、今日以其無來臨、故贈檜重一組・芳茗一匣・鯛一折・美酒雙樽于宗尹卿、同品于其令嗣治濟卿、

又饋檜重一組・芳茗一匣・鯛一折于松平大藏大輔頼順、其餘於宗尹卿之令子平亦各贈物矣、

2759 重豪公御譜中

正文在文庫

爲歲暮之祝儀、小袖一重到來歡覺候、委曲井上河内守可述也、

(朱) 一寶曆十二年 十二月廿七日



薩摩少將殿

全上

若君様御破魔弓一飾、以使者被獻之外、首尾好遂披露、恐々謹言、

(朱) 一寶曆十二年 十二月廿八日 康福判

2762 2761

松平薩摩守殿 松平周防守 康福

重豪公御譜中

扣正文在家老座

刑部卿様より三ツ目爲御祝

御二方様可被成 御越旨、前以物頭御使者を以被仰進、今月廿一日九ツ時

太守様御出 御前様ニ老五ツ時御出、一橋に被遊 御

越、別紙御次第書之通御祝首尾能被爲濟、御

太守様暮六ツ時過 御前様夜入四ツ時過、御機嫌克被

遊 御歸館外、

一三ツ目御祝被爲濟外付、左殿・御家老・御側御用人・

御近習役・御側廻之面々、御歸館以後御近習役は相付

御祝詞申上、御前様は兼御祝詞申上外面、御

祝詞申上外面、各并兼御祝詞被申上外面、御祝詞

之儀、被申上可可有之外、先年、菊姫様三ツ目御祝

之節、其元ニ大御目附以上之御役、隅州様迄御祝詞

申上、御女中様方に老御祝詞不及由書留有之外付、

此節全殿拙者共より 御女中様方に老御祝詞申上及

此段及御返答候、以上

間鋪と申談り、尤 菊姫様五ツ目御祝ニ付る者 御守殿御差圖之上、御祝詞ニ不及段書留有之り、且長門(毛刻吉元)より御入興之節者、御婚姻方引續御祝有之り付、段々之御祝詞相混爲有之筋ニ相見得り、右次第ニ付故、此節者御婚姻被爲濟り節御祝詞申上り付、三ツ目・五ツ目被爲濟り付る者、其儀ニ及間敷と先例を承相しらへ申談り、御内々左殿拙者共方者御祝詞申上り得共、御役人限御祝詞ニ者及間鋪とは又申談り、

但 御守殿其外様に御祝詞不申上り、此段者爲御存り、一五ツ目爲御祝 刑部卿様御招請可被遊儀り得共、當分御家作表無之り付、以後御家作御出來之上御招請被遊善り付、此節五ツ目御祝ニ者、一橋御家老・御番頭・御用人衆且此御方御末家方御招、今月廿五日別紙次第書之通御祝首尾好相濟申り、
一五ツ目御祝當日 淨岸院(竹姬)ニ者、於新興御料理等被進善り得共、年内日迫ニ付故、今月十八日別紙次第書之通御料理被進相濟申り、

右之通御祝被爲濟、恐悦御同意奉存り、此段申越り條、御女中様方に可被申上り、別紙次第書四通、一橋御次第書壹通并被進物被下物等書付貳通差越申り、

以上、

〔寶曆十二年〕十二月廿八日(朱) 高橋(種彦)此面
三月三日(朱) 上 嶋津主鈴(久定)

嶋津圖書殿(久定)

嶋津山城殿(美忠)

菱刈藤馬殿(政老)

鎌田藏人殿(政老)

〔朱〕
一全上

扣正文在家老座

松平薩摩守殿御三ツ目爲御祝儀御出之次第

一薩摩守殿御越被成り付、番頭用人(朱)玄關二行列居、旗奉行・長柄奉行・郡奉行・勘定奉行・物頭・

目付・徒頭・小十人頭・普請奉行等者、敷薄縁鋪出と

二行列居、

一家老(朱)玄關上ニ罷在、薩摩守殿御案内申、近習番(朱)兩人玄關上當番所脇拭板相詰、薩摩守

殿御刀持之、隼之助表溜之間に出迎、書院前通、對面

所に案内之事、

一此節刑部卿殿 民部卿殿二之間杉戶外迄被出迎、刑部

所

卿殿下段障子之方着座、薩摩守殿同所襖之方御着座、

家老下段縁頬柱際ニ出席、二之間縁頬通、番頭用人并

居小姓二之間ニ列居、近習番三之間ニ列居、刑部卿殿

民部卿殿刀附書院後に縁頬通り小姓持之、薩摩守殿御

刀三之間ニ近習番持之、于時熨斗三方小姓持之、下段

中央差置之、則引之、早為刑部卿殿に薩摩守殿御持參

之御品近習番持出之、下段敷居内置之、御太刀目錄用

人持出之、家老に渡之、家老請取之、下段敷居二疊目

掛ヶ置之、敷居際ニ薩摩守殿御持參之旨家老披露之、

早為同人引之、二之間縁頬通ニ用人請取之引、御持

參之御品近習番引之、民部卿殿に御持參之御品・御太

刀目錄出之、次第如前、早為民部卿殿勝手は退座、

刑部卿殿

薩摩守殿

初獻御名、組付

銚子

加

右盃ニ刑部卿殿薩摩守殿御一獻宛ニ御扣之節、

三獻出

盃土器

下捨土器

肴

刑部卿殿御挨拶有之、右盃ニ刑部卿殿被初、加有

其盃薩摩守殿に進被申、薩摩守殿御一獻御上り、御加

有る挾肴被致、薩摩守殿御銚付有之内、引出物大小用

人持出之、刑部卿殿左之方ニ差置之、家老取之進被申

之旨述之、于時薩摩守殿御請取御會釋有之、御大小御

脇ニ被差置、少シ御進ミ右之御挨拶被仰述、元之席に

御復座、于時番頭罷出、御大小次之方は引之、早為御

加有る御一獻御上り、其御盃刑部卿殿に進被申、刑部

卿殿一獻被給、加有、時薩摩守殿御挾肴有る刑部卿殿

銚付被致、右盃納メ被申事、

一刑部卿殿御會釋有之、勝手に入被申、此節薩摩守殿大

奥に御通ハ様家老申述之、家老案内ニ大奥に御通之

事、

一薩摩守殿大奥に御通之節、民部卿殿奥錠口外迄被出迎、

御同道ニ對面所に御通、民部卿殿下段襖之方ニ着座、

薩摩守殿同障子之方御着座、隼之助・鎌三郎襖之方出

座、于時熨斗三方女中持出之、下段中央ニ差置退、次

ニ熨斗三方引之、此節御吸物出ル、

盃

引渡

肴

捨土器

民部卿殿御挨拶有之、右之盃ニ被初、其盃薩摩守殿
 ニ進被申、薩摩守殿御一獻御上り、御加有、民部卿
 殿挨拶進被申、薩摩守殿御一獻御上り、其御盃隼之助
 ニ被遣、隼之助一獻被給、加有、薩摩守殿御挨拶有
 之、隼之助一獻被給、其盃薩摩守殿ニ進上、薩摩守殿
 御一獻御上り、御加有、時隼之助挨拶進上、薩摩守殿
 御一獻御上り、其御盃鎌三郎ニ被遣、鎌三郎一獻被
 給、加有、時薩摩守殿御挨拶被遣、鎌三郎一獻被給、
 其盃薩摩守殿ニ進上、薩摩守殿御一獻御上り、御加有、
 時鎌三郎挨拶進上、薩摩守殿御一獻御上り、其御盃民
 部卿殿ニ進被申、民部卿殿一獻被給、加有、時薩摩守
 殿方御挨拶進被申、民部卿殿右盃納メ被申、酌加引、
 三獻順々引之、早、民部卿殿・隼之助・鎌三郎勝手ニ
 退座、

一 薩摩守殿御刀錠口より大奥に相廻事、

一 右早る同所に保姫様御出座、薩摩守殿御對面熨斗三方

女中持出之、則引之、此節三汁十菜之料理出之、

但 民部卿殿引肴被致事、

一 薩摩守殿被成御披り節、隼之助案内ニ表對面所に御
 通、于時菓子・茶出ル、薩摩守殿御挨拶有る御披被成
 事、

一 此節二之間杉戸外迄刑部卿殿 民部卿殿送被申、表溜
 之間迄隼之助送被申事、

御三ツ目爲御祝來ル廿一日

刑部卿様は 太守様御越

御前様御里披之次第

一 太守様御支度、加珥無地御熨斗目同色長御袴、御供廻
 常式之通、御跡乘支度無地熨斗目同色半上下、其外平
 服嫌色ニ無之染可致着服、

一 御道筋 太守様表御玄喚より 御出、將監橋、愛宕之
 下、大名小路、幸橋、日比谷、八代洲河岸辰之口右に、
 神田橋見附前、一ツ橋御屋敷、御前様東御門より御出、
 同斷御通路被遊、

一 太守様御出之節、御家老其外之御役々、常式之通御式

臺に罷出、

但 支度不洗物麻上下、

今日御祝付の御祝物

刑部卿様御方（朱）一取紙ニ而、此御方御家老中被召呼筈（朱）引札ニ而付、御留

守居山澤小左衛門案内思召之由ニ掛合有之候、然共、御守殿御用付、ニ御参上可仕
急人者御驗、數々相殘居不申候而不叶候、依之候

殿事先（朱）而、刑部卿様（朱）、御家老中銘々より、御太

刀・馬代進上可仕御目見候仕候間、此節者相殘申渡候、付、

小左衛門儀表被召呼付、刑部卿様 民部卿様右ニ付而書当日朝御札ニ、一掃御式台江罷券ル筈ニ表可有之候、何様箱

看一種宛進上可仕仕可然致之旨山澤小左衛門より御用人中迄申進置候得共、未返答無之候、而相究候節何分申上管候一

御前様御出付、東御門内御歩行貳人并足輕立番飾桶見

一東御門押番所番人麻上下着用可致付、

一同斷御門内横目罷出可致下知付、支度同斷、

一御前様被遊 御越付御供廻、御行列書之通、御跡乘支

度加珎無地熨斗目同半上下、御輿廻納殿役支度同斷、

一奥横目・奥大番・御先供支度不洗物麻上下、嫌色（朱）の

無之染可致着服付、

一御家老其外伺御機嫌申上付面々、新輿納殿迄罷上り、

納殿役人を以伺御機嫌可申上付、

一御太刀一腰

一御馬代金一枚

一縮緬十卷

刑部卿様（朱）

一御太刀一腰

一御馬代金一枚

一縮緬五卷

民部卿様（朱）

右御使番御使者を以先達る被進置付、支度加珎無地熨

斗目同色半上下、

一御太刀一腰宛

一御馬代金一枚宛

隼之助様

鎌三郎様（朱）

右御使番御使者を以被進付、支度前條同斷、

一御太刀一腰

一御馬代金一枚

越前守様（朱）

右則日御留守居御使者を以可被進付、支度同斷、

一 御刀一腰

刑部卿様に

右同斷御内證より可被進外間、御留守居外一橋御役人中に前以及掛合、

太守様御出、前以一橋御役人中に御留守居外可引渡外、

但御留守居御納戸奉行申談可取計外、

右之通從 太守様被進外、

一 縮緬十卷

一 鯛一折

一 昆布一折

一 御樽一荷

刑部卿様に

一 縮緬五卷

一 鯛一折

一 昆布一折

一 御樽代千疋

民部卿様に

右御使番御使者を以被進置外、
(支カ)前度前條同斷、

一 縮緬三卷宛

一 鯛一折宛

一 昆布壹折宛

一 御樽代五百疋宛

隼之助様

鎌三郎様に

右御使番御使者を以被進外、支度同斷、

一 縮緬三卷

一 鯛一箱

一 昆布一箱

一 御樽代五百疋

越前守様に

右御留守居御使者を以可被進外、支度同斷、

右之通從 御前様被進外、

一 縮緬三卷ツ、

一 鯛一箱ツ、

刑部卿様御家老

田沼能登守殿(意)

田中出羽守殿(勝芳)

一 紗綾三卷ツ、

同御番頭

高林彌兵衛殿(明彦)

末吉善左衛門殿^(利 遜)
石川孫太郎殿^(政)

同御用人

小宮山利助殿^(昌 則)

成田八右衛門殿^(勝 豊)

鈴木彦八郎殿^(茂 正)

鈴木治左衛門殿^(重 巻)

守山八十郎殿^(房 寛)

刑部卿様御方

御年寄女貳人

御年寄女格壹人

一紗綾三卷ツ、

一同貳卷ツ、

右同

若年寄女三人

若年寄女格壹人

若年寄女格鎖口壹人

右同御廣敷御用人

細井幸次郎殿^(隆 道)

加藤權左衛門殿^(那 遜)

一同貳卷ツ、

右從 大守様被遣外、

一縮緬三卷ツ、

田沼能登守殿
田中出羽守殿

一紗綾三卷ツ、

高林彌兵衛殿

末吉善左衛門殿

石川孫太郎殿

小宮山利助殿

成田八右衛門殿

鈴木彦八郎殿

鈴木治左衛門殿

守山八十郎殿

一紗綾三卷ツ、

刑部卿様

御年寄女貳人

御年寄女格壹人

^(采)
一引札二面

一紗綾三卷ツ、

御年寄
御年寄格

一同貳卷ツ、

右同

若年寄女三人

^(采)
一引札二面

一縮武紋ツ、

若年寄
若年寄格

若年寄格鎖口

若年寄女格壹人

御子様附御中居以下拾

御中臈

鎖口

若年寄女格鎖口壹人

七人 相中

表使

鎖口助

一 銀貳拾枚

(宋)引札二面

一 銀拾五枚

御方筆

右同

御次

具殿之間

御三之間

御來頭

御使番 相中

御中臈以下三拾壹人

相中

一 紗綾貳卷

(宋)引札二面

一 銀貳枚

民部卿様

若年寄格抱守壹人

表使格抱守壹人

若年寄女格抱守壹人

一 銀三枚

(宋)引札二面

一 銀三枚

御次

御三之間

具殿之間 相中

右同

表使格抱守以下七人

相中

一 同三枚

(宋)銀貳枚

一 同貳枚

表使格抱守貳人

御次

御三之間 相中

準之助様表使格抱守

以下六人 相中

一 同三枚

鎌三郎様表使格抱守以下六人 相中

下六人 相中

一 同七枚

一 紗綾貳卷ツ、

細井幸次郎殿

加藤權左衛門殿

笹瀬助右衛門殿

一 銀貳枚ツ、

御用達壹人

右同助壹人

右從 御前様被遣又老被下外、

右御祝物都る御使番

一 刑部卿様

民部卿様

準之助様

鎌三郎様に

右 太守様 御前様より爲御禮

太守様御用人御使者 御前様より老納殿役人以御使者

可被仰進外、御使番受込、

一 御近習役四本庄藏御供相勤外、御刀番兩人一橋御座敷

(魂安)に詰切、其外御供廻櫻田御屋敷に可相披外、

但御歸館之御刻限承合可差越旨、中通御目付可取計
外、

一御前様御供之御側御用人壹人土岐五郎左衛門、納殿役
人壹人新海半左衛門、納殿役六人、御醫師壹人詰切、

其外御供廻同斷可相披外、

但御歸館之御刻限右御側御用人承合、御供廻に可致

差圖外、

一御前様御歸館之節、最前之通御家老を初與御玄喚に罷
出、

但初ゝ 御出付の右通、

一御前様御里御披ニ付

大守様に御家老并御側御用人、御近習役其外御側廻之
面々者、御近習役に相付御祝儀申上、御前様に兼
御祝儀申上外面々、納殿役人に相付御祝儀可申上外、

右之通御手當可申渡外、

〔朱〕「寶曆十二年」十二月

主鈴

縫殿

吉書

長生殿裏春秋留〔當九〕不老門前日月遍

寶曆十三年正月元日 重豪御判

右包紙ニ御内證御吉書未二月十日山田喜三右衛門より被差越

外付、市來瀬兵衛、白木御文書五番箱ニ納置之外、

〔朱〕「近松野帥」

寶曆十三年癸未正月六日召寶生大夫親受翁舞、七日御家

老島津求馬〔久悲〕急病自政府退卒、是月 大家念邸罹火假金二

萬兩、宜歲還納四千兩允所請也、二月 公患水痘、四月

十三日首途謁護摩所、此日 大家使松平右京大夫齋物件

來賜 公令還國、西丸亦使松平周防守賜 公、十五日朝

謁悉如例、二十八日發芝野、御家老島津全久峯・島津左中

久金、御側御用人福山平太夫安都・赤松甚右衛門〔前正〕、

伊地知新太夫季周、御近習役四元庄藏、御納戸奉行長谷

場伊角・藤野休左衛門〔良也〕、御使番三原善兵衛・伊集院四郎

等從〔此行島津久壽以、十三人侍從〕、五月十三日抵伏見邸、十五日抵大坂邸、

十七日舟謁住吉、十八日發自大坂、六月四日入小倉路、

此行豫就小倉・福岡・久留米・柳川・熊本之五侯請放鷹

于途、以過列國皆聽之、故或步行、十四日抵出水、尚行放鷹

乃御目附令于途次遇御鷹於道趨而避傍下馬脫笠宜以敬
踞、二十一日至府城、二十三日臨于尾畔、此日遷長谷場

伊角於甌島地頭、以御小納戸上村藤之丞爲御納戸奉行、
相良四郎兵衛爲御船奉行、二十四日謁先廟於淨光・福昌

兩寺、二十五日訪妙心・嶺松・信解三君於山下・築地・
西田三館、二十七日放鷹谷山、七月六日表御用人山岡齋

宮爲御側御用人、九日復放鷹于伊集院（鎌市屬于梅屋寺谷）、十九日
公召島津貴隆於前、念其老益勞多務、免上政府賞賜腰刀

且許隨意狩獵郊野特恩也、二十日舟如柁城、二十一日・
二十二日皆放鷹于（久遠）原及本道原、二十三日還自柁城、二

十八日島津大藏久（久遠）爲若年寄、八月三日令近寺士勿等弓
炮嫌貪勝也、二十七日臨唐醜且催疏踊、九月十一日賜御記

錄奉行兒玉早之丞實門宅地一區、二十三日舟釣于磯、二
十六日圖書久亮卒、十月朔日玉川王子豐見城王子獻 公

盛膳 公親觴之、三日召王子等於大磯館觀琉球踊、五日
賜琉入食、十一日川田伊織國福爲御家老、十四日臨于貴

儔河添別莊、二十五日訪西田館信解君請也、此月筑地新
亭成、二十七日移徙 公臨焉、十一月十八日臨上射圃觀諸

士射、十二月十八日臨今泉濱亭、二十三日散樂親爲并筒
及天狗舞年忘宴也、

2766 重豪公御譜中

正文在文庫

爲若菜之御祝儀、鯛一折被獻之外、遂披露外處一段之御
仕合外、恐々謹言、

（朱）「實曆十三年」 正月七日 康福判

松平薩摩守殿

（朱） 松平周防守 康福

2767 今上

爲若菜之御祝儀、鯛一折被獻之候、遂披露外處一段之御
仕合外、恐々謹言、

（朱）「實曆十三年」 正月七日 忠寄判

松平薩摩守殿

（朱） 酒井左衛門尉 忠寄

2768 重豪公御譜中

正文在文庫

吉書

包紙ニ白木御文書五番箱入
右圖書殿より二月九日御被成
市來瀬兵衛納涼事

一神社佛閣修造興行事、

一可專勸農事、

一可徵納國々年貢事、

右任三箇條之旨、可有沙汰之狀如件、

寶曆十三年正月十一日 重豪御判

2769 全上

爲年頭之御祝儀、以使者御太刀一腰・御馬代黃金十兩被

獻之外、遂披露外處一段之御仕合外、恐々謹言、

(朱) 寶曆十三年 正月十一日 涼朝判

(朱) 在口裏

松平薩摩守殿 秋元但馬守 涼朝

2770 全上

爲年頭之御祝儀、以使者御太刀一腰・御馬代黃金十兩被

獻之外、遂披露外處一段之御仕合外、恐々謹言、

(朱) 寶曆十三年 正月十一日 康福判

2771

全御譜中

正文在文庫

爲御七夜御祝儀、御産衣獻上之使者、明日四時

御城江可被差出外、以上、

(朱) 寶曆十三年 二月十五日 松平右京大夫

松平薩摩守殿

2772

重豪公御譜中

正文在琉球國司

爲去歲年始之嘉儀、被差渡使簡、殊目錄之通贈給之、入

念外段令祝着外、猶期後喜之時外、恐惶不宣、

(朱) 寶曆十三年 二月十八日 少將重豪御判

謹上 中山王

2773

全上

芳翰令披見外、

(朱) 在口裏

松平薩摩守殿 松平周防守 康福

若君様御誕生之爲御祝儀、去歲豐見城王子被差越、兩通之紙面殊別錄之表贈給之、入念外段欣然之至外、且又江府に献上物首尾好相濟、如御目錄被下之外間、可被致頂戴外、恐惶不宣、

〔朱〕
「寶曆十三年」 二月十八日 少將重豪御判
謹上 中山王

2774

全上
〔徳川家重〕
惇信院様薨御付外、去歲豐見嶺親方被差越、兩通之紙面并別錄之通相饋之、入念儀存外、恐惶不宣、

〔朱〕
「寶曆十三年」 二月十八日 少將重豪御判
謹上 中山王

2775

全上
芳墨令披閱外、
〔家治二女〕
萬壽姫君様御誕生之爲御祝儀、去歲玉川王子被差越、兩通之紙面殊別錄之通贈給之欣然之至外、且又江府に献上物首尾能相濟、如御目錄被下之外之間、可被致頂戴外、恐惶不宣、

2776

〔朱〕
「寶曆十三年」 二月十八日 少將重豪御判
謹上 中山王
全上
芳札令披見外、我等婚姻相整外爲祝儀、去歲豐見城王子被差渡、殊太刀一腰・馬代白銀百兩并目錄之表被相贈之、入念外儀令祝着外、恐惶不宣、

〔朱〕
「寶曆十三年」 二月十八日 少將重豪御判
謹上 中山王

2777

全上
芳札令披見外、御看致拜領外爲祝儀、去歲以仲田親方太刀一腰・馬代白銀百兩并別錄之通被相饋之、入念外段欣然之至外、恐惶不宣、

〔朱〕
「寶曆十三年」 二月十八日 少將重豪御判
謹上 中山王

2778

全上
去歲之芳札令披見外、弥平安之由珎重之事外、我等無恙

外間可易心外、然老唐蒔繪料紙箱・硯箱一通・銅之香爐
一贈給之、入念外儀過量之至外、恐惶不宣、

二月十八日

薩摩守
重豪御判

中山王

回翻

2779
全上

芳翰令披見外、其國之船逢難風、上州に漂着、取計申付
外爲謝禮、去歲以宜野灣親方別錄之表饋給之、過量之至
外、恐惶不宣、

二月十八日 少將重豪御判

謹上 中山王

2780
全上

芳翰令披見外、伊平屋島之者逢逆風、(肥前國)五嶋に流着、取計
申付外爲謝禮、去歲以宜野灣親方目錄之表被相贈之、入
念儀外、恐惶不宣、

(本)
「寶曆十三年」
二月十八日 少將重豪御判

謹上 中山王

2781
重豪公御譜中

寶曆十三年辛未二月二十五日

若君(家形)更座衣、頃日重豪病水痘、以故達事于幕府、

三月朔日以使者、獻御小袖二襲・二種二荷于

若君、二種二荷于

家治公、同品于御臺所、而奉賀焉、

2782
全上

正文在文庫

若君様爲御色直御祝儀、以使者如目錄被獻之候、遂披露
外處一段之御仕合外、恐々謹言、

(朱)
「寶曆十三年」
三月朔日 康福判

松平薩摩守殿

(朱)
「在口裏」
松平周防守
康福

2783
全上

若君様爲御色直御祝儀、使者如目錄被獻之外、遂披露外
處一段之御仕合外、恐々謹言、

(朱)
「寶曆十三年」
三月朔日 輝高判

松平薩摩守殿 (朱)
松平右京大夫
輝高

全御譜中

永井平五左衛門・同氏與兵衛兄弟者、日置郡市來郷之士也、今茲三月朔日及夜有竊乘置米二苞于同郷神之川浦辨指善右衛門之宅者、付オトシクミラ匿名書曰、聞去秋不實村民艱饑、請是物雖些少賑救隕乏者幸甚、善右衛門即告之郷吏、分與于飢民、既而相與廉之決定于永井兄弟之所爲、徵問兄弟、白曰些少之物耻表名、故戒家僕使如此願不宣言、郷吏以狀聞、於茲各與太平布二匹、賞其志焉、

○同年三月三日

(家基)若君出御於表、受列侯百官之拜禮、今日有疾不能造朝、即遣使者於老中之宅、以述其慶詞矣、

重蒙公御譜中

扣正文在右筆所

私儀來申年琉球人召連參府仕仕様被仰渡置外、左外得者、從琉球國薩州に夏一度渡海仕付、來夏琉球人國許に到

着仕、彼是支度等相調外得者、來秋國許出足仕儀御座外、此段兼申上置外、以上、

三月廿九日

松平薩摩守

扣正文在右筆所

(朱)御付紙 御台様江買水七年之例壽之通至上候様可被改致、御代替之爲御祝儀、來年從琉球中山王使者差上外付、

御臺様に献上物之儀、如何可爲仕哉、且又 萬壽姫君様江差上物不及候

萬壽姫君様に献上物先例無御座外付、此段表相伺外、何分御差圖被成可被下候、以上、

(朱)「寶曆十三年」三月廿九日 松平薩摩守

御臺様に中山王方献上之儀、跡々相糺外處 (朱)「本行之通右京大夫様へ被差出置候處、未月廿三日右京大夫様より

文照院様御代替之節、御臺様御事近衛様に此御方様御由緒有之外譯ニ有、献上物中山王方願出外趣を以被相伺 御渡被成候事

外處、献上様被仰渡外、然共此節者 御臺様御事御由緒と被仰立外程之儀ニ有及無之、先例ニ者相替外得共、

献上も爲有之儀ニ外得者、御伺なしにも難被成、例書被

相添御用番松平右京大夫様に被得御内意外處、被差出可

然被仰聞外付、午三月廿九日御留守居有川勇馬を以被差出外處、被請取置、追而何分可被仰聞旨御用人ニ有被仰

全上

扣正文在右筆所

一筆申上まいらせり、

(家母)、(閑院五十宮倫子)、(家母)
公方様 御臺様 若君様ますく御機けんよく御座なされ、

恐れにそんし奉りり、しかれば

公方様 御臺様へ妻より不時の御機けんうかひ井に獻

上物

若君様へ年中獻上物の儀、伺ひの通り仰渡されりよし承

知仕り、私にをひて有かたくそんし奉りり、右の御禮申

上度り、

御臺様 若君様へも申上り、御序の折から 御前よろし

き様に御取成頼入そんしまいらせり、めてたくかしく、

(先)
「寶曆十三年」

まつ嶋さま

高をかさま

うら尾さま

いは瀬さま

いと野さま

たき川さま

むめたさま

若申給へ

寫正文在右筆所

ま事く幾久しく萬々年も御長久御はんしせうの御事、御めてたさのミといわる入まいらせり、めてかしく、

上々様方御機嫌よく成せられ、御めてたく左様ニ御座り

得者、先達ぬ御ねかひの保姫様(重家幸、徳川宗尹息女)御二方様へ年中御獻上

物の外に、不時の御機けん御伺ひの御事、壹ケ年の内兩

三度ほど、女使にて御うかかひ御上物被成りやうこと相

濟まいらせり、よろしく御取計被成まいらせり、若君

様へ年中御あげ物の御事、此別紙の通りにて御座り、何

も宜御取計御達し被成まいらせり、めてたくかしく、

大崎さま

松嶋

保姫方お

若君様へ年中御獻上物

土用(御香) 御菓子之内 一種女使二お

寒 右同斷

右之通御上被成り様、 姫君様へ御上物ニ不及り、

重豪公御請中

同年四月十三日以^三上使松平右京大夫輝高、賜^三歸國之暇、恩賞如^三先格、同日

若君亦使^三松平周防守康福賜^三紗綾二十卷、送迎駕、畢往^二

老中各第二拜之、若^二板倉佐渡守勝清及若年寄、則以^二使者^一謝之、同十五日應^レ教登^レ營、於^二墨書院^一見^二於

大樹家治公、拜^二恩賜之辱、時蒙^三

懇言^二賜^三御馬一匹、而退直造^二西營、就^三奏者番大岡兵

庫頭忠喜^二拜^三

若君之恩 旨、既而降^レ營往^二各老中之宅^一而謝^レ焉、

全上

扣正文在右筆所

〔朱〕本文四月十三日御用番酒井左衛門尉様、御留守居を以被差出候處、御使

來十八日大奥に私妻罷上外様、御奉文を以蒙仰外旨承知

者を以御用番櫻井西丸松平周防守様、御礼被仰上候様、御用人を以御口達

仕、難有仕合奉存外、依之私御禮之儀、如何相勸可申外

哉被成御差圖可被下外、以上、

〔寶曆十三年〕 四月十三日

〔朱〕本文四月十三日御用番酒井様、御留守居を以被差出候處、御使者を以右之

〔鳥津重登〕 御名

來ル十八日大奥に私妻罷上外様被 仰出外付、妻方御禮

御礼御用番櫻井周防守様、御礼被仰上候様御差圖有之候旨、御留守居申出候由御

使者を以可申上外哉被成御差圖可被下外、以上、

〔朱〕 一寶曆十三年 四月十三日 御名

一御前様御登城被仰出候爲御礼、御前様より御内証より之御礼御勤之儀、御

守殿に御頼、御本丸に被相伺候處、四月十四日女使を以御礼可被仰上旨御

指圖有之、御年番八重崎御使より、公方様、御書様、若君様、萬壽姫君様

に御礼被仰上候處、松崎御出會、御序宜被仰上旨、御返答御相應之由、

八重崎申出、御前様御勤相濟候、

一右付、太守様御勤之儀、御守殿より被相伺候處、御差圖之上四月十四日

公方様、御礼被仰上、御書様、若君様、萬壽姫君様、之御礼者、右御文

に御書入被仰上候、

一御前様御積氣より御登、城難被遊候付、前様、御登、城被仰出候爲御礼、

被差上候八重崎を以、御登、城御斯被仰上、松崎御出會、御口上之趣申上候待

者、御序に宜被仰上旨御返答御相應之由八重崎申出候、

一右通御登、城御斯被仰上候付、太守様より、四月十四日、川井御使被差上、

御斯被仰上候處、松崎御出會、御返答御相應之由、川井申出御斯相

濟候、

一右御斯之趣御内より被仰上置候御届、御用番酒井様西丸周防守様、御留

守居を以被仰上候事、

重豪公御請中

正文在文庫

明日五半時登 城御暇之御禮可被申上外、以上、

〔朱〕 一寶曆十三年 四月十四日 松平右京大夫

秋元但馬守

松平右近將監

松平薩摩守殿

酒井左衛門尉

覺

2793 正文在文庫

家來一人

御目見被 仰付外間、召連可被罷出外、

嫡子 御目見之節、無官ニ亦も縹髮斗目并白無垢着用仕外例有之外哉、且又御老中様方前以伺公之節表、同斷之例有之外哉可申上旨被仰渡、奉承知外、薩摩守儀、無官之内ハ縹髮斗目并白無垢着用不仕外、此段申上外、以上、

松平薩摩守内

〔寶曆十三年〕

四月廿四日

有川勇馬

2794 重豪公御譜中

扣正文在右筆所

私儀今度御暇被下置、國許に罷越外、未男子無御座外付、

在國中若不慮之儀及御座外ハ、國元に差置外私大叔父、

實叔父之續御座外島津李(久峯)、當年三十二歳罷成外此者に相

續被仰付、跡職無相違被下置外様奉願外、以上、

寶曆十三未四月廿二日

松平薩摩守御判

酒井左衛門尉殿

上包認様御連名内之通、

松平右近將監殿

中奉書御連置折糊付、

秋元但馬守殿

裏ニ封之字、本文御書四月廿二日御用番酒井左衛門尉傳江御客对

松平右京大夫殿

御直ニ被差出候

2796 重豪公御譜中

正文在文庫

若君様は菖蒲御兜一飾、以使者被獻之外、首尾好遂披露

外、恐々謹言、

〔寶曆十三年〕

四月廿八日

松平周防守

康福判

松平薩摩守殿

2797 全御譜中

同月二十八日發之第一赴于國一、一族島津李久峯、家老

島津左中久金、側用人福山平太夫安都・赤松甚右衛門則

正・伊地知新太夫季周(近衛)等供奉、經三東海道・美濃路一、

2795 重豪公御譜中

扣正文在家老座

五月十三日到伏見、同十五日着大坂、十八日發大坂

歷播磨路、二十一日到坂越、同日駕船六月三日着

船豐前大里、而陟九州路、同廿一日歸着慶城、即日

使北鄉權五郎久富赴江府、報歸國謝、台恩、久富

恩々發慶府、經歷西海・山陽・東海之三道、八月五

日到着芝第、同九日詣用番酒井左衛門尉忠寄之邸、

呈書述之旨、而又到松平周防守康福附西丸之邸同勤

事、如其餘老中若年寄之第、亦演其旨輸書自若中一寄一以二別幅目錄一饋一、越九月朔日、久富應徵造朝、於

白書院以禮使也、獻先規之方物、見於

家治公、而退、重出席捧已獻物拜

台顏、既而登西營、於檜之間就奏者番戶田采女

正氏英、亦以其禮使獻三種二荷于

若君、畢而上已獻物拜焉、同十六日應教再造朝、

於檜之間秋元但馬守涼朝親屬其奉書、時

將軍家賜卷物于久富、而退去、又應其召詣松平康

福之宅、康福承

若君之旨、而手與奉書、凡其勤焉者如先格、事畢

發江府、同年十二月五日還薩府復命、

2798 重豪公御譜中

正文在文庫

爲端午之祝儀、帷子單物到來歡覺候、委曲酒井左衛門尉

可述外也、

(朱) 寶曆十三年

五月二日

家治公 墨印

薩摩少將殿

2799

全上

爲端午之御祝儀、以使者御帷子單物被獻之外、遂披露外

之處一段之御仕合外、恐々謹言、

(朱) 寶曆十三年

五月二日 松平薩摩守殿

松平周防守 康福判

2800

重豪公御譜中

正文在文庫

御札令披見外、

公方樣益御機嫌能被成御座、去月廿九日增上寺 御靈前

御參詣之儀被承之、恐悅旨尤外、紙面之趣各申談及 上

聞外、恐々謹言、

(朱) 〔寶曆十三年〕 五月四日

松平薩摩守殿

秋元但馬守 涼朝判

2801 重豪公御譜中

正文在文庫

御札令披見外、

公方様益御機嫌能被成御座、去八日東叡山 御靈前 御

參詣之儀被承之、恐悦旨尤外、紙面之趣各申談及 上聞

候、恐々謹言、

(朱) 〔寶曆十三年〕 五月廿九日

松平薩摩守殿

秋元但馬守 涼朝判

2802 重豪公御譜中

同年六月十二日 大家修(徳川家重) 倅信廟大祥忌法事於増上寺、

越翼日重豪遣二番頭一獻二白銀十枚一拜焉、

全上

正文在文庫

御札令披見外、就酷暑之節

公方様 若君様御機嫌以使者被相同之候、益御安全御儀

外間可御心易候、隨二琉球布一箱并砂糖漬天門冬一器・赤貝塩辛一器・琉球泡盛酒二壺被獻之外、遂披露外處一段之御仕合外、恐々謹言、

(朱) 〔寶曆十三年〕 六月十五日 松平周防守 康福判

松平薩摩守殿

2804 全上

御札令披見外、就酷暑之節

公方様 若君様御機嫌以使者被相同之外、益御勇健御儀

外間可御心易外、隨二琉球布一箱并砂糖漬天門冬一器・赤貝塩辛一器・琉球泡盛酒二壺被獻之外、各申談遂披露

外處一段之御仕合外、恐々謹言、

(朱) 〔寶曆十三年〕 六月十五日 松平右近將監 武元判

松平薩摩守殿

2805 重豪公御譜中

同年六月二十日 大家修(徳川吉宗) 有徳廟十三回忌法事於東叡

山、越翼日重豪遣二島津登久連一表用人令、獻二香奠銀十枚一

拜焉、

重豪公御譜中

正文在文庫

爲生見玉之御祝儀、黄金十兩被獻之外、遂披露_レ之處一

段之御仕合_レ、恐_レ謹言、

(卷)「寶曆十三年」七月六日

松平右京大夫
輝高判
秋元但馬守
涼朝判

松平右近將監
武元判

酒井左衛門尉
忠寄判

松平薩摩守殿

全上

爲生見玉之御祝儀、黄金十兩被獻之外、遂披露_レ處一段

之御仕合_レ、恐_レ謹言、

(卷)「寶曆十三年」七月六日

松平薩摩守殿

松平周防守
康福判

重豪公御譜中

正文在文庫

今度

(徳川家重) 惇信院様三回御忌御法事御執行付_レ、以使者御香奠被獻

之外、於増上寺奉納之事_レ、右之趣及言上_レ、恐_レ謹言、

(卷)「寶曆十三年」七月十二日

松平薩摩守殿

酒井左衛門尉
忠寄判

重豪公御譜中

惇信廟之訃音_レ、月至_二琉球_一、故中山王尚穆去歲使_二豐見城親方携_二弔書_一發_二本國_一、然洋中遭_二逆風_一、回舳、於_二那覇港_一、遂沈舩、行裝皆爲_二潮水_一、濡壞又不能_レ航、及_二今年_一

再使_二豐見嶺親方發_一、夏六月十四日到_二薩府_一、於_レ是以_二

清水源兵衛盛容_一附_二爲_二繼使_一、以_二田中甚助某_一爲_二幸領_一、

使_レ赴_二東都_一、附輕平、二人盛容等秋七月十八日發_二薩府_一、八月二

十七日至_二江府芝邸_一、越九月八日留守居導_二盛容_一詣_二月直

老中秋元但馬守涼朝、御側用人板倉佐渡守勝清第一、呈_二

重豪之添翰及尚穆之弔書_一、又詣_二酒井左衛門尉忠寄_一、松

平右近將監武元、松平右京大夫輝高第一、述_二尚穆呈_一各

老_二之書_一、月直老秋元涼朝併領取_レ焉、冬十月八日涼朝、勝

清徹_二繼使盛容_一于各第一、授_二奉書返札及所_一與_二尚穆_一之報

翰上、於_レ是寺山四郎左衛門用客_一、新番田中甚助某受_レ命_一、輕平、二人從

齋^二奉書返札等^一、十五日發^二江府^一、十一月二十日還^二薩府^一、復命、家老則召^二豐見嶺親方對面所^一、授^二老中報翰及家老添翰^一、而命^二老中報翰摸寫呈上之事^一亦如^二例矣^一、

正文在文庫

今度

有徳院様十三回御忌御法事御執行付る、以使者御香爨被獻之^レ、於東叡山奉納之事^レ、右之趣及言上候、恐^レ謹言、

(卷)

「寶曆十三年」七月廿日

秋元但馬守

涼朝判

松平薩摩守殿

重豪公御譜中
寫正文在文庫

御筆寫

一世帶方難續^レ付る者、江戸詰人數之内に及隨分相減、只今迄建置^レ役座^二の者^一、一往引取^レる、兎哉角可相濟^二の見及場所^一可引取^レ、且又上下之節供人數之儀及減少可申付^レ、人少^二連^レ様との儀^一者、從公義被仰渡儀^レ得者、如何程相減^レの者 公邊差障儀

寫正文在文庫

全上

者無之筈^レ、來年者疏人をも連^レ筈^レ、此儀者舊例^二及有之儀^一得共、不差障儀共者可相減^レ間、吟味之趣可申聞^レ、其外儉約筋之儀者、於江戸家老中申聞置^レ趣及有之^レ間、不依何邊遂吟味候趣者時^レ可申聞^レ、別紙之通被 仰出^レ間、何れ承知仕、一涯細密^二御役^一々遂吟味、少事迎^レ御勝手筋可相成儀者可申出^レ、且又御所帶方之儀者、一分之見立及有之、申出度儀も有之^レハ、不差置可申出^レ、

(卷)

「寶曆十三年」七月

(高橋種等) 此面

御所帶方難被續段被 聞召上^レ、右^二付^レの者 御前^二及萬事御不如意^一の可被相濟^レ間、御費成儀者、縱令被 仰出^レ儀迎^レ、無用捨何^レ度及可申上^レ、事^二より^一付る者、都^レ御存不被遊儀及有之^レ候、御家老中申談、物毎細蜜致吟味、往^レ御所帶向相直^レ様可仕^レ、乍然末^レ之者共致困窮^レの者、御氣之毒被思召上^レ間、御領國中勞^二及不相成^一、萬端風儀宜利勝無之様心掛、諸事可取計旨被仰出候、

右之通被 仰出外條、奉承知此度之御時節柄外條、萬事御爲宜様可心掛外、

〔寶曆十三年〕七月

〔馬津久徳〕
圖書
〔馬津久徳〕
左中
〔藤川美徳〕
藤馬
〔藤田政考〕
藏人
〔高橋權忠〕
此面

全上

寫正文在文庫

上方表御借入銀并御利拂連々大分相成外處、去年御類燒付、高利之御借入過分相重、臨時御用之外定式御入用金御任上せ物代等之寄銀を以差引、大概御不足銀三千八百貫目餘年々及御不足、極々御手迫り成立外、然處芝御屋鋪大御書院、其外御作事、

公義御返上金琉人立御祝儀事等、段々不時之御入用相見得外處、江戸・京・大坂御借入者不相調、御任上せ物表右通引當之時候得者、臨時之御入用金調達何分表不相見得、折角吟味有之事外、御減方ニ付る者、先年以來每度被仰渡趣及有之、せり詰たる上ニ者外得共、依事々不相

弁儀及有之筈外、公邊御勤等相係儀者格別外得共、今度被 仰出趣及有之、尋常之御儉約と者相替外條、御當用之外者被差欠、且又可被相減儀共御役々氣を付、仰出之旨趣を以諸事不取違様於座々遂吟味、其段不差置可申出外、尤其座々不相掛儀ニ及存寄趣外ハ、是又可申出外、

右之通御側表御勝手方御役々可申渡外、
〔寶曆十三年〕七月

圖書
左中
藤馬
藏人
此面

重豪公御譜中
扣正文在家老座

諸國銅山是迄不相稼場所并前々出銅有之當時休山ニ相成外場所、遂吟味相稼出銅有之様可取計外、尤出銅有無共吟味之趣、御勘定所ニ書付可差上旨、先達者被仰渡趣承知仕外、薩摩守國許ニ申越吟味仕外處、前々領内ニ銅氣相見得外山及有之付、元餘年簡以來國中者共ニ申付、

度々問掘爲仕り得共、何れニ及出銅別而少ク、山不宜却
而失墜過分相係及難儀外付、一向相止申外、依之國中用
立候銅山無御座旨申越外、此段申上外、以上、

〔卷〕
〔寶曆十三年〕 七月晦日

松平薩摩守内
山本猪散太（痛歎）

〔卷〕
一右御届書御勘定奉行一色安藝守棟江山本猪散太を以被差出

外

2815 重豪公御譜中

正文在文庫

爲八朔之御祝儀、以使者御太刀一腰・御馬代黄金十兩被
獻之外、遂披露外處一段之御仕合外、恐々謹言、

〔卷〕
〔寶曆十三年〕 八月四日 松平周防守 康福判

松平薩摩守殿

2816 全上

爲八朔之御祝儀、以使者御太刀一腰・御馬代黄金十兩被
獻之外、遂披露候之處一段之御仕合外、恐々謹言、

〔卷〕
〔寶曆十三年〕 八月四日 松平右京大夫 輝高判

秋元但馬守 涼朝判

松平右近將監 武元判

酒井左衛門尉 忠寄判

松平薩摩守殿

2817 重豪公御譜中

正文在文庫

御札令披見外、
惇信院様三回御忌御法事付而、其方妻女御香奠獻上仕度

旨被相伺外處、伺之通相濟難有由得其意候、紙面之趣各
一覽之事外、恐々謹言、

〔卷〕
〔寶曆十三年〕 八月十五日 酒井左衛門尉 忠寄判

松平薩摩守殿

2818 全上

御札令披見外、
公方様益御機嫌能被成御座、今度

惇信院様三回御忌御法事於増寺御執行相濟、六月十二日（上脱）

御靈前 御參詣之儀被承之、恐悦旨尤候、依之被差越使

者外、紙面之趣各申談及 上聞外、恐々謹言、

(朱) 一寶曆十三年」 八月十八日 酒井左衛門尉 忠寄判

松平薩摩守殿

2819 重豪公御譜中

正文在文庫

御札令披見外、

公方様益御機嫌能被成御座、今度

有德院様十三回御忌御法事於東叡山御執行相濟、六月廿

日 御靈前 御參詣之儀被承之、恐悦旨尤候、紙面之趣

各申談及 上聞外、恐々謹言、

(朱) 一寶曆十三年」 八月廿五日 酒井左衛門尉 忠寄判

松平薩摩守殿

2820 重豪公御譜中

正文在文庫

國許到着御禮之使者北郷權五郎明朔日五時 御城に可差

出外、且又自分之御禮表可申上外間、可存其趣外、以上、

(朱) 一寶曆十三年」 八月廿九日 (酒井) 左衛門

松平薩摩守殿

留守居

2821 重豪公御譜中

正文在文庫

御歸國脇年頭御禮被遊 御請外付者、此節別紙之通御

格被定置外條、向後御太刀進上之面々者、有來通相調、

且又寺社家・山伏等者、罷出外人數時々相替替外間、名

書相下ケ外節、列之次第迄を相しらへ可差出外、

(朱) 一寶曆十三年」 九月 (小松清彦) 式部

張紙 本文寶曆十三年未九月廿日小松式部殿より御渡被成候

2822 全上

正文在文庫

小松式部伺

此節就

御歸國、來ル十八日・廿二日年頭之御禮被遊 御請外

旨、先達外被 仰出置外付、左之通可被仰付哉、

一諸地頭之面々納太刀、

一 川上勘解由・新納次郎四郎・伊集院十藏・大嶋清太夫・

義岡彈正(久忠)・志岐兵藤次・田尻嘉兵衛・中西文右衛門家

二 付納太刀、

一 御當地着座之門首并諸寺院・社家・山伏

一 山田九郎左衛門

一 大河平越右衛門

右銘々 御目見

一 高岡象中 二見清左衛門

一 右同 榎木平右衛門

一 上下西田町 年寄・年行司

一 下町年寄格唐通事 小橋早左衛門

一 金山町人

右同斷

一 長崎御屋代

一 水引森尾町 太原武左衛門

一 右御當地に差越居(忍起)外節(忍過)外者 御目見可被 仰付外、

一 島津肥前殿・嶋津因幡殿に被相附置外諸奉行格、

右御通懸之 御目見

一 新田官執印職 執印休左衛門

一 外城門首之諸寺院

一 組中之諸士

但 御着城以後 御目見被仰付外付、此節 御目見被

仰付二不及、

右之通 御目見可被仰付哉、

一 諸外城門首外之寺院・山伏、

一 國分宮内・水引新田宮社家、

一 外城衆中

右自今以後 御目見被 仰付及間鋪哉、

一 在番 琉球人

右中山王より年頭之使者差越外節、新在番一所 御目

見被仰付先例御座外、

右者 御歸國脇年頭御禮被遊 御請外儀二付、先例相

糺外處、

淨國院(島津吉實)様被 仰出置外者、御着城脇御家老を初屹御

禮無之外處、諸地頭其外年頭御禮之御作法宜過外方被

思召上、段々御格式被相究置外、右付 御着城御祝儀差

越外外城之諸寺院并衆中之儀、御着城脇年頭御禮被遊

御請外御日限之時節參合外者 御目見可被仰付外、御

當地に長々滞在表難儀之筈被 思召上外由、被 仰出

置外處、其以後 御着城脇年頭御禮之次第右被 仰出

2823

置候趣致相違外故、段々相糺り得共、御格被相替外書留等々相見得不申外、然者、御着城脇之儀、御在國之節々年頭御規式と者相替外付、外城門首之外寺院・社〔本文達、貴階候處、都賀何之通可被御付旨、御意候、〕家・山伏又者衆中之儀、態と差越、御目見被仰付ニ不及、已後共右通之御作法被、仰付外者如何可有御座哉と御家老に及申談此段奉伺外、以上、

〔宋〕
「寶曆十三年」
九月

包紙ニ寶曆十二年未九月日トアリ

重豪公御譜中

正文在文庫

御札致拜見外、

公方様 若君様益御機嫌能被成御座、恐悦旨尤之事外、

將又今度御暇白銀巻物頂戴之、其上御馬被下、從

若君様及拜領物有之、重疊難有由得其意存外、六月廿一日國許到着付外、爲御禮以北郷權五郎目録之通被獻之外、

右之趣致承知外、恐々謹言、

〔宋〕
「寶曆十三年」
九月四日

板倉佐渡守

勝清判

松平薩摩守殿

2824

重豪公御譜中

正文在文庫

爲重陽之祝儀、小袖一重到來歡覺候、委曲秋元但馬守可述外也、

〔宋〕
「寶曆十三年」
九月七日

家治公
事印

薩摩少將殿

2825

全上

爲重陽之御祝儀、以使者御小袖一重被獻之外、遂披露外之處一段之御仕合外、恐々謹言、

〔宋〕
「寶曆十三年」
九月七日

松平周防守

康福判

松平薩摩守殿

2826

重豪公御譜中

正文在文庫

若君様 御宮參相濟外付外、爲御祝儀以使者如目錄被獻之外、遂披露候之處一段之御仕合外、恐々謹言、

〔宋〕
「寶曆十三年」
九月十一日

松平右京大夫

輝高判

松平薩摩守殿

2827 全上

若君様

御宮參相濟_レ付_テ、爲御祝儀以使者如目錄被獻_レ之、遂披露_レ處一段之御仕合_レ、恐_ク謹言、

(朱) 「寶曆十三年」 九月十一日 松平周防守 康福判

松平薩摩守殿

2828 全上

御札令披見_レ、

公方様 若君様御機嫌被相伺_レ之、益御勇健御儀_レ間可御心易_レ、隨_テ干鯨殘魚一箱被獻_レ之、各申談遂披露_レ處一段之御仕合_レ、恐_ク謹言、

(朱) 「寶曆十三年」 九月十一日 秋元但馬守 涼朝判

松平薩摩守殿

2829 全上

御札令披見_レ、

公方様 若君様御機嫌被相伺_レ之、益御安全御儀_レ間可

御心易_レ、隨_テ干鯨殘魚一箱被獻_レ之、遂披露_レ之處一段之御仕合_レ、恐_ク謹言、

(朱) 「寶曆十三年」 九月十一日 松平周防守 康福判

松平薩摩守殿

2830 全上

御札令披見_レ、

公方様 若君様益御機嫌能被成御座、恐悅旨尤_レ、將又暑氣爲 御尋妻女拜領物有_レ、難有由得其意_レ、紙面之趣令承知_レ、恐_ク謹言、

(朱) 「寶曆十三年」 九月十三日 秋元但馬守 涼朝判

松平薩摩守殿

2831 全上

御札令披見_レ、

公方様 若君様益御機嫌能被成御座、恐悅旨尤_レ、將又暑氣爲 御尋妻女拜領物有_レ、難有由得其意_レ、紙面之趣各一覽之事_レ、恐_ク謹言、

(朱) 「寶曆十三年」 九月十三日 秋元但馬守 涼朝判

重豪公御譜中
正文在文庫

全上

正文在文庫

國許到着御禮之使、北郷權五郎、明日四時
御城に可差出外、以上、

(卷)
「實曆十三年」
九月十五日

(秋元)
秋 但馬

松平薩摩守殿

留守居

重豪公御譜中
正文在文庫

松平薩摩守殿

右明日九半時我等宅に可差出外、以上、

北郷權五郎
(久遠)

(卷)
「實曆十三年」
九月十五日

(松平)
松 周防

松平薩摩守殿

留守居

全上

御札令披見外、

公方様 若君様益御機嫌能被成御座、恐悦旨尤外、將又
今度御暇、白銀・巻物頂戴之、其上御馬被下、從

若君様及拜領物有之、重疊難有由得其意外、國許到着付
ゐ、爲御禮以北郷權五郎琉球芭蕉布二十端并御樽肴被獻
之外、遂披露外處

御前に被召出之、入念外段御喜色之御事外、恐々謹言、

(卷)
「實曆十三年」
九月十六日

松平右京大夫
輝高判

秋元但馬守
涼朝判

重豪公御譜中

正文在文庫

御札致拜見外、就

(徳川家直)

惇信院様薨御、從琉球中山王

公方様江御悔爲可申上、鹿兒嶋迄使翰相渡外、依之右書

翰以使者被越之候、右之趣致承知外、則及返翰外、恐々

謹言、

(朱)
「寶曆十三年」
十月七日

松平薩摩守殿

板倉佐渡守

勝清判

全上

御札令披見外、就

惇信院様薨御、從琉球中山王

公方様江御悔爲可申上、鹿兒嶋迄使翰相渡外、依之右書

翰以使者被越之、遂一覽及言上、則返札遣外間可被相達

候、恐々謹言、

(朱)
「寶曆十三年」
十月七日

松平右京大夫

輝高判

秋元但馬守

涼朝判

松平右近將監

武元判

酒井左衛門尉

忠寄判

松平薩摩守殿

全御譜中

今載十月十日值(島津古實)淨國公十七回忌、修梵儀於淨光明寺

著五日自六日、至十日、六日島津大學久尚爲三代參、八日島津播磨

久敦爲二代參、此夜頓寫久敦代重豪灌硯水、十日施

餓鬼入來院石見定勝爲三代參、同日重豪親詣於淨光明

寺一拜尊牌、又有滿散寄合之式、島津肥前忠紀代重

豪一臨之、而法會事畢矣、

(朱)
「近秋野艸」

大信公

女子

悟姫

寶曆十三年癸未十月十三日生于芝邸、母徳川刑部卿

贈中納言宗尹吉宗公名曰保姫、母猪飼氏、名曰千賀、五郎左衛門之之三男、女、明和六年己丑九月二十六日卒于江戸、葬大

年庚寅三月十日（竹姫 繼體天皇）、大家及御壺君使三人齎三物

件賜公及淨岸君、以慶賀之、明和元年甲申六

月二十七日公及夫人進淨岸君盛膳慶誕故也、七

安主手、惠焼院

2840 重豪公御譜中

正文在島津主殿

加冠

嶋津豊壽

宜爲

又七郎

寶曆十三未

十月廿八日

（島津電案）
（花押 No.5）

2841 正文在大野多宮

加冠

大野藤五郎

宜爲

權太夫

寶曆十三未

十月廿八日

御判

2842 重豪公御譜中

正文在文庫

若君様爲御七夜御祝儀

公方様 若君様は、以使者如目錄被獻之候、遂披露外處

一段之御仕合外、恐々謹言、

（朱）
「寶曆十三年」

十一月朔日

松平右京大夫
輝高判

松平薩摩守殿

2843 全上

正文在土持孫兵衛

加冠

土持權太郎

宜爲

權之丞

寶曆十三未

十一月朔日

御墨印

2844 重豪公御譜中

正文在文庫

御札令披見外、

公方様 若君様益御機嫌能被成御座、恐悦旨尤外、將又

九月六日

若君様 御宮參相濟候段被承之、目出度被存由得其意外、

依之被差越使者外、紙面之趣及言上外、恐々謹言、

(朱) 「寶曆十三年」

十一月十三日

松平周防守

康福判

松平薩摩守殿

2845 全上

御札令披見外、

公方様 若君様益御機嫌能被成御座、恐悦旨尤外、將又

九月六日

若君様 御宮參相濟外段被承之、目出度被存由得其意外、

依之被差越使者外、紙面之趣各申談及 上聞外、恐々謹

言、

(朱) 「寶曆十三年」

十一月十三日

松平右京大夫

輝高判

松平薩摩守殿

2864 重豪公御譜中

正文在山川正龍寺

廣濟寺住持職事、任先例可令執務之狀如件、

寶曆十三年十一月十五日 少將重豪御判

玄鱗西堂

2847 全上

正文在伊作多寶寺

廣濟寺住持職事、任先例可令執務之狀如件、

寶曆十三年十一月十五日 少將重豪御判

玄育西堂

2848 全上

正文在伊集院善福寺

廣濟寺住持職事、任先例可令執務之狀如件、

寶曆十三年十一月十五日 少將重豪判

守令西堂

2849 重豪公御譜中

正文在文庫

御札令披見外、

公方様 若君様御機嫌被相伺之外、益御勇健御儀外間可
御心易外、隨（米）五小熬海鼠一箱被獻之外、各申談遂披露外
處一段之御仕合外、恐々謹言、

〔寶曆十三年〕 十一月十八日 松平右京大夫 輝高判

松平薩摩守殿

全上

御札令披見外、

公方様 若君様御機嫌被相伺之外、益御安全御儀外間可
御心易外、隨（米）五小熬海鼠一箱被獻之外、遂披露外之處一
段之御仕合外、恐々謹言、

〔卷〕 十一月十八日 松平周防守 康福判

松平薩摩守殿

2851 重豪公御譜中

正文在文庫

御札令披見外、

公方様益御機嫌能被成御座、十月五日山王社 御參詣之
儀被承之、恐悦旨尤外、紙面之趣各申談及 上聞候、恐

々謹言、

〔卷〕 十二月四日 松平右近將監 武元判

松平薩摩守殿

2852 重豪公御譜中

是歲寶曆十三年十一月二十七日

櫻町院第二皇女緋宮寶曆十二年七月二十七日踐即位、奉稱二

今上皇帝御尊、因茲遣使者伊勢兵部貞矩・副使山田權

兵衛國倫於京師、同年十二月四日獻上御太刀一腰・

御馬代白銀三十枚于

禁裏御所、御太刀一腰・同十枚于

親王御所、白金十枚于

女院御所、同品于

准后御所矣、使節事畢、同月十五日發京郡、翌年正

月二十三日歸薩府而復命、

2853 重豪公御譜中

正文在文庫

（重好、家重思可） 徳川宮内卿殿婚姻相濟外付而、爲御祝儀鯛一折被獻之外、

遂披露外處一段之御仕合外、恐々謹言、

〔卷〕
「寶曆十三年」

十二月五日

松平周防守

康福判

松平薩摩守殿

全上

徳川宮内卿殿婚姻相濟_レ付_ル、爲御祝儀鯛一折被獻_レ外、遂披露_レ外處一段之御仕合_リ、恐_ク謹言、〔卷〕
「寶曆十三年」

十二月五日

松平右近將監

武元判

松平薩摩守殿

重豪公御譜中

扣正文在右筆所

私事寒濕之痛有_レ外處、當冬就中當寒濕積氣強差發、難儀仕_レ外、然者來秋琉球中山王使者召連參府仕_レ様被仰渡置、右使者秋末より至冬致旅行儀_レ得_ル者、向寒氣長途召連_レ儀別_ル難儀存申_レ外、依之私儀者來春中國元致發足、先達_ル參府仕、於其御地得_レ保養仕度_レ外、左外_レ琉球人之儀者、家來之者_ニ警固申付、來秋鹿兒嶋出足爲_レ仕、出府仕_レ外上私召連登 城仕、諸事先格之通相勤申度念望御座_レ外、尤寒冷之時分押_ル私召連參府仕、寒濕痛差發、先規之勤も難成_レ仕_レ得_ル者、甚以迷惑奉存外付、何卒春中國許發足仕_レ様被 仰付被_レ下度願_レ外、

以上、

〔卷〕
「寶曆十三年」

十二月五日

御名

〔卷〕
「右之御願申正月九日御用御頼、御先手雨宮權左衛門様_ニ而、御用番松平右京大夫様_ニ被差出置_レ外處、翌十日御留守居御用申來、山本猪散太罷出_レ外處、右京大夫様_ニ御用人關源八_ニ而、御願書御付紙を以御渡被_レ成_レ外事」一慶安二年中山王尚質繼目御禮之使者、江戸_ニ差上_レ外節、故大隅守光久同年正月鹿兒嶋發足、中山王使者_ニ家來相附、後立_ル鹿兒嶋出足仕候、一承應二年 御代替爲御祝儀、中山王尚質使者差上_レ外節、

故大隅守光久儀者、同年四月鹿兒嶋發足、中山王使者

_ニ家來相附、後立_ル鹿兒嶋出足仕候、右之通中山王使者_ニ家來之者相附差上_レ外儀及御座_レ外、然共其以後者、右躰之例無御座_レ外、琉球人之儀者、先

格を專存候者共、此度召連不申儀至私迷惑仕、且又琉

球人共_ニ表不足之様可存_レ得_ル共、此節之儀、痛所故難黙止、家來相附差上_レ外、以後之例格_ニ者相成間敷旨、

琉球人は具申聞爲致得心内存ニ御座外故、此段相願申儀御座外、以上、

(卷)
一寶曆十三年「十二月五日
島津重豪
御名

重豪公御譜中

扣正文在家老座

大守様御事寒濕之御痛被遊御座、冬ニ相成外得者、御疝癩被差發外付、段々御保養被遊外得共、寸切と不被成御座、就中當冬者強被差發、御難儀被遊外、寒中相懸り長途御旅行難被遊、琉球人被召列外付外得者、専冬ニ相成、殊御勤表被成御座外處、御道中御難儀之上、於江戸早速より之御勤事萬一御痛被差起り外、御勤難被遊外者御残念ニ被、思召上外付、太守様ニ者來春、御發駕被遊、琉球人者秋御跡より出立仕外筋、御願被、仰立外儀者相成間敷之旨、御内々被、仰出外付、乍古例慶安・承應兩度之例相調、御内々達、貴聞外處、隱便ニ主鈴に申越外様ニ可仕旨被仰付外付、川上龍衛被差立外節、委細御内用を以主鈴殿に此面方申越通外處、又外被、仰出外者、先達而龍衛便ニ申遣外通之分ニ者者、噲之様成儀ニ者外得者、思召之通ニ者調兼賦

ニ外間、爰元御家老中申談、屹と申越何連之筋ニ者御願被差出、來春中、御發駕相調外様ニ被、思召上外旨被、仰出外、右ニ付外者、先達而此面に御内々被、仰付外節、二階堂部を以御先格之通被遊度外、前後之御差支者可有之哉之趣者、具ニ申上外得共、御先格之通被遊外方宜との儀者御存被遊外乍上、何れ之筋ニ者早御參府被遊度との御事ニ者外、細々書面ニ難達外、委細者入佐一三二可申達外、右通之儀外故、此度者、思召之通無之外者、決而不宜答外、此上者弥御願被仰出外方可然と同役中申談、御請申上外處、一三二御使被仰付、急可被差立旨被、仰出外付、一三二に申渡、今日爰元急ニ者差立被遣外、得と可被得其意外、何分御願之通相違外様可被取計外、

一享保三年井上河内守様より琉球人被召列不及、御家老共警固ニ者可相濟哉と御尋之趣有之外處、琉球人者専先格を堅相守外付、得心不仕段被仰立外儀有之由、御右筆共覺居外人有之、相糺外得共不相知外、其御元ニ者相知可有之哉、若右通之儀有之外者、此度之儀、寒濕之御痛長途之御旅行向冬難被遊、押而御旅行被遊外者、於江戸萬一御痛被差起、先規之御勤不被相調

ハル者、御迷惑ニ被 思召上ハ筋ニ得者、難黙止御事、琉球人ニ及例格ニ不相成様との儀ニハ押ル得心ニ可被仰付趣ニハ者、苦ケ間敷と被 思召上ハ、且又御任官沙汰之儀ニ付、御家老・老中何ヤカヤ可存ハ、御功薄様ニ

公邊御沙汰及可有之哉、然共中山王自分繼目之御禮之節者御任官無之、

公義御代替ニ付被召列ハ節者 御任官被仰出ハ御先格ハ得者、御跡より出府仕との譯ニハ有之間敷哉、萬

一御差支有之ハハ者、未御年若ニ被遊御座ハ付ハ者、往々御任官者案中ニ被 思召上ハ付、此儀少及御とん

りやく不被遊ハ間左様可相心得ハ、何分及御願相達早御參府被遊方可取計旨被 仰出ハ、委細者一三二口達

ニ申合ハ間、申出ニハ可有之ハ、御願書御案文壹通相添差遣ハ、猶於其元被申談、宜様可被相計ハ、尤御日

附なしニ遣ハ間、日積考之上御日附可被致ハ、左ハ御内意被申込ハ御方様ハ者可被申上ハ、 御守殿新御

奥ハ者可被申上ハ、御直御文を以テ御内々被仰進之由ハ、御都合宜様ニ首尾可被致ハ、たとへ 御守殿より

思召有之ハ共、其段者御留被申上、御願被差出被請取

置ハ者、早々急飛脚を以被申上、御願之通被 仰出ハ

者、猶又以飛脚可被申上ハ御手當及有之ハ、一三二事

右御用相濟迄者被留置、御願之通相濟ハ節急ニハ可被

差立ハ、

一御願之通相濟ハ者、御金之御手當入用ハ間、京・大坂

御留守居ハ早々可被申渡ハ、其外御知せ旁之儀、御先

例之通可被致首尾ハ、

右申越ハ條被申談、可被致首尾ハ、以上、

^(米)「寶曆十三年」

十二月十五日

高橋此面

鎌田藏人

川田伊織

菱刈藤馬

島津左中

島津 全

島津山城殿

島津主鈴殿

2857

全上

正文在文庫

今度

御即位爲御祝儀、以使者目録之通被獻之外、遂披露外處一段之御仕合外、恐々謹言、

(采)「寶曆十三年」

十二月十五日

松平右近將監

武元判

松平薩摩守殿

2858

全上

今度 御即位爲御祝儀、以使者目録之通被獻之外、遂披露外之處一段之御仕合外、恐々謹言、

(采)「寶曆十三年」

十二月十五日

松平周防守

康福判

松平薩摩守殿

2859

重豪公御譜中
正文在島津縫殿

加冠

宜爲

寶曆十三未

十二月十五日

御判

小平太

鳴津金次郎

2860

全上

正文在文庫

御札令披見外、

公方様 若君様益御機嫌能被成御座、恐悦旨尤外、然者

公方様 御臺様より妻女の出産之御尋有之、難有由得其

意外、紙面趣各一覽之事り、恐々謹言、

(采)「寶曆十三年」

十二月十八日

松平右近將監

武元判

松平薩摩守殿

2861

全上

正文在文庫

御札令披見外、

公方様益御機嫌能被成御座、十月十四日 増上寺 御靈

屋 御參詣之儀被承之、恐悦旨尤外、紙面之趣各申談及

上聞候、恐々謹言、

(采)「寶曆十三年」

十二月十八日

松平右近將監

武元判

松平薩摩守殿

2862

全上

御札令披見候、就寒中

公方様 若君様御機嫌以使者被相同外、益御安全御儀外
間可御心易外、隨而琉球袖十端并纏節一箱被獻之外、遂
披露外處一段之御仕合外、恐々謹言、

〔卷〕
〔寶曆十三年〕 十二月十八日 松平周防守 康福判

松平薩摩守殿

全上

御札令披見外、

公方様 若君様益御機嫌能被成御座、恐悦旨尤外、隨而
蜜柑二箱・炙鮎一箱被獻之外、各申談遂披露外處一段之
御仕合外、恐々謹言、

〔卷〕
〔寶曆十三年〕 十二月十八日 松平右近將監 武元判

松平薩摩守殿

全上

御札令披見外、就寒中

公方様 若君様御機嫌以使者被相同之外、益御勇健御儀
外間可御心易外、隨而琉球袖十端并纏節一箱被獻之外、

各申談遂披露外處一段之御仕合外、恐々謹言、

〔卷〕
〔寶曆十三年〕 十二月十八日 松平右近將監 武元判

松平薩摩守殿

全上

御札令披見外、

公方様 若君様益御機嫌能被成御座、恐悦旨尤外、隨而
蜜柑二箱・炙鮎一箱被獻之外、遂披露候之處一段之御仕
合外、恐々謹言、

〔卷〕
〔寶曆十三年〕 十二月十八日 松平周防守 康福判

松平薩摩守殿

全上

御札令披見外、

公方様 若君様益御機嫌能被成御座、恐悦旨尤外、然者
十月十四日從

公方様 御臺様、妻女に出生之 御尋有之、難有由得其
意外、依之爲御禮被申越外紙面之趣令承知外、恐々謹言、

〔卷〕
〔寶曆十三年〕 十二月十八日 松平周防守 康福判

松平薩摩守殿

2867 全上

御札令披見外、

公方様 若君様益御機嫌能被成御座、恐悦旨尤外、然者
妻女出産付、御目錄之通拜領之、難有由得其意外、紙
面之趣各一覽之事外、恐々謹言、

(巻)
「寶曆十三年」

十二月十九日

松平薩摩守殿

松平右近將監
武元判

2868 全上

御札令披見外、

公方様 若君様益御機嫌能被成御座、恐悦旨尤外、然者
妻女出産付、從

公方様 御臺様妻女拜領物有之、難有由得其意外、紙面
之趣令承知外、恐々謹言、

(巻)
「寶曆十三年」

十二月十九日

松平薩摩守殿

松平周防守
康福判

2869 全上

御札令披見外、

公方様 若君様益御機嫌能被成御座、恐悦旨尤外、然者
公方様 御臺様より妻女出産付、御目錄之通拜領之、難
有由得其意外、紙面之趣各一覽之事外、恐々謹言、

(巻)
「寶曆十三年」

十二月十九日

松平薩摩守殿

松平右近將監
武元判

2870 全上

御札令披見外、

公方様 若君様益御機嫌能被成御座、恐悦旨尤外、然者
妻女出産付、從

公方様拜領物有之、難有由得其意外、紙面之趣令承知外、
恐々謹言、

(巻)
「寶曆十三年」

十二月十九日

松平薩摩守殿

松平周防守
康福判

2871

重豪公御譜中

扣正文在右筆所

なをくいかほともよろしく御さたたのミそんしま
いらせり、めてたくかしく、

一筆申上まいらせり、

上々様ますく御機けんよく御座なされ、恐悦にそんし
奉りり、しかれハ妻より年中献上物等の儀、ねかひのと
をり仰渡されり、御禮として御さかな献上仕らせたくよ
し相うかひひ處に

公方様 御臺様へ御看一折ツ、明後廿七日けん上仕りり
やうにとおほせ渡され、ありかたくそんし奉りり、右の
御禮申上度り、

御臺様へも申上り、御序のおりから

御前よろしきやうに御とりなしたのミ入そんしまいらせ
り、めてたくかしく、

(朱)
「寶曆十三年」

松嶋さま

たか岳さま

うら尾さま

岩瀬さま

砂野さま

瀧川さま

2872

寫正文在右筆所

むめ田さま

る申給へ

返くよ事、萬く年御めてたさ祝入まいらせり、
めてかしく、

上々様かた御機けんよく成らせられ、御めてたさ、さて
ハ保姫様より年中御けん上物御ねかひのとをり相濟り、
御禮として保姫様より

御貳御所様 若君様 姫君様に御看一折ツ、御けん上被
成たきよし、昨日薩摩守様より御伺被成り、

公方様 御臺様へ御看一おりツ、御上ケ被成りやうに、
よろしく御達し被成りへくり、

若君様 姫君様へハその儀に不及り、このよしなにも宜
御傳へまし被下給へくり、めてたくかしく、

(朱)
「寶曆十三年」

松嶋

たか岳

うら尾

岩瀬

砂野

萩原さま

御梅さま

岡たさま
ニテ

瀧川
むめた

2873 重豪公御譜中

正文在文庫

爲歲暮之祝儀、小袖一重到來歡覺候、委曲松平右京大夫可述外也、

(朱) 一寶曆十三年 十二月廿七日



薩摩少將殿

2874 全上

爲歲暮之御祝儀、以使者御小袖一重被獻之外、遂披露外之處一段之御仕合外、恐々謹言、

(朱) 一寶曆十三年 十二月廿七日

松平薩摩守殿

松平周防守
康福判

2875 正文在文庫

若君様御誕生爲御祝儀、從琉球中山王使者薩州迄差越、品々差上外、依之從

若君様中山王に如目錄被遣外、此段可被相違外、且亦彼使者豊見城王子に白銀貳拾枚被下外條、可被申渡外、

2876 重豪公御譜中

正文在文庫

若君様江御破魔弓一飾、以使者被獻之外、首尾好遂披露候、恐々謹言、

(朱) 一寶曆十三年 十二月廿八日

松平薩摩守殿

松平周防守
康福判

2877 全上

御札令披見外、

公方様 若君様益御機嫌能被成御座、恐悦旨尤外、然者若君様御誕生之爲御祝儀、從琉球中山王使者豊見城王子薩州迄差越之外、依之右書翰并目錄之通獻上外付外、以使者被差越之遂披露候、則返札且別紙書付遣外條、得其意可被相違候、恐々謹言、

(朱) 一寶曆十三年 十二月廿九日

松平周防守
康福判

松平右京大夫
輝高判

秋元但馬守
涼朝判

松平右近將監
武元判

酒井左衛門尉
忠寄判

松平薩摩守殿

2878 正文在文庫

若君様御誕生爲御祝儀、從琉球中山王使者薩州迄差越品
々差上り、依之從

公方様中山王に如目錄被遣り、此段可被相達り、且亦彼
使者豐見城王子に白錄(總)五拾枚被下り條、可被申渡り、

2879

全御譜中

正文在文庫

御札令披見り、

公方様 若君様益御機嫌能被成御座、恐悦旨尤り、將又

十月廿九日從

公方様妻女御鷹之鷹拜領之、難有由得其意り、紙面之趣

令承知り、恐々謹言、

(采)
「寶曆十三年」
十二月廿九日
松平周防守
康福判

松平薩摩守殿

2880 全上

御札令披見り、

公方様 若君様益御機嫌能被成御座、恐悦旨尤り、然者
萬壽姫君様御誕生之爲御祝儀、從琉球中山王使者玉川王
子薩州迄差越り、依之右書翰并目錄之通獻上り付る、以
使者被越之遂披露り、則返札且別紙書付遣り條、得其意
可被相達り、恐々謹言、

(采)
「寶曆十三年」
十二月廿九日

松平周防守
康福判

松平右京大夫
輝高判

秋元但馬守
涼朝判

松平右近將監
武元判

酒井左衛門尉
忠寄判

松平薩摩守殿

重豪公御譜中
正文在文庫

(卷)
〔寶曆十三年〕
十二月廿九日
松平薩摩守殿

板倉佐渡守
勝清判

2885

全上
正文在文庫

御札令披見外、

公方様 若君様益御機嫌能被成御座、恐悦旨尤外、將又
妻女御鷹之鴈拜領之、難有由得其意外、紙面趣各一覽之

2882

全上

御札致拜見外、

公方様 若君様益御機嫌能被成御座、恐悦旨尤之事外、

然者

姫君様御誕生爲御祝儀、從琉球中山王使者玉川王子薩州
迄差越外、依之右書翰并目錄之通獻上外付外、以使者被
越之致承知外、則返札遣外條、得其意可被相違外、恐々
謹言、

2884

正文在文庫

御札致拜見外、
公方様 若君様益御機嫌能被成御座、恐悦旨尤之事外、
然者
若君様御誕生之爲御祝儀、從琉球中山王使者豐見城王子
薩州迄差越外、依之右書翰并目錄之通獻上外付外、以
使者被越之致承知候、則返札遣外條、得其意可被相違外、
恐々謹言、

(卷)
〔寶曆十三年〕
十二月廿九日
板倉佐渡守
勝清判

松平薩摩守殿

松平薩摩守

在所之御暇被下、拜領物被仰付、近々御目見可被
仰付外、

事ハ、恐々謹言、

(卷)
〔寶曆十三年〕 十二月廿九日

松平右近將監
武元判

松平薩摩守殿

2886
全上

御札令披見ハ、

公方様 若君様益御機嫌能被成御座、恐悦旨尤ハ、然者
若君様御誕生爲御祝儀、從琉球中山王使者豐見城王子薩
州迄差越ハ、依之右書翰并目錄之通獻上ハ付カ、以使者
被越之遂披露ハ、則返札且別紙書付遣ハ條、得其意可被
相達ハ、恐々謹言、

(卷)
〔寶曆十三年〕 十二月廿九日

松平周防守
康福判

松平薩摩守殿

花

押

集

例 言

一本巻所収文書に用いられている花押全部を収載したが、同一人の同一花押と判断できるものは、その典型的なものを採った。

一原則として底本から模写したが、島津氏花押涉覧・花押藪（ともに東京大学史料編纂所蔵本）を参照した。

一収載した花押と、本巻所収文書との関連を示すために、花押集に付した通し番号を所収文書の花押の位置に付した。

一二種以上の花押が用いられているものは、番号を別にして、これを収載した。

一通し番号は、文書の配列（おおむね編年順）に従い、初出の花押にこれを付した。

一花押は、その大きさは適宜縮小・拡大して収載した。

1 島津宗信



5 島津重豪



2 島津重年



6 徳川家治



3 徳川家重



4 近衛内前



文書・記事目録

例言

- 一この目録は、本巻に収められた文書・記事の全部を、底本の配列に従い、通し番号を付して収載したものである。
- 一文書は、番号のほか、年月日、文書題を記載し、記事は年月日の欄に（記事）と記し、かつ記事題を付した。
- 一文書の年月日のうち、追筆（朱書または朱カキの注あり）の年紀は（ ）、原文書記載の年紀はそのままとし、追筆年紀で疑義あるものは「」で囲んで区別した。
- 一年紀を欠くものうち、明らかに推定しうるものは〔 〕で囲んだ。
- 一孟春（正月）、林鐘（六月）、暮秋（九月）、孟冬（十月）、霜月（十一月）、大呂（十二月）等の月の異称ならば、念（二十日）はすべて数字に、また、烏、莫は日に改めたが、朔日、晦日はそのまま残した。

一	延享四年	五月	島津久甫外六名連署申渡書
二	(延享四年)	五月 二日	徳川家重御内書
三	(延享四年)	五月 二日	松平武元 <small>西丸</small> 書狀
四	(延享四年)	五月 二日	徳川家重御内書
五	(延享四年)	五月 二日	松平武元 <small>老丸</small> 書狀
六	(延享四年)		清崎・高瀬連署消息
七	(延享四年)		藤之外二名連署消息
八	(延享四年)	五月 十日	徳川宗勝書狀
九	(延享四年)	五月 十二日	本多正珍書狀
一〇	(延享四年)	五月 十二日	西尾忠尚書狀
一一	(延享四年)	五月 十二日	松平武元 <small>老丸</small> 書狀
一二	(延享四年)	五月 十八日	島津吉貴書狀
一三	(延享四年)	五月 廿七日	本多正珍書狀
一四	(延享四年)	五月 廿七日	松平武元 <small>老丸</small> 書狀
一五	(延享四年)	五月 廿七日	西尾忠尚書狀
一六	(延享四年)	五月 廿九日	本多正珍書狀
一七	(延享四年)		藤之外二名連署消息
一八	(延享四年)	六月 十三日	酒井忠知書狀
一九	(延享四年)	六月 十三日	西尾忠尚書狀
二〇	(延享四年)	六月 十三日	松平武元 <small>老丸</small> 書狀
二一	(延享四年)		さえた外六名連署消息
二二			(記事) 宗信帰國シ、吉貴礼使ヲ派ス
二三	(延享四年)	六月 十八日	酒井忠知書狀

二四	(延享四年)	六月 十八日	西尾忠尚書狀
二五	(延享四年)	六月 十八日	松平武元 <small>西丸</small> 書狀
二六	(延享四年)	六月 十八日	酒井忠知書狀
二七	(延享四年)	六月 十八日	西尾忠尚書狀
二八	(延享四年)	六月 十八日	松平武元 <small>老丸</small> 書狀
二九	(延享四年)	六月 十八日	酒井忠知書狀
三〇	(延享四年)	六月 十八日	松平武元 <small>老丸</small> 書狀
三一	(延享四年)	六月 十八日	西尾忠尚書狀
三二	(延享四年)	六月 十八日	松平武元 <small>老丸</small> 書狀
三三	(延享四年)	六月 十八日	酒井忠知書狀
三四	(延享四年)	六月 十八日	西尾忠尚書狀
三五	(延享四年)		小枝外六名連署消息
三六	(延享四年)		清崎・高瀬連署消息
三七	(延享四年)	六月 十九日	酒井忠知書狀
三八	(延享四年)	六月 廿一日	酒井忠知書狀
三九	(延享四年)	六月 廿一日	松平武元 <small>老丸</small> 書狀
四〇	(延享四年)	六月 廿一日	西尾忠尚書狀
四一	(延享四年)	六月 廿四日	本多正珍書狀
四二	(延享四年)	六月 廿四日	本多正珍書狀
四三	(延享四年)	六月	養子願御触書
四四	(延享四年)	六月 廿九日	佐久間盛邦届書
四五	(延享四年)	七月 三日	松平武元 <small>老丸</small> 書狀
四六	(延享四年)	七月 三日	松平武元 <small>老丸</small> 書狀

四七(延享四年)	七月 六日	堀田正亮書狀	五八(延享四年)	八月十三日	西尾忠尚書狀
四八(延享四年)	七月 六日	堀田正亮書狀	五九(延享四年)	八月 三日	岡田外二名連署消息
四九(延享四年)	七月 六日	松平武元 <small>西丸</small> 書狀	六〇(延享四年)	八月十三日	本多正珍書狀
五〇(延享四年)	七月 六日	酒井忠知外二名 <small>幕府</small> 連署狀	六一(延享四年)	八月十三日	西尾忠尚書狀
五一(延享四年)	七月 六日	松平武元 <small>西丸</small> 書狀	六二(延享四年)	八月十四日	本多正珍書狀
五二(延享四年)	八月 三日	顯姪久周・伊勢貞起家連署書狀	六三(延享四年)	八月十五日	本多正珍書狀
(の二)(延享四年)	九月 九日	在國家老伺書	六四(延享四年)	八月十五日	松平武元 <small>西丸</small> 書狀
(の二)(延享四年)	九月十七日	堀貞矩書狀	六五(延享四年)	八月十五日	西尾忠尚書狀
(の三)(延享四年)	四月 九日	島津忠雅願書	六六(延享四年)		清崎・高瀬連署消息
(の四)(延享四年)	四月 九日	島津忠雅願書	六七(延享四年)		さえた外六名連署消息
(の五)(元文五年)	十一月 九日	島津忠雅書狀	六八(延享四年)	八月十五日	本多正珍書狀
(の六)(元文五年)	十一月 九日	樺山典膳 <small>佐土</small> 書狀	六九(延享四年)	八月十五日	西尾忠尚書狀
(の七)(元文五年)	十二月 二日	比志島範房書狀	七〇(延享四年)	八月十五日	松平武元 <small>西丸</small> 書狀
(の八)(元文五年)	十二月 四日	樺山典膳 <small>佐土</small> 書狀	七一(延享四年)	八月十五日	島津久道証狀
(の九)(元文五年)	十二月 六日	島津忠雅書狀	七二(延享四年)	八月 日	島津久道申渡書
(の二〇)(元文五年)	十二月 九日	比志島範房書狀	七三(延享四年)	八月十六日	記錄方副狀
(の二一)(元文五年)	十二月廿五日	比志島範房書狀	七四(延享四年)	八月十六日	西尾忠尚書狀
(の二二)(元文六年)	一月 朔日	島津忠雅書狀	七五(延享四年)		さえた外六名連署消息
(の二三)(元文五年)	十二月 四日	記錄方 <small>佐土</small> 覺書	七六(延享四年)		さえた外六名連署消息
(の二四)(元文五年)	十二月十七日	記錄方 <small>原</small> 覺書	七七(延享四年)		清崎・高瀬連署消息
五三(延享四年)	九月廿一日	島津久甫外四名 <small>幕府</small> 連署返書	七八(延享四年)	八月廿一日	酒井忠知外二名 <small>幕府</small> 連署奉書
五四	(記事)	繼豊、御鷹ノ雲雀拝領ス	七九(延享四年)	八月廿四日	本多正珍書狀
五五(延享四年)	八月 四日	酒井忠知外二名 <small>幕府</small> 連署狀	八〇(延享四年)	八月廿四日	松平武元 <small>西丸</small> 書狀
五六(延享四年)	八月 四日	松平武元 <small>西丸</small> 書狀	八一(延享四年)	八月廿五日	酒井忠知外二名 <small>幕府</small> 連署狀
五七(延享四年)	八月十三日	本多正珍書狀	八二(延享四年)	八月廿五日	松平武元 <small>西丸</small> 書狀

- 八三 (延享四年) 八月廿五日 島津久甫老家申渡書
- 八四 (延享四年) 九月 六日 酒井忠知書狀
- 八五 (延享四年) 九月 六日 秋元涼朝書狀
- 八六 (延享四年) 九月 六日 西尾忠尚書狀
- 八七 (延享四年) 九月 七日 徳川家重御内書
- 八八 (延享四年) 九月 七日 松平武元書狀
- 八九 九月 七日 徳川家重御内書
- 九〇 (延享四年) 九月 七日 松平武元書狀
- 九一 (記事) 家重、宗信入部ノ安否ヲ問フ
- 九二 (延享四年) 九月十一日 酒井忠知外三名幕府連署書狀
- 九三 (延享四年) 九月十一日 酒井忠知宿次証文
- 九四 (延享四年) 九月廿五日 酒井忠知書狀
- 九五 (延享四年) 九月廿五日 秋元涼朝書狀
- 九六 (延享四年) 九月廿五日 西尾忠尚書狀
- 九七 (延享四年) 十月 朔日 徳川宗勝書狀
- 九八 (記事) 宗信、桃園帝ノ即位ヲ賀ス
- 九九 (延享四年) 十月 二日 本多正珍書狀
- 一〇〇 (延享四年) 十月 二日 秋元涼朝書狀
- 一〇一 (延享四年) 十月 二日 西尾忠尚書狀
- 一〇二 (記事) 宗信、神当流馬術ヲ総伝ス
- 一〇三 延享四年 十月 八日 島津久甫申渡書
- 一〇四 (延享四年) 十月 九日 島津宗信書狀
- 一〇五 (延享四年) 十月 九日 島津宗信書狀
- 一〇六 (延享四年) 十月 九日 島津宗信書狀
- 一〇七 (延享四年) 十月 九日 島津宗信書狀

- 一〇八 (記事) 吉貴逝去、浄光明寺ニ葬ル
- 一〇九 (延享四年) 十月 廿日 酒井忠知書狀
- 一一〇 (延享四年) 十月 廿日 酒井忠知書狀
- 一一一 延享四年 十月 廿三日 川田国富・小林政英連署寺地目録
- 一二二 (記事) 家重・家治・吉宗、吉貴ノ病ヲ問ハシム
- 一二三 (延享四年) 十月 廿六日 酒井忠知外三名幕府連署奉書
- 一二四 (延享四年) 十月 廿六日 秋元涼朝奉書
- 一二五 (延享四年) 十月 廿六日 西尾忠尚奉書
- 一二六 (延享四年) 十月 廿六日 堀田正亮宿次証文
- 一二七 (延享四年) 十月 廿八日 堀田正亮書狀
- 一二八 (延享四年) 十月 廿八日 堀田正亮書狀
- 一二九 (延享四年) 十月 廿八日 西尾忠尚書狀
- 一三〇 (記事) 將軍父子、吉貴ノ死ヲ弔ハシム
- 一二一 (延享四年) 十一月 五日 酒井忠知外三名幕府連署奉書
- 一二二 (延享四年) 十一月 五日 秋元涼朝奉書
- 一二三 (延享四年) 十一月 五日 西尾忠尚奉書
- 一二四 (延享四年) 十一月 十日 徳川宗勝書狀
- 一二五 (延享四年) 十一月 十二日 秋元涼朝書狀
- 一二六 (延享四年) 十一月 十二日 松平武元書狀
- 一二七 (延享四年) 十一月 十二日 西尾忠尚書狀
- 一二八 (延享四年) 十一月 十四日 松平武元書狀
- 一二九 (延享四年) 十一月 十八日 酒井忠知外三名幕府連署書狀
- 一三〇 (延享四年) 十一月 十八日 秋元涼朝書狀

- 一三一 (延享四年) 十一月十九日 西尾忠尚書狀
- 一三二 延享四年 十一月 高直願格式定
- 一三三 (延享四年) 清崎・高瀬連署消息
- 一三四 (延享四年) 十二月十二日 本多正珍書狀
- 一三五 (延享四年) 十二月十六日 本多正珍書狀
- 一三六 (延享四年) 十二月十六日 秋元涼朝書狀
- 一三七 (延享四年) 十二月十六日 西尾忠尚書狀
- 一三八 (延享四年) 十二月十六日 本多正珍書狀
- 一三九 (延享四年) 十二月十九日 本多正珍書狀
- 一四〇 (延享四年) 十二月十九日 秋元涼朝書狀
- 一四一 (延享四年) 十二月十九日 西尾忠尚書狀
- 一四二 (延享四年) 十二月廿一日 徳川宗直書狀
- 一四三 (延享四年) 清崎・高瀬連署消息
- 一四四 (延享四年) 十二月廿三日 本多正珍書狀
- 一四五 (延享四年) 十二月廿三日 秋元涼朝書狀
- 一四六 (延享四年) 十二月廿三日 西尾忠尚書狀
- 一四七 (記事) 宗信、御鷹ノ鶴ヲ拝領ス
寛文、相伝ノ文書、調度ヲ対面所ニテ聞
- 一四八 (延享四年) 十二月廿三日 酒井忠知外三名幕府連署狀
- 一四九 (延享四年) 十二月廿三日 本多正珍宿次証文
- 一五〇 (延享四年) 十二月廿三日 本多正珍書狀
- 一五一 (延享四年) 十二月廿三日 秋元涼朝書狀
- 一五二 十二月廿七日 徳川家重御内書
- 一五三 (延享四年) 十二月廿七日 秋元涼朝書狀
- 一五四 (延享四年) 十二月廿七日 本多正珍書狀
- 一五五 (延享四年) 十二月廿七日 西尾忠尚書狀

- 一五六 (延享四年) 十二月廿八日 秋元涼朝書狀
- 一五七 (延享四年) さえた外五名連署消息
- 一五八 (延享四年) 清崎・高瀬連署消息
- 一五九 継豊御鷹ノ鶴拝領ス
- 一六〇 (延享四年) 十二月廿七日 徳川家重御内書
- 一六一 (延享四年) 十二月廿七日 秋元涼朝書狀
- 一六二 延享四年 十二月 島津宗信達書并家老連署副書
- 一六三 (記事) 古傳磯路ニ卒ス
吉貞ノ遺髪ヲ淨光明寺ニ納ム
吉貞ノ葬儀ヲ淨光明寺ニ行フ
- 一六四 (延享四年) 十月 榊山久初申渡書
- 一六五 島津吉貴葬送祭文
- 一六六 島津宗信祭文
- 一六七 島津貴傳祭文
- 一六八 島津忠紀祭文
- 一六九 島津忠郷祭文
- 一七〇 島津久門祭文
- 一七一 島津久甫祭文
- 一七二 島津久尚祭文
- 一七三 島津久亮祭文
- 一七四 島津久柄祭文
- 一七五 島津久起祭文
- 一七六 島津久茂祭文
- 一七七 種子島久馮祭文
- 一七八 小松安之助祭文
- 一七九 (記事) 將軍父子、吉貴ノ訃ニ賻銀ヲ賜フ

- 一八〇 (延享四年) 十二月 二日 寺社奉行所申渡書
- 一八一 (記事) 即宗院龍芳、吉貴ノ靈前ニ詣ス
- 一八二 京都即宗院祭文
- 一八三 (記事) 吉貴ノ遺物ヲ近衛内前等ニ獻ス
吉貴ノ遺髪ヲ高野山ニ納メ靈塔ヲ建立ス
- 一八四 島津吉貴靈塔銘
- 一八五 延享五年 六月廿七日 蓮金院石燈籠寄進狀并御位牌証帖
- 一八六 延享五年 六月廿五日 蓮金院大曼荼羅寄進請狀
- 一八七 延享五年 六月廿二日 蓮金院三時僧衆名書
- 一八八 延享五年 六月廿七日 島津宗信諷誦文
- 一八九 (記事) 尚敬、吉貴ノ靈前ニ祭文ヲ捧ク
- 一九〇 琉球國王尚敬祭文
- 一九一 寛延敬元 島津忠雅、吉貴ノ小祥忌ニ祭文ヲ獻ス
- 一九二 (記事) 島津忠雅祭文
- 一九三 (延享五年) 一月 七日 酒井忠知書狀
- 一九四 (延享五年) 一月 七日 秋元涼朝書狀
- 一九五 (延享五年) 一月 七日 酒井忠知書狀
- 一九六 (延享五年) 一月 七日 秋元涼朝書狀
- 一九七 延享五年 一月十一日 島津宗信吉書
- 一九八 (延享五年) 一月十一日 酒井忠知書狀
- 一九九 (延享五年) 一月十一日 西尾忠尚書狀
- 二〇〇 (延享五年) 一月十一日 秋元涼朝書狀
- 二〇一 (延享五年) 一月十一日 酒井忠知外三名幕府連署狀
- 二〇二 (延享五年) 一月十一日 秋元涼朝書狀
- 二〇三 (延享五年) 一月十一日 西尾忠尚書狀
- 二〇四 (延享五年) 一月十八日 酒井忠知書狀
- 二〇五 (延享五年) 一月十八日 秋元涼朝書狀
- 二〇六 (延享五年) 一月十八日 西尾忠尚書狀
- 二〇七 (延享五年) 一月十八日 酒井忠知書狀
- 二〇八 (延享五年) 一月十八日 秋元涼朝書狀
- 二〇九 (延享五年) 一月十八日 西尾忠尚書狀
- 二一〇 (延享五年) 一月十九日 酒井忠知書狀
- 二一一 (延享五年) 一月十九日 秋元涼朝書狀
- 二一二 (延享五年) 一月十九日 西尾忠尚書狀
- 二一三 (延享五年) 二月 六日 堀田正亮書狀
- 二一四 (延享五年) 二月 六日 秋元涼朝書狀
- 二一五 (延享五年) 二月 六日 西尾忠尚書狀
- 二一六 (延享五年) 二月 八日 徳川宗翰書狀
- 二一七 (延享五年) 二月 八日 清崎・高瀬連署消息
- 二一八 (延享五年) さえた外五名連署消息
- 二一九 (延享五年) 二月 廿日 堀田正亮書狀
- 二二〇 (延享五年) 三月 五日 秋元涼朝書狀
- 二二一 (延享五年) 三月 九日 松平武元書狀
- 二二二 (延享五年) 三月 九日 本多正珍書狀
- 二二三 (延享五年) 清崎・高瀬連署消息
- 二二四 (延享五年) 三月 廿一日 松平武元書狀
- 二二五 (延享五年) 三月 廿五日 松平武元書狀
- 二二六 (延享五年) 三月 廿五日 西尾忠尚書狀
- 二二七 (延享五年) 三月 廿五日 西尾忠尚書狀
- 二二八 (延享五年) 三月 廿六日 堀田正亮書狀

- 二二九 (延享五年) 四月 三日 秋元涼朝書狀
 二三〇 (延享五年) 四月 四日 秋元涼朝書狀
 二三一 (延享五年) 四月 四日 秋元涼朝書狀
 二三二 (延享五年) 四月 四日 西尾忠尚書狀
 二三三 (延享五年) 四月 五日 酒井忠知外三名幕府連署狀
 二三四 (延享五年) 四月 廿一日 本多正珍書狀
 二三五 (延享五年) 四月 廿一日 秋元涼朝書狀
 二三六 (延享五年) 四月 廿三日 本多正珍書狀
 二三七 (延享五年) 四月 廿三日 秋元涼朝書狀
 二三八 (延享五年) 四月 廿三日 西尾忠尚書狀
 二三九 (延享五年) 四月 廿五日 島津久甫外四名老家連署証狀
 二四〇 (延享五年) 四月 廿五日 島津久甫外四名老家連署証狀
 二四一 (延享五年) 四月 廿五日 島津久甫外四名老家連署証狀
 二四二 (延享五年) 四月 廿五日 島津久甫外四名老家連署証狀
 二四三 (延享五年) 四月 廿五日 宗信、至心院家治生母ノ死ヲ唱フ
 二四四 (延享五年) 四月 廿七日 堀田正亮書狀
 二四五 (延享五年) 四月 廿七日 秋元涼朝書狀
 二四六 (延享五年) 四月 廿七日 西尾忠尚書狀
 二四七 (延享五年) 五月 四日 德川家重御内書
 二四八 (延享五年) 五月 四日 秋元涼朝書狀
 二四九 (延享五年) 五月 四日 德川家重御内書
 二五〇 (延享五年) 五月 四日 秋元涼朝書狀
 二五一 (延享五年) 五月 高上願格式定
 二五二 (延享五年) 六月 十四日 本多正珍書狀
 二五三 (延享五年) 六月 十九日 松平武元書狀
- 二五四 (延享五年) 六月
 二五五 (延享五年) 六月 廿二日 故島津吉貴靈塔碑文
 二五六 (延享五年) 六月 廿五日 三時勸行僧衆請定
 二五七 (延享五年) 六月 廿七日 淨国院貴位牌証帖
 二五八 (延享五年) 六月 廿七日 島津宗信諷誦文
 二五九 (延享五年) 六月 日 島津繼豊寄進狀
 二六〇 (延享五年) 六月 廿四日 本多正珍書狀
 二六一 (延享五年) 六月 廿五日 松平武元書狀
 二六二 (延享五年) 七月 三日 島津宗信請書
 二六三 (延享五年) 七月 四日 酒井忠知書狀
 二六四 (延享五年) 七月 四日 秋元涼朝書狀
 二六五 (延享五年) 七月 四日 西尾忠尚書狀
 二六六 (延享五年) 七月 四日 酒井忠知書狀
 二六七 (延享五年) 七月 四日 西尾忠尚書狀
 二六八 (延享五年) 七月 四日 秋元涼朝書狀
 二六九 (延享五年) 七月 四日 房姫德川宗勝女 卒又
 二七〇 (延享五年) 七月 六日 酒井忠知外三名幕府連署狀
 二七一 (延享五年) 七月 六日 秋元涼朝書狀
 二七二 (延享五年) 七月 六日 酒井忠知書狀
 二七三 (延享五年) 七月 六日 秋元涼朝書狀
 二七四 (延享五年) 七月 六日 寬延改元
 二七五 (延享五年) 七月 六日 寬延改元
 二七六 (寬延元年) 八月 三日 本多正珍書狀
 二七七 (寬延元年) 八月 三日 秋元涼朝書狀
- (記事) 領内寺社ニ精品ヲ獻ス
 (記事) 宗信對封ノ

二七八(寛延元年)	八月 三日	西尾忠尚書狀	三〇三(寛延元年)	九月 七日	秋元涼朝書狀
二七九	(記事)	継豊、御鷹ノ鶴拜領ス	三〇四(寛延元年)	九月 九日	島津宗信書狀
二八〇(寛延元年)	八月 四日	本多正珍書狀	三〇五	(記事)	継豊、琉使ヲ伴ヒ參府ス
二八一(寛延元年)	八月 四日	秋元涼朝書狀	三〇六(寛延元年)	九月十五日	堀田正亮書狀
二八二(寛延元年)	八月 四日	西尾忠尚書狀	三〇七	(記事)	宗信乗船シ難風ニ遭フ
二八三(寛延元年)	八月 四日	酒井忠知外三名 <small>幕府</small> 連署狀	三〇八(寛延元年)	九月十五日	秋元涼朝書狀
二八四(寛延元年)	八月 四日	秋元涼朝書狀	三〇九(寛延元年)	九月十五日	西尾忠尚書狀
二八五 寛延元年	八月廿二日	島津久甫外四名 <small>老家</small> 連署副狀	三一〇(寛延元年)	十月 二日	松平武元書狀
二八六	(記事)	宗信、領國ノ僧侶ニ訓諭ス	三一(寛延元年)	十月 二日	西尾忠尚書狀
二八七 寛延元年	八月廿七日	島津宗信申渡書	三一二(寛延元年)	十月 二日	秋元涼朝書狀
二八八 寛延元年	八月廿七日	島津宗信判物	三一三(寛延元年)	十月 六日	松平武元書狀
二八九(寛延元年)	九月 六日	堀田正亮書狀	三一四(寛延元年)	十月 六日	秋元涼朝書狀
二九〇(寛延元年)	九月 六日	秋元涼朝書狀	三一五(寛延元年)	十月 六日	西尾忠尚書狀
二九一(寛延元年)	九月 六日	西尾忠尚書狀	三一六 寛延元年	十月十三日	島津久甫外二名 <small>老家</small> 連署証狀
二九二(寛延元年)	九月 六日	島津宗信書狀	三一七 寛延元年	十月十三日	島津久甫外二名 <small>老家</small> 連署証狀
二九三(寛延元年)	九月 六日	島津宗信書狀	三一八 寛延元年	十月十六日	義岡久中・小林政一 <small>寺社奉行</small> 連署申渡書
二九四(寛延元年)	九月 六日	島津宗信書狀	三一九(寛延元年)	十月廿日	松平武元書狀
二九五(寛延元年)	九月 六日	島津宗信書狀	三二〇(寛延元年)	閏十月 三日	島津宗信請書
二九六(寛延元年)	九月 六日	島津宗信書狀	三二一(寛延元年)	十一月 六日	本多正珍書狀
二九七(寛延元年)	九月 六日	島津宗信書狀	三二二(寛延元年)	十一月 六日	秋元涼朝書狀
二九八(寛延元年)	九月 七日	徳川家重御内書	三二三(寛延元年)	十一月 六日	西尾忠尚書狀
二九九(寛延元年)	九月 七日	秋元涼朝書狀	三二四	(記事)	宗信乗船坂越ニ着ス
三〇〇 寛延元年	九月 七日	島津宗信寄進狀	三二五(寛延元年)	十一月 九日	本多正珍書狀
三〇一 寛延元年	九月 七日	島津久甫外二名 <small>老家</small> 連署副狀	三二六(寛延元年)	十一月 九日	秋元涼朝書狀
三〇二(寛延元年)	九月 七日	徳川家重御内書			

三二七 (寛延元年) 十一月 九日 西尾忠尚書状

三二八 (寛延元年) 十一月 九日 本多正珍書状

三二九 (記事) 宗信疏使ト共ニ伏見ニ着ス

三三〇 (寛延元年) 十一月廿一日 松平武元書状

三三一 (寛延元年) 十一月廿一日 秋元涼朝書状

三三二 (寛延元年) 十一月廿一日 西尾忠尚書状

三三三 (記事) 宗信、伏見ヲ發シ東ス

三三四 (寛延元年) 十二月 二日 堀田正亮書状

三三五 (寛延元年) 十二月 二日 秋元涼朝書状

三三六 (寛延元年) 十二月 四日 堀田正亮書状

三三七 (寛延元年) 十二月 四日 西尾忠尚書状

三三八 (寛延元年) 十二月 四日 秋元涼朝書状

三三九 (寛延元年) 十二月 四日 堀田正亮書状

三四〇 (寛延元年) 十二月 四日 秋元涼朝書状

三四一 (寛延元年) 十二月 四日 西尾忠尚書状

三四二 (寛延元年) 十二月 五日 秋元涼朝書状

三四三 (寛延元年) 十二月 五日 西尾忠尚書状

三四四 (寛延元年) 十二月 七日 松平武元書状

三四五 (記事) 継豊、御鷹ノ鶴拝領ス

三四六 (記事) 宗信、疏使ヲ率ヒ參府ス
宗信、登營ス

三四七 (寛延元年) 十二月十二日 酒井忠恭外三名幕府連署状
宗信、叙從四位上中將
宗信、米二千俵ヲ賜ハル

三四八 島津宗信明細書

(一) 覚書

(二) 寛延二年 一月十二日 岩下方峯口上覚

三四九 (寛延元年) 十二月十二日 堀田正亮書状

三五〇 (寛延元年) 十二月十二日 島津宗信請状

三五一 寛延元年 十二月十三日 島津宗信叙從四位上口宣案

三五二 寛延元年 十二月十三日 島津宗信叙從四位上位記

三五三 寛延元年 十二月十三日 島津宗信左近衛權中將転任口宣案

三五四 寛延元年 十二月十三日 島津宗信左近衛權中將転任宣旨

三五五 島津宗信叙任上卿職事交名

三五六 (寛延元年) 十二月十四日 酒井忠恭外三名幕府連署状

三五七 (記事) 宗信疏使具志川ヲ伴ヒ登營ス
宗信御鷹ノ鶴拝領ス

三五八 (寛延元年) 十二月十七日 酒井忠恭外三名幕府連署状

三五九 (記事) 宗信疏使ヲ伴ヒ登營ス

三六〇 島津宗信・疏使具志川登城次第

三六一 疏使献上・拝領物目錄

三六二 (寛延元年) 十二月廿一日 伊勢貞起・島津久郷在府連署書状
家老

三六三 (記事) 継豊病ニヨリ遅參ヲ乞フ

三六四 (寛延元年) 十二月廿三日 島津宗信願書

三六五 寛延元年 十二月廿五日 島津久甫外二名家老連署知行目錄

三六六 (寛延元年) 十二月廿七日 徳川家重御内書

三六七 (寛延元年) 十二月廿七日 秋元涼朝書状

三六八 (記事) 宗信、將軍父子ニ馬ヲ献ス

三六九 (寛延元年) 十二月廿七日 堀田正亮書状

三七〇 (寛延元年) 十二月廿七日 秋元涼朝書状

三七一 (寛延元年) 十二月廿七日 酒井忠恭外三名幕府連署状
家老

三七二 (記事) 宗信叙任ヲ謝シ諸品ヲ献上ス

三三七 (記事) 宗信從四位上左近衛中將叙任ス

三七四 (寛延元年) 十二月廿七日 徳川家重御内書

三七五 (寛延元年) 十二月廿七日 秋元涼朝書狀

三七六 (寛延元年) 十二月廿七日 島津宗信書狀

三七七 (寛延元年) 十二月廿八日 島津宗信書狀

三七八 (寛延二年) 一月 二日 伊勢貞起外二名^老家連署書狀

三七九 (寛延二年) 一月 七日 松平武元書狀

三八〇 (寛延二年) 一月 七日 秋元涼朝書狀

三八一 (寛延二年) 一月 七日 松平武元書狀

三八二 (寛延二年) 一月 七日 秋元涼朝書狀

三八三 (寛延二年) 一月 十一日 島津宗信吉書

三八四 (寛延二年) 一月 十五日 松平武元書狀

三八五 (寛延二年) 一月 十五日 秋元涼朝書狀

三八六 (寛延二年) 一月 十五日 西尾忠尚書狀

三八七 (寛延二年) 一月 十六日 島津宗信願書

三八八 (寛延二年) 一月 島津宗信願書

三八九 (寛延二年) 一月 十八日 島津宗信願書

三九〇 (寛延二年) 一月 廿二日 島津宗信願書

三九一 (記事) 繼豊帰国シ礼使ヲ派ス

三九二 (寛延二年) 二月 四日 徳川宗睦書狀

三九三 (寛延二年) 小枝外四名連署消息

三九四 (寛延二年) 清崎・高瀬連署消息

三九五 (寛延二年) 二月 十三日 島津宗信書狀

三九六 (寛延二年) 二月 廿一日 久世広氏・小笠原持広連署願書

三九七 (記事) 繼豊帰国シ温湯治養ヲ乞フテ許

三九八 (記事) サル 琉使薩府ヲ経テ帰ル

三九九 (記事) 宗信妹菊、黒田重政トノ婚姻許

四〇〇 (寛延二年) 二月 廿七日 島津宗信何書

四〇一 (寛延二年) 二月 島津宗信口上書

四〇二 (寛延二年) 三月 二日 島津宗信願書

四〇三 (寛延二年) 三月 留守家老献上物目錄

四〇四 (寛延二年) 三月 留守家老献上物目錄

四〇五 (寛延二年) 三月 五日 堀田正亮外二名^老中連署狀

四〇六 (寛延二年) 三月 六日 松平定喬口上書

四〇七 (寛延二年) 三月 六日 松平定喬口上書

四〇八 (記事) 宗信、徳川宗勝女トノ婚姻許サ

四〇九 (寛延二年) 三月 六日 島津宗信何書

四一〇 (寛延二年) 三月 島津宗信願書添書

四一一 (寛延二年) 三月 島津宗信願書添書

四一二 (寛延二年) 三月 島津宗信願書添書

四一三 (寛延二年) 三月 島津宗信願書

四一四 (寛延二年) 三月 十一日 堀田正亮外二名^老中連署狀

四一五 (寛延二年) 三月 十四日 堀田正亮・本多正珍^老中連署狀

四一六 登城令書

四一七 (寛延二年) 三月 十五日 堀田正亮外二名^老中連署狀

四一八 (記事) 宗信帰国ノ告ヲ賜ハル

四一九 (記事) 繼豊、菊姫ト黒田重政ノ許婚ヲ

謝ス

四二〇〔寛延二年〕

三月十八日

堀田正亮書状

四四四〔寛延二年〕

五月二日

さえた外五名連署消息

四二一〔寛延二年〕

三月十八日

秋元涼朝書状

四四五〔寛延二年〕

五月二日

徳川家重御内書

四二二〔寛延二年〕

三月十八日

島津宗信願書

四四六〔寛延二年〕

五月二日

秋元涼朝書状

四二三〔寛延二年〕

三月廿二日

島津宗信口上書

四四七〔寛延二年〕

五月二日

さえた外五名連署消息

四二四

(記事)

宗信婦函ス

四四八〔寛延二年〕

五月二日

清崎・高瀬連署消息

四二五〔寛延二年〕

三月廿六日

秋元涼朝書状

四四九〔寛延二年〕

五月二日

徳川家重御内書

四二六

(記事)

四配邸磯下屋敷修復成ル

四五〇〔寛延二年〕

五月二日

秋元涼朝書状

四二七〔寛延二年〕

三月廿九日

榊山久初書状

四五一〔寛延二年〕

五月廿二日

本多正珍書状

四二八〔寛延二年〕

四月十八日

伊勢貞起返書

四五二〔寛延二年〕

五月廿二日

秋元涼朝書状

四二九〔寛延二年〕

四月二日

島津継豊書状

四五三〔寛延二年〕

五月廿二日

西尾忠尚書状

四三〇〔寛延二年〕

四月四日

島津宗信書状

四五四〔寛延二年〕

六月三日

西尾忠尚書状

四三一〔寛延二年〕

四月十三日

秋元涼朝書状

四五五〔寛延二年〕

六月四日

堀田正亮外二名幕府連署状

四三二〔寛延二年〕

四月十五日

榊山久初書状

四五六〔寛延二年〕

六月四日

秋元涼朝書状

四三三〔寛延二年〕

四月十八日

伊勢貞起返書

四五七〔寛延二年〕

六月十一日

堀田正亮書状

四三四〔寛延二年〕

四月廿九日

鎌田政昌返書

四五八〔寛延二年〕

六月十一日

秋元涼朝書状

四三五〔寛延二年〕

四月十九日

松平武元書状

四五九〔寛延二年〕

六月十一日

西尾忠尚書状

四三六〔寛延二年〕

四月十九日

秋元涼朝書状

四六〇〔寛延二年〕

六月十一日

堀田正亮書状

四三七〔寛延二年〕

四月十九日

西尾忠尚書状

四六一〔寛延二年〕

六月十一日

秋元涼朝書状

四三八〔寛延二年〕

四月廿二日

桃園天皇女房奉書

四六二〔寛延二年〕

六月十一日

西尾忠尚書状

四三九〔寛延二年〕

四月

幕府指図書

四六三〔寛延二年〕

六月十一日

清崎・高瀬連署消息

四四〇〔寛延二年〕

四月廿七日

松平武元書状

四六四〔寛延二年〕

六月十二日

さえた外五名連署消息

四四一〔寛延二年〕

四月廿七日

西尾忠尚書状

四六五〔寛延二年〕

六月十二日

堀田正亮書状

四四二〔寛延二年〕

四月廿七日

秋元涼朝書状

四六六〔寛延二年〕

六月十三日

徳川宗勝書状

四四三〔寛延二年〕

四月廿七日

秋元涼朝書状

四六七〔寛延二年〕

六月十五日

松平武元書状

四四四〔寛延二年〕

四月廿七日

さえた外五名連署消息

四六八〔寛延二年〕

六月十六日

徳川宗勝書状

- 四六九 (記事) 宗信、繼豊ノ在国療養ヲ乞フ
- 四七〇(寛延二年) 六月廿一日 島津宗信願書
- 四七一(寛延二年) 六月廿六日 堀田正亮書状
- 四七二(寛延二年) 六月廿八日 堀田正亮書状
- 四七三(寛延二年) 六月廿八日 秋元涼朝書状
- 四七四(寛延二年) 六月廿八日 西尾忠尚書状
- 四七五(寛延二年) 六月廿八日 徳川宗勝書状
- 四七六(寛延二年) 六月廿六日 堀田正亮書状
- 四七七(寛延二年) 六月廿八日 島津宗信届書
- 四七八(寛延二年) 七月 朔日 堀田正亮書状
- 四七九(寛延二年) 七月 二日 徳川宗勝書状
- 四八〇(寛延二年) 七月 朔日 堀田正亮書状
- 四八一(寛延二年) 七月 三日 堀田正亮外二名幕府連署状
- 四八二(寛延二年) 七月 三日 秋元涼朝書状
- 四八三(寛延二年) 七月 三日 西尾忠尚書状
- 四八四(寛延二年) 七月 三日 島津宗信願書
- 四八五(寛延二年) 七月 三日 島津宗信願書
- 四八六 (記事) 官医下向ノ途次宗信ノ訃音達ス
- 四八七(寛延二年) 七月 六日 堀田正亮・本多正珍幕府連署状
- 四八八(寛延二年) 七月 六日 秋元涼朝書状
- 四八九(寛延二年) 七月 六日 堀田正亮・本多正珍幕府連署状
- 四九〇(寛延二年) 七月 六日 秋元涼朝書状
- 四九一(寛延二年) 七月 七日 島津久柄外四名在国連署届書
- 四九二(寛延二年) 七月 八日 島津宗信容鉢書
- 四九三(寛延二年) 七月 八日 島津宗信願書
- 四九四(寛延二年) 七月 八日 島津宗信願書
- 四九五(寛延二年) 七月 (記事) 宗信逝去、福昌寺ニ葬ル
- 四九六 七月十五日 鎌田政昌書状
- 四九七(寛延二年) 八月 九日 島津久富・島津久郷連署返書
- 四九八(寛延二年) 七月十五日 伊勢貞起申渡書
- 四九九(寛延二年) 七月廿七日 堀田正亮外二名幕府連署状
- 五〇〇(寛延二年) 七月廿七日 秋元涼朝書状
- 五〇一(寛延二年) 七月廿七日 西尾忠尚書状
- 五〇二(寛延二年) (記事) 將軍、宗信ノ病ヲ問ハシム
- 五〇三 七月廿七日 松平武元宿次証文
- 五〇四(寛延二年) 七月廿八日 松平武元書状
- 五〇五(寛延二年) 七月廿九日 岩下方峯届書
- 五〇六(寛延二年) 七月廿九日 徳川宗勝書状
- 五〇七(寛延二年) 七月 七月 島津繼豊申渡書
- 五〇八(寛延二年) 七月 七月 島津繼豊申渡書
- 五〇九(寛延二年) 七月 七月 樺山久初外三名老家連署申渡書
- 五一〇(寛延二年) (記事) 重年、兄宗信ノ死ニヨリ忌服ヲ受ク
- 五一一 八月 三日 島津久柄外二名老家連署書状
- 五一二(寛延二年) 八月廿五日 樺山久初外三名老家連署返書
- 五一三(寛延二年) 七月 八月 島津宗信願書
- 五一四(寛延二年) 八月 八月 島津宗信親類名書
- 五一五(寛延二年) 七月 八月 島津宗信容鉢書
- 五一六(寛延二年) 八月 八月 島津宗信願書
- 五一七(寛延二年) 八月 二日 堀田正亮外二名幕府連署奉書

五一八	(寛延二年)	八月 二日	秋元涼朝書狀	五四三	(寛延二年)	八月 七日	島津久柄届書
五一九	(寛延二年)	八月 二日	西尾忠尚書狀	五四四	(寛延二年)	八月 七日	島津久柄届書
五二〇	(記事)		徳川家重、宗信ノ病ヲ問ハシム	五四五	(記事)		宗信ノ中陰ニ一族祭文ヲ献ス
五二一	(寛延二年)	八月 二日	本多正珍宿次証文	五四六			島津貴備祭文
五二二	(寛延二年)	八月 四日	忌服届書	五四七			島津忠紀祭文
五二三	(寛延二年)	八月 四日	忌服届書	五四八			島津三次郎某祭文
五二四	(寛延三年)		家老座覚書	五四九			島津久門祭文
五二五	(寛延二年)	八月 五日	島津久柄外二名家 ^{幕府} 連署書狀	五五〇			島津久定祭文
五二六	(寛延二年)	九月 三日	樺山久初外三名家 ^{幕府} 連署返書	五五一			島津久尚祭文
五二七	(寛延二年)	八月 五日	幕府指図書	五五二			島津久亮祭文
五二八	(寛延二年)	八月 五日	島津忠雅請書	五五三			島津久起祭文
五二九	(寛延二年)	八月 七日	幕府指図書	五五四			島津久峯祭文
五三〇	(寛延二年)	八月 五日	島津久柄外二名家 ^{幕府} 連署書狀	五五五			島津久茂祭文
五三一	(寛延二年)	九月 七日	樺山久初外三名家 ^{幕府} 連署返書	五五六			種子島久馮祭文
五三二	(寛延二年)	八月 六日	島津久郷書狀	五五七			島津久柄祭文
五三三	(寛延二年)	九月 七日	樺山久初外三名家 ^{幕府} 連署返書	五五八	(記事)		忠雅父子時銀・祭文ヲ献ス
五三四	(寛延二年)	八月 六日	忌服届書	五五九	(記事)		島津忠雅祭文
五三五	(寛延二年)	八月 六日	堀田正亮外二名家 ^{幕府} 連署奉書	五六〇			中山王尚敬、經典時銀等ヲ献ス
五三六	(寛延二年)	八月 六日	秋元涼朝書狀	五六一			中山王尚敬祭文
五三七	(寛延二年)	八月 六日	西尾忠尚書狀	五六二	(寛延二年)	九月 六日	堀田正亮書狀
五三八	(寛延二年)	八月 八日	島津久富・島津久郷 ^{幕府} 連署書狀	五六三	(寛延二年)	九月 六日	秋元涼朝書狀
五三九	(寛延二年)	九月 三日	樺山久初外三名家 ^{幕府} 連署返書	五六四	(寛延二年)	九月 六日	西尾忠尚書狀
五四〇	(寛延二年)	八月 廿三日	島津繼豊書狀	五六五	(寛延二年)	九月 六日	徳川宗睦書狀
五四一	(記事)		將軍家重、宗信ノ計ヲ弔ハシム	五六六	(寛延二年)	九月 七日	徳川家重御内書
五四二	(寛延二年)	八月	島津宗信親類名書	五六七	(寛延二年)	九月 七日	秋元涼朝書狀

五六八 (寛延二年) 九月十二日 徳川宗勝書状
 五六九 (寛延二年) 九月廿一日 堀田正亮書状
 五七〇 (寛延二年) 九月廿一日 秋元涼朝書状
 五七一 (寛延二年) 九月廿一日 西尾忠尚書状
 五七二 (寛延二年) 九月廿二日 堀田正亮書状
 五七三 (寛延二年) 九月廿二日 秋元涼朝書状
 五七四 (寛延二年) 九月廿二日 西尾忠尚書状
 五七五 (寛延二年) 九月廿七日 徳川宗勝書状
 五七六 (寛延二年) 九月廿八日 堀田正亮書状
 五七七 (寛延二年) 九月廿八日 秋元涼朝書状
 五七八 (寛延二年) 九月廿八日 西尾忠尚書状
 五七九 (寛延二年) 九月 島津重年忌服届書
 五八〇 (寛延二年) 十月 三日 島津久富・島津久郷老家連署書状
 五八一 (寛延二年) 十一月 四日 島津久柄外五名家連署返書
 五八二 (寛延二年) 十月十三日 伊勢貞起書状
 五八三 (寛延二年) 九月廿九日 小笠原持広口上書
 五八四 (寛延二年) 十月 三日 島津久富・島津久郷老家連署書状
 五八五 (寛延二年) 十一月 四日 島津久柄外四名老家連署返書
 五八六 (寛延二年) 十月 三日 徳川宗勝書状
 五八七 (寛延二年) 十月 五日 松平武元書状
 五八八 (寛延二年) 十月 五日 秋元涼朝書状
 五八九 (寛延二年) 十月 五日 西尾忠尚書状
 五九〇 (寛延二年) 十月 七日 徳川宗勝書状
 五九一 (寛延二年) 十月 九日 松平武元書状
 五九二 (寛延二年) 十月 九日 秋元涼朝書状

五九三 (寛延二年) 十月 九日 西尾忠尚書状
 五九四 (寛延二年) 十月 九日 松平武元書状
 五九五 (寛延二年) 十月 九日 秋元涼朝書状
 五九六 (寛延二年) 十月 九日 西尾忠尚書状
 五九七 (寛延二年) 十月 九日 さえた外五名連署消息
 五九八 (寛延二年) 十一月 五日 本多正珍書状
 五九九 (寛延二年) 十一月 五日 秋元涼朝書状
 六〇〇 (寛延二年) 十一月 五日 西尾忠尚書状
 六〇一 (寛延二年) 十一月 吉日 島津重年実名勘文
 六〇二 (寛延二年) 三月 伊勢貞起老家添状
 六〇三 (記事) 島津重年花押書立
 六〇四 (寛延二年) 十一月 九日 堀田正亮外三名幕府連署状
 六〇五 (記事) 重年、兄宗信ノ遺領ヲ賜ハル
 六〇六 (寛延二年) 十一月 十日 島津重年申渡書
 六〇七 (記事) 善次郎(重年)加治木島津家ヲ繼ク
 寶原政元
 六〇八 (寛延二年) 十一月十三日 島津重年書状
 六〇九 (寛延二年) 十一月十五日 徳川宗勝書状
 六一〇 (寛延二年) 十一月十四日 伊勢貞起在府書状
 六一一 (寛延二年) 十二月十二日 樺山久初在國返書
 六一二 (寛延二年) 十一月十四日 堀田正亮外三名幕府連署状
 六一三 (記事) 重年登宮シテ襲封ヲ礼謝ス
 六一四 (寛延二年) 登城令書
 六一五 (寛延二年) 十一月十六日 島津重年袖判申渡書
 六一六 (寛延二年) 十一月十六日 島津久富外二名老家連署申渡書
 六一七 (寛延二年) 十一月廿日 徳川宗勝書状

六一八 (寛延二年) 十一月廿二日 島津重年書狀

六一九 (記事) 將軍、重年ニ首服ヲ加ヘ偏諱ヲ授ク

六二〇 寛延二年 十一月吉祥日 島津重年実名勘文

六二一 (寛延二年) 十一月廿七日 堀田正亮外三名^{老中}連署狀

六二二 寛延二年 十一月廿八日 徳川家重一字狀

六二三 寛延二年 十一月廿八日 島津重年任左近衛權少將口宣案

六二四 寛延二年 十一月廿八日 島津重年叙從四位下口宣案

六二五 寛延二年 十一月廿八日 島津重年任左近衛權少將宣旨

六二六 寛延二年 十一月廿八日 島津重年叙從四位下位記

六二七 島津重年叙任上卿・職事交名

六二八 寛延二年 十一月廿八日 島津重年任侍從口宣案

六二九 寛延二年 十一月廿八日 島津重年任侍從宣旨

六三〇 寛延二年 十一月廿八日 島津重年叙從五位下位記

六三一 島津重年叙任上卿・職事交名

六三二 寛延二年 十一月廿八日 島津重年叙從五位下口宣案

六三三 寛延二年 十一月廿八日 島津重年任薩摩守口宣案

六三四 寛延二年 十一月廿八日 島津重年任薩摩守宣旨

六三五 島津重年叙任上卿・職事交名

六三六 寛延二年 十一月廿八日 飛鳥井雅香紫冠組冠懸免許狀

六三七 (寛延二年) 十一月廿八日 伊勢貞起書狀

六三八 寛延二年 十一月廿八日 島津重年明細書

六三九 寛延二年 十一月廿八日 堀田正亮外三名^{老中}連署奉書

六四〇 (寛延二年) 十二月二日 伊勢貞起・島津久郷^{老家}連署書狀

六四一 (記事) 重年、島津久尚^{老家}女村トノ婚姻ヲ

六四二 (寛延二年) 十二月二日 許サル

六四三 (寛延二年) 十二月二日 島津重年伺書

六四四 (記事) 重年、初メテ御鷹ノ鶴拝領ス

六四五 (寛延二年) 十二月六日 伊勢貞起・島津久郷連署書狀

六四六 (記事) 重年、重器・相伝文書等ヲ受ク

六四七 寛延二年 十二月十一日 島津繼豊諺狀

六四八 寛延二年 十二月十一日 島津家重物目錄

六四九 (寛延二年) 十二月十二日 酒井忠寄書狀

六五〇 (寛延二年) 十二月十五日 島津忠雅^{佐土原城主}願書

六五一 (寛延二年) 十二月十九日 酒井忠寄書狀

六五二 (寛延二年) 十二月十九日 秋元涼朝書狀

六五三 (寛延二年) 十二月十九日 西尾忠尚書狀

六五四 (寛延二年) 十二月十九日 酒井忠寄書狀

六五五 (寛延二年) 十二月十九日 秋元涼朝書狀

六五六 寛延二年 十二月廿一日 島津久柄外四名^{老家}連署連書

六五七 (記事) 重年、中山王尚敬ノ献物ヲ幕府ニ達ス

六五八 (寛延二年) 十二月廿一日 幕府老中書狀

六五九 (寛延二年) 十二月廿一日 幕府老中書狀

六六〇 (寛延二年) 十二月廿一日 幕府老中書狀

六六一 寛延二年 十二月廿一日 伊勢貞起^{老家}申渡書

六六二 (寛延二年) 十二月廿三日 酒井忠寄書狀

六六三 (記事) 佐土原島津家源姓ヲ許サル

六六四 (寛延二年) 十二月廿四日 伊勢貞起書狀

六六五〔寛延三年〕	一月十四日	山田有隆書狀	六八九〔寛延三年〕	一月廿三日	徳川宗睦書狀
六六六〔寛延二年〕	十二月廿五日	島津重年書狀	六九〇〔寛延三年〕	一月廿六日	西尾忠尚書狀
六六七〔寛延二年〕	十二月廿七日	徳川家重御内書	六九一〔寛延二年〕	一月廿六日	西尾忠尚書狀
六六八〔寛延二年〕	十二月廿七日	秋元涼朝書狀	六九二〔寛延三年〕		清崎・高瀬連署消息
六六九〔寛延二年〕	十二月廿七日	徳川家重御内書	六九三〔寛延三年〕		さえた外五名連署消息
六七〇〔寛延二年〕	十二月廿七日	秋元涼朝書狀	六九四〔寛延三年〕		さえた外五名連署消息
六七一		重年、將軍父子ニ新年ノ慶賀ヲ ナス	六九五〔寛延三年〕		清崎・高瀬連署消息
六七二〔寛延三年〕	一月 二日	島津重年書狀	六九六〔寛延三年〕		さえた外五名連署消息
六七三〔寛延三年〕	一月 七日	堀田正亮書狀	六九七〔寛延三年〕	二月 四日	徳川宗勝書狀
六七四〔寛延三年〕	一月 七日	秋元涼朝書狀	六九八〔寛延三年〕	二月 六日	松平武元書狀
六七五〔寛延三年〕	一月 七日	堀田正亮書狀	六九九〔寛延三年〕	二月 六日	秋元涼朝書狀
六七六〔寛延三年〕	一月 七日	秋元涼朝書狀	七〇〇〔寛延三年〕	二月 六日	西尾忠尚書狀
六七七〔寛延三年〕	一月 十日	徳川宗勝書狀	七〇一〔寛延三年〕	二月 七日	松平武元書狀
六七八〔寛延三年〕	一月十一日	堀田正亮外二名 <small>齋府</small> 連署狀	七〇二〔寛延三年〕	二月 七日	秋元涼朝書狀
六七九〔寛延三年〕	一月十一日	秋元涼朝書狀	七〇三〔寛延三年〕	二月 七日	西尾忠尚書狀
六八〇〔寛延三年〕	一月十一日	西尾忠尚書狀	七〇四〔寛延三年〕	二月 九日	松平武元書狀
六八一		重年、吉書始ヲ行フ	七〇五〔寛延三年〕	二月 九日	秋元涼朝書狀
六八二〔寛延三年〕	一月十一日	島津重年吉書	七〇六〔寛延三年〕	二月 九日	西尾忠尚書狀
六八三〔寛延三年〕	一月	島津久柄外三名 <small>老</small> 連署申渡書	七〇七〔寛延三年〕	二月十五日	徳川宗春書狀
六八四		重年、襲封ノ礼物ヲ先靈ニ獻ス	七〇八〔寛延三年〕	二月十八日	松平武元書狀
六八五〔寛延三年〕	一月十九日	堀田正亮書狀	七〇九〔寛延三年〕	二月十八日	秋元涼朝書狀
六八六〔寛延三年〕	一月十九日	秋元涼朝書狀	七一〇〔寛延三年〕	二月十八日	西尾忠尚書狀
六八七〔寛延三年〕	一月廿二日	堀田正亮書狀	七一一〔寛延三年〕	二月廿二日	松平武元書狀
六八八〔寛延三年〕	一月廿二日	秋元涼朝書狀	七一二〔寛延三年〕	二月廿二日	秋元涼朝書狀
			七一三〔寛延三年〕	二月廿二日	西尾忠尚書狀

七四 (記事) 重年、島津久尚女ヲ夫人トナス
 七五 (寛延三年) 二月廿九日 松平武元書狀
 七六 (寛延三年) 二月廿九日 秋元涼朝書狀
 七七 (寛延三年) 二月廿九日 西尾忠尚書狀
 七八 (寛延三年) 三月 二日 本多正珍書狀
 七九 (寛延三年) 三月 二日 秋元涼朝書狀
 八〇 (寛延三年) 三月 二日 西尾忠尚書狀
 八一 (記事) 町田・伊集院両家ノ実名定例ヲ定ム

七二 寛延三年 三月十一日 島津重年一字狀
 七三 (寛延三年) 三月十一日 樺山久初家副狀
 七四 寛延三年 三月十一日 島津重年一字狀
 七五 (寛延三年) 三月十一日 樺山久初副狀
 七六 (寛延三年) 三月十三日 本多正珍書狀
 七七 (寛延三年) 三月十六日 本多正珍書狀
 七八 (寛延三年) 三月十六日 秋元涼朝書狀
 七九 (寛延三年) 三月十六日 西尾忠尚書狀
 八〇 (記事) 桜町上皇覺シ、繼豊香鏡ヲ獻ス
 八一 寛延三年 三月廿二日 桃園天皇女房奉書
 八二 (記事) 桜町上皇覺シ、重年香鏡ヲ獻ス
 八三 (寛延三年) 三月廿六日 秋元涼朝書狀
 八四 (寛延三年) 四月 四日 酒井忠寄書狀
 八五 (寛延三年) さえた外五名連署消息
 八六 (寛延三年) さえた外五名連署消息
 八七 (寛延三年) 清崎・高瀬連署消息

七三八 (寛延三年) 四月 四日 酒井忠寄書狀
 七三九 (寛延三年) 四月廿五日 酒井忠寄書狀
 七四〇 (寛延三年) 四月廿五日 秋元涼朝書狀
 七四一 (寛延三年) 五月 島津久柄申渡書
 七四二 (寛延三年) 五月 四日 徳川家重御内書
 七四三 (寛延三年) 五月 四日 秋元涼朝書狀
 七四四 (寛延三年) 五月 四日 徳川家重御内書
 七四五 (寛延三年) 五月 四日 秋元涼朝書狀
 七四六 (寛延三年) 五月十一日 秋元涼朝書狀
 七四七 (記事) 繼豊療養ノタメ參府遅延ヲ願フ
 七四八 (寛延三年) 五月十三日 伊勢貞起・義岡久中家連署書狀
 七四九 (寛延三年) 五月 六日 島津重年願書
 七五〇 (寛延三年) 五月 三日 岩下方峯口上書
 七五一 (寛延三年) 五月 六日 岩下方峯口上書
 七五二 (寛延三年) 五月十二日 佐久間盛邦口上書
 七五三 (寛延三年) 五月十二日 岩下方峯口上書
 七五四 (寛延三年) 五月十三日 中山王尚敬書狀
 七五五 (寛延三年) 五月十三日 中山王尚敬書狀
 七五六 (寛延三年) 五月廿日 堀田正亮書狀
 七五七 (寛延三年) 六月 七日 島津繼豊書狀
 七五八 (寛延三年) 六月十一日 島津重年伺書
 七五九 (寛延三年) 六月十八日 島津重年届書
 七六〇 (寛延三年) 六月十三日 松平武元書狀
 七六一 (寛延三年) 六月廿二日 松平武元書狀
 七六二 (寛延三年) 六月廿二日 秋元涼朝書狀

七六三 (寛延三年)	六月廿二日	西尾忠尚書狀	七八二 (寛延三年)	十一月 朔日	吉田用右衛門 <small>記録方 祿役</small> 副狀
七六四 (寛延三年)	六月廿二日	松平武元書狀	七八三 (寛延三年)	一月廿九日	島津久郷書狀
七六五 (寛延三年)	六月廿二日	秋元涼朝書狀	七八四 (寛延三年)	二月十八日	島津久柄外四名 <small>老</small> 家連署返書
七六六 (寛延三年)	六月廿二日	西尾忠尚書狀	七八五 (寛延三年)	二月十八日	樺山久初・鎌田政昌 <small>老</small> 家連署書狀
七六七 (寛延三年)	六月廿四日	堀田正亮書狀	七八六 (寛延三年)	三月廿九日	伊勢貞起・島津久郷連署返書
七六八 (寛延三年)	六月廿七日	松平武元書狀	七八七 (寛延三年)	四月 三日	鎌田政昌書狀
七六九 (寛延三年)	六月廿七日	秋元涼朝書狀	七八八 (寛延三年)	五月 二日	河野通興書狀
七七〇 (寛延三年)	六月廿七日	西尾忠尚書狀	七八九 (寛延三年)	三月十一日	荻原消息
七七一 (寛延三年)	六月十一日	慈徳院 <small>宗</small> 追薦供職衆請定	七九〇 (寛延四年)	七月廿四日	菱刈実詮書狀
七七二 (寛延三年)	六月十三日	島津重年追善祭文	七九一 (寛延三年)	七月 三日	本多正珍書狀
七七三 (寛延三年)	六月十三日	蓮金院秀惠位牌証帖	七九二 (寛延三年)	七月 三日	秋元涼朝書狀
七七四 (寛延三年)	六月 日	慈徳院追善三時勤行僧衆請定	七九三 (寛延三年)	七月 三日	西尾忠尚書狀
七七五 (寛延三年)	六月廿三日	鎌田政昌書狀	七九四 (寛延三年)	七月 五日	本多正珍書狀
七七六		宗信遺髪ヲ高野山蓮金院ニ納ム	七九五 (寛延三年)	七月 六日	堀田正亮外二名 <small>老</small> 幕府連署狀
七七七		島津宗信靈塔銘	七九六 (寛延三年)	七月 六日	秋元涼朝書狀
七七八	(記事)	奥院ニ宗信ノ納髮法会終リテ諸有司帰国ス	七九七 (寛延三年)	七月 六日	本多正珍書狀
七七九		中山王ノ礼使薩府ニ到ル	七九八 (寛延三年)	七月 六日	秋元涼朝書狀
七八〇	(記事)	献上目錄案文・書翰案文・文箱調様ノ事	七九九 (寛延三年)	七月 七日	本多正珍書狀
(の二)		献上物目錄	八〇〇 (寛延三年)	七月 七日	秋元涼朝書狀
(の三)	十二月	書翰用紙并文箱仕様書	八〇一 (寛延三年)	七月 七日	西尾忠尚書狀
(の四)		中山王書翰案文	八〇二	(記事)	重年夫人東都ニ赴ク
七八一 寛延二年	十月二十日	島津宗信影像銘草案	八〇三	(記事)	重年御鷹ノ雲雀拝領ス
			八〇四	(記事)	重年夫人芝邸ニ到ル
			八〇五 (寛延三年)	八月十九日	酒井忠寄書狀
			八〇六 (寛延三年)	八月十九日	秋元涼朝書狀

八〇七 (寛延三年) 八月十九日 西尾忠尚書狀
 八〇八 (寛延三年) 九月 四日 堀田正亮書狀
 八〇九 (寛延三年) 九月 四日 秋元涼朝書狀
 八一〇 (寛延三年) 九月 四日 西尾忠尚書狀
 八一 (寛延三年) 九月 七日 徳川家重御内書
 八二 (寛延三年) 九月 七日 秋元涼朝書狀
 八三 (寛延三年) 九月 七日 徳川家重御内書
 八四 (寛延三年) 九月 七日 秋元涼朝書狀
 八五 (寛延三年) 九月 八日 島津重年書狀
 八六 (寛延三年) 九月十一日 島津重年書狀
 八七 (寛延三年) 九月十一日 島津重年書狀
 八八 (寛延三年) 九月十一日 島津重年書狀
 八九 (寛延三年) 九月十一日 島津重年書狀
 八二〇 (記事) 重年、列侯諸賢ヲ迎へ慶宴ヲ催ス
 八二一 (記事) 重年襲封ヲ賀シ諸社ニ献品ス
 八二二 (寛延三年) 十月 廿日 本多正珍書狀
 八二三 (寛延三年) 十月 廿日 本多正珍書狀
 八二四 (寛延三年) 十一月 朔日 松平武元書狀
 八二五 (寛延三年) 十一月 朔日 秋元涼朝書狀
 八二六 (寛延三年) 十一月 朔日 西尾忠尚書狀
 八二七 (寛延三年) 十一月 六日 本多正珍書狀
 八二八 (寛延三年) 十一月 六日 秋元涼朝書狀
 八二九 (寛延三年) 十一月 六日 西尾忠尚書狀
 八三〇 (記事) 重年、御鷹ノ鶴拝領ス

八三一 (寛延三年) 十二月 六日 松平武元書狀
 八三二 (寛延三年) 十二月 六日 秋元涼朝書狀
 八三三 (寛延三年) 十二月 六日 西尾忠尚書狀
 八三四 (寛延三年) 十二月十二日 松平武元書狀
 八三五 (寛延三年) 十二月十六日 松平武元書狀
 八三六 (寛延三年) 十二月十六日 秋元涼朝書狀
 八三七 (寛延三年) 十二月十六日 西尾忠尚書狀
 八三八 (寛延三年) 十二月十八日 松平武元書狀
 八三九 (寛延三年) 十二月十八日 秋元涼朝書狀
 八四〇 (寛延三年) 十二月十八日 西尾忠尚書狀
 八四一 (寛延三年) 十二月十八日 松平武元書狀
 八四二 (寛延三年) 十二月十八日 松平武元書狀
 八四三 (寛延三年) 十二月十八日 秋元涼朝書狀
 八四四 (記事) 重年、継豊五十ノ賀宴ヲ設ク
 八四五 (寛延三年) 十二月廿六日 島津久柄書狀
 八四六 (寛延四年) 一月 廿九日 義岡久中外二名家^老連署返書
 八四七 (記事) 重年夫人歳末ノ賀品ヲ拝領ス
 八四八 (寛延三年) 十二月廿七日 徳川家重御内書
 八四九 (寛延三年) 十二月廿七日 秋元涼朝書狀
 八五〇 (寛延三年) 十二月廿七日 徳川家重御内書
 八五一 (寛延三年) 十二月廿七日 秋元涼朝書狀
 八五二 (寛延四年) 一月 七日 堀田正亮書狀
 八五三 一月 七日 秋元涼朝書狀
 八五四 (寛延四年) 一月 七日 堀田正亮書狀
 八五五 (寛延四年) 一月 七日 秋元涼朝書狀

- 八五六(寛延四年) 一月十一日 堀田正亮外三名幕府連署状
- 八五七(寛延四年) 一月十一日 秋元涼朝書状
- 八五八(寛延四年) 一月十一日 西尾忠尚書状
- 八五九 寛延四年 一月十一日 島津重年吉書
- 八六〇(寛延四年) 二月 六日 松平武元書状
- 八六一(寛延四年) 二月 六日 秋元涼朝書状
- 八六二(寛延四年) 二月 六日 西尾忠尚書状
- 八六三(寛延四年) 二月十三日 近衛内前書状
- 八六四(寛延四年) 二月廿日 松平武元書状
- 八六五(寛延四年) 二月廿三日 松平武元書状
- 八六六(寛延四年) 二月廿三日 秋元涼朝書状
- 八六七(寛延四年) 二月廿三日 西尾忠尚書状
- 八六八(寛延四年) 三月十六日 本多正珍書状
- 八六九(寛延四年) 三月十八日 本多正珍書状
- 八七〇(寛延四年) 三月十八日 秋元涼朝書状
- 八七一(寛延四年) 三月十八日 西尾忠尚書状
- 八七二(寛延四年) 三月十八日 島津繼豊明細書
- 八七三 寛延四年 四月 二日 島津重年明細書
- 八七四 (記事) 重年再レ繼豊ノ參府延期ヲ願フ
- 八七五 四月十一日 島津重年願書
- 八七六 (記事) 重年婦國ノ告ヲ賜ハル
- 八七七(寛延四年) 四月十四日 堀田正亮外三名幕府連署状
- 八七八 登城令書
- 八七九(寛延四年) 四月十九日 島津重年願書
- 八八〇 (記事) 重年婦國シ礼使ヲ派ス
- 八八一(寛延四年) 四月廿五日 秋元涼朝書状
- 八八二(寛延四年) 五月 四日 徳川家重御内書
- 八八三(寛延四年) 五月 四日 松平武元書状
- 八八四(寛延四年) 五月 四日 松平武元書状
- 八八五(寛延四年) 五月十八日 堀田正亮書状
- 八八六 寛延四年 五月十八日 座喜味盛秀起請文前書
- 八八七(寛延四年) 五月廿二日 堀田正亮書状
- 八八八(寛延四年) 五月廿二日 秋元涼朝書状
- 八八九(寛延四年) 五月廿二日 西尾忠尚書状
- 八九〇(寛延四年) 五月廿二日 徳川宗勝書状
- 八九一(寛延四年) 六月 朔日 堀田正亮書状
- 八九二(寛延四年) 六月 六日 島津久柄・島津久郷家連署書状
- 八九三(寛延四年) 閏六月十一日 義岡久中外三名家連署返書
- 八九四(寛延四年) 六月十二日 本多正珍書状
- 八九五(寛延四年) 六月十二日 秋元涼朝書状
- 八九六(寛延四年) 六月十二日 西尾忠尚書状
- 八九七(寛延四年) 六月十二日 本多正珍書状
- 八九八(寛延四年) 六月十二日 秋元涼朝書状
- 八九九(寛延四年) 六月十二日 西尾忠尚書状
- 九〇〇(寛延四年) 六月十八日 内藤政樹書状
- 九〇一(寛延四年) 六月廿三日 島津久柄外二名家連署返書
- 九〇二 (記事) 青宗襲封ス
- 九〇三(寛延四年) 六月廿一日 本多正珍書状
- 九〇四(寛延四年) 六月廿一日 徳川宗勝書状
- 九〇五(寛延四年) 六月廿五日 徳川宗睦書状

- 九〇六（寛延四年） 閏六月 四日 堀田正亮書狀
- 九〇七（寛延四年） 閏六月 四日 秋元涼朝書狀
- 九〇八（寛延四年） 閏六月 六日 堀田正亮書狀
- 九〇九（寛延四年） 閏六月 六日 秋元涼朝書狀
- 九一〇（寛延四年） 閏六月 四日 堀田正亮書狀
- 九一一（寛延四年） 閏六月 四日 秋元涼朝書狀
- 九一二（寛延四年） 閏六月 六日 堀田正亮書狀
- 九一三（寛延四年） 閏六月 六日 秋元涼朝書狀
- 九一四（寛延四年） 閏六月十五日 松浦信正・音沼定秀譽稱連署書狀
- 九一五（記事） 繼豊、有徳院法事ニ香奠ヲ献ス
- 九一六（寛延四年） 七月 九日 酒井忠寄書狀
- 九一七（寛延四年） 七月 九日 秋元涼朝書狀
- 九一八（寛延四年） 七月 十日 酒井忠寄書狀
- 九一九（記事） 重年、有徳院法事ニ香奠ヲ献ス
- 九二〇（寛延四年） 七月 九日 酒井忠寄書狀
- 九二一（寛延四年） 七月 九日 秋元涼朝書狀
- 九二二（寛延四年） さえた外四名連署消息
- 九二三（寛延四年） さえた外四名連署消息
- 九二四（寛延四年） 七月 十日 酒井忠寄書狀
- 九二五（記事） 繼豊、吉宗ノ遺物脇刀ヲ拝領ス
- 九二六（記事） 重年、吉宗ノ遺物脇刀ヲ拝領ス
- 九二七（寛延四年） 七月十一日 酒井忠寄書狀
- 九二八（寛延四年） 七月十一日 秋元涼朝書狀
- 九二九（寛延四年） 七月十一日 酒井忠寄書狀
- 九三〇（寛延四年） 七月十一日 秋元涼朝書狀
- 九三一（寛延四年） 七月十二日 堀田正亮外三名幕府連署狀
- 九三二（寛延四年） 七月十二日 秋元涼朝書狀
- 九三三（寛延四年） 七月十二日 酒井忠寄書狀
- 九三四（寛延四年） 七月十二日 酒井忠寄書狀
- 九三五（寛延四年） 七月十二日 堀田正亮外三名幕府連署狀
- 九三六（寛延四年） 七月十二日 秋元涼朝書狀
- 九三七（寛延四年） 七月十三日 島津重年願書
- 九三八（寛延四年） 七月十六日 平田正輔書狀
- 九三九（寛延四年） 八月廿一日 島津久柄外五名家幕府連署返書
- 九四〇（寛延四年） 七月十六日 平田正輔書狀
- 九四一（寛延四年） 九月 六日 島津久柄外五名家幕府連署返書
- 九四二（寛延四年） 七月 廿日 松平武元書狀
- 九四三（寛延四年） 七月 廿日 松平武元書狀
- 九四四（寛延四年） 七月廿八日 内藤正樹書狀
- 九四五（寛延四年） 八月 三日 島津久柄外四名幕府連署返書
- 九四六（寛延四年） 八月 四日 堀田正亮外三名幕府連署狀
- 九四七（寛延四年） 八月 四日 秋元涼朝書狀
- 九四八（寛延四年） 八月 五日 堀田正亮外三名幕府連署狀
- 九四九（寛延四年） 八月 五日 秋元涼朝書狀
- 九五〇（寛延四年） 八月 九日 徳川宗睦書狀
- 九五一（寛延四年） 八月廿一日 島津久柄外五名家連署書狀
- 九五二（寛延四年） 十月 四日 平田正輔・市米政方連署返書
- 九五三（記事） 繼豊、吉宗ノ墓前ニ銅燈籠ヲ献ス
- 九五四 寛延四年 六月二十日 島津繼豊献燈銘書

九五五 (寛延四年)	八月	幕府指図書	九七九 (寛延四年)	九月廿七日	本多正珍書状
九五六 (寛延四年)	八月廿八日	公平武元書状	九八〇 (寛延四年)	九月廿八日	島津久柄外四名 <small>家</small> 連書証状
九五七 (寛延四年)	八月廿八日	秋元涼朝書状	九八一 (寛延四年)	九月	伊勢貞起申渡書
九五八 (寛延四年)	八月廿五日	松平武元書状	九八二 (寛延四年)	九月廿八日	島津久柄外四名 <small>家</small> 連署証状
九五九 (寛延四年)	八月廿八日	松平武元書状	九八三 (寛延四年)	十月 四日	平田正輔・市來政方連署書状
九六〇 (寛延四年)	八月廿八日	秋元涼朝書状	九八四 (寛延四年)	十一月十四日	島津久柄外五名連署返書
九六一 (寛延四年)	八月	幕府指図書	九八五 (寛延四年)	十月 六日	島津重年伺書
九六二 (寛延四年)	(記事)	重年、吉宗墓前ニ銅燈籠ヲ献ス	九八六 (寛延四年)	十月 五日	堀田正亮書状
九六三 (寛延四年)	六月二十日	島津重年献備燈籠銘書	九八七 (寛延四年)	十月 五日	堀田正亮書状
九六四 (寛延四年)	九月 六日	酒井忠寄書状	九八八 (寛延四年)		さえた外四名連署消息
九六五 (寛延四年)	九月 七日	徳川家重御内書	九八九 (寛延四年)		さえた外四名連署消息
九六六 (寛延四年)	九月 七日	秋元涼朝書状	九九〇 (寛延四年)		さえた外四名連署消息
九六七 (寛延四年)	九月 六日	酒井忠寄書状	九九一 (寛延四年)	十月十一日	島津重年届書
九六八 (寛延四年)	九月 七日	徳川家重御内書	九九二 (寛延四年)	十月廿一日	島津重年一字状
九六九 (寛延四年)	九月 七日	秋元涼朝書状	九九三 (寛延四年)	十月廿一日	島津重年加冠仮名書出
九七〇 (寛延四年)	九月十二日	島津重年疏	九九四 (寛延四年)	十月廿二日	伊勢貞起申渡書
九七一 (寛延四年)	九月十三日	秋元涼朝書状	九九五 (寛延四年)	十月	島津久郷申渡書
九七二 (寛延四年)	九月十三日	秋元涼朝書状	九九六 (寛延四年)	(記事)	重年、領内諸所ヲ巡見ス
九七三 (寛延四年)	九月十九日	堀田正亮外二名 <small>老中</small> 連署状	九九七 (寶曆元年)	十二月	伊勢貞起申渡書
九七四 (寛延四年)	(記事)	家重、重年入部ノ安否ヲ問ヒ	九九八 (寶曆元年)	十二月	伊勢貞起申渡書
九七五 (寛延四年)	(記事)	重年礼使ヲ派ス	九九九 (寶曆元年)	十二月廿二日	地頭横目 <small>占</small> 届書
九七六 (寛延四年)	九月廿三日	繼豊、重年ノ帰國ヲ礼謝ス	一〇〇〇 (寛延四年)	十一月廿三日	横目 <small>鹿兒</small> 別府某届書
九七七 (寛延四年)	九月廿三日	島津重年請書案	一〇〇一 (寛延四年)	十月廿五日	松平武元書状
九七八 (寛延四年)	九月廿七日	本多正珍書状	一〇〇二 (寛延四年)	十月廿五日	秋元涼朝書状
			一〇〇三 (寛延四年)	十月廿八日	島津重年書状

(記事)

寶曆改元

- 一〇〇四
- 一〇〇五(寶曆元年)十一月五日 酒井忠寄書狀
- 一〇〇六(寶曆元年)十一月五日 秋元涼朝書狀
- 一〇〇七(寶曆元年)十一月十二日 酒井忠寄書狀
- 一〇〇八(寶曆元年)十二月十二日 秋元涼朝書狀
- 一〇〇九(寶曆元年)十一月廿五日 本多正珍書狀
- 一〇一〇(寶曆元年)十一月廿五日 本多正珍書狀
- 一〇一一(寶曆元年)十二月九日 松平武元書狀
- 一〇一二(寶曆元年)十二月九日 秋元涼朝書狀
- 一〇一三(寶曆元年)十二月九日 松平武元書狀
- 一〇一四(寶曆元年)十二月九日 秋元涼朝書狀
- 一〇一五(寶曆元年)十二月十二日 松平武元書狀
- 一〇一六(寶曆元年)十二月十二日 松平武元書狀
- 一〇一七(寶曆元年)十二月十二日 堀田正亮外二名幕府連署狀
- 一〇一八(寶曆元年)十二月十二日 松平武元書狀
- 一〇一九(寶曆元年)十二月十二日 西尾忠尚書狀
- 一〇二〇(寶曆元年)十二月十六日 西尾忠尚書狀
- 一〇二一(寶曆元年)十二月十八日 松平武元書狀
- 一〇二二(寶曆元年)十二月十九日 松平武元書狀
- 一〇二三(寶曆元年)十二月十九日 秋元涼朝書狀
- 一〇二四(寶曆元年)十二月十八日 松平武元書狀
- 一〇二五(寶曆元年)十二月十八日 秋元涼朝書狀
- 一〇二六(寶曆元年)十二月十八日 松平武元書狀
- 一〇二七(寶曆元年)十二月十九日 松平武元書狀
- 一〇二八(寶曆元年)十二月十九日 秋元涼朝書狀

- 一〇二九(寶曆元年)十二月廿一日 徳川宗睦書狀
- 一〇三〇(寶曆元年)十二月廿五日 徳川宗勝書狀
- 一〇三一 寶曆元年 十二月廿七日 島津重年寄進狀
- 一〇三二(寶曆元年)十二月廿七日 徳川家重御内書
- 一〇三三(寶曆元年)十二月廿七日 秋元涼朝書狀
- 一〇三四(寶曆元年)十二月廿七日 徳川家重御内書
- 一〇三五(寶曆元年)十二月廿七日 秋元涼朝書狀
- 一〇三六(寶曆元年)十二月廿七日 徳川宗勝書狀
- 一〇三七(寶曆元年)十二月廿八日 松平武元書狀
- 一〇三八(寶曆元年)十二月廿八日 秋元涼朝書狀
- 一〇三九(寶曆元年)十二月廿八日 松平武元書狀
- 一〇四〇(寶曆元年)十二月廿八日 秋元涼朝書狀
- 一〇四一(寶曆二年)一月七日 本多正珍書狀
- 一〇四二(寶曆二年)一月七日 秋元涼朝書狀
- 一〇四三(寶曆二年)一月七日 本多正珍書狀
- 一〇四四(寶曆二年)一月七日 秋元涼朝書狀
- 一〇四五(寶曆二年)一月十一日 堀田正亮外二名幕府連署狀
- 一〇四六(寶曆二年)一月十一日 秋元涼朝書狀
- 一〇四七 寶曆二年 一月十一日 島津重年吉書
- 一〇四八(寶曆二年)一月十一日 堀田正亮外二名幕府連署狀
- 一〇四九(寶曆二年)一月十一日 秋元涼朝書狀
- 一〇五〇(寶曆二年)二月六日 酒井忠寄書狀
- 一〇五一(寶曆二年)二月六日 秋元涼朝書狀
- 一〇五二(寶曆二年)二月六日 酒井忠寄書狀
- 一〇五三(寶曆二年)二月六日 秋元涼朝書狀

一〇五四(寶曆二年) 二月十八日 松平武元書狀
 一〇五五(寶曆二年) 二月十八日 秋元涼朝書狀
 一〇五六(寶曆二年) 二月十八日 秋元涼朝書狀
 一〇五七(寶曆二年) 二月十九日 松平武元書狀
 一〇五八(寶曆二年) 二月十九日 秋元涼朝書狀
 一〇五九(寶曆二年) 二月十九日 松平武元書狀
 一〇六〇(寶曆二年) 二月十九日 秋元涼朝書狀
 一〇六一(寶曆二年) 二月廿八日 島津重年公帖
 一〇六二(寶曆二年) 三月十一日 堀田正亮書狀
 一〇六三(寶曆二年) 三月十一日 秋元涼朝書狀
 一〇六四(寶曆二年) 三月十一日 堀田正亮書狀
 一〇六五(寶曆二年) 三月十一日 秋元涼朝書狀
 一〇六六(寶曆二年) 三月 島津久郷申渡書
 一〇六七(寶曆二年) 三月 (記事) 重年、繼豊ノ療養ノタメ參府延引ヲ願フ

一〇七八(寶曆二年) 五月二日 徳川家重御内書
 一〇七九(寶曆二年) 五月二日 秋元涼朝書狀
 一〇八〇(寶曆二年) 五月二日 島津久命・宮之原通興寺江連署申渡書
 一〇八一(寶曆二年) (記事) 重年、刀・脇刀等ヲ重豪ニ与フ
 一〇八二(寶曆二年) 五月十六日 秋元涼朝書狀
 一〇八三(寶曆二年) 五月十六日 秋元涼朝書狀
 一〇八四(寶曆二年) 五月廿一日 島津繼豊請書
 一〇八五(寶曆二年) 五月廿一日 島津重年請書
 一〇八六(寶永二年) 六月十二日 酒井忠寄書狀
 一〇八七(寶曆二年) 六月十二日 秋元涼朝書狀
 一〇八八(寶曆二年) 六月十二日 酒井忠寄書狀
 一〇八九(寶曆二年) 六月十二日 秋元涼朝書狀
 一〇九〇(寶曆二年) (記事) 重年、吉宗ノ醫牌ヲ南泉院ニ安置ス
 一〇九一(寶曆二年) (記事) 吉宗ノ一回忌ニ香奠ヲ献ス
 一〇九二(寶曆二年) 六月廿五日 酒井忠寄書狀
 一〇九三(寶曆二年) 六月廿五日 酒井忠寄書狀
 一〇九四(寶曆二年) 六月廿五日 酒井忠寄書狀
 一〇九五(寶曆二年) 六月廿八日 酒井忠寄書狀
 一〇九六(寶曆二年) 六月廿八日 酒井忠寄書狀
 一〇九七(寶曆二年) 六月廿九日 秋元涼朝書狀
 一〇九八(寶曆二年) 七月五日 西尾忠尚書狀
 一〇九九(寶曆二年) 七月五日 秋元涼朝書狀
 一一〇〇(寶曆二年) 七月六日 堀田正亮外四名幕府連署狀
 一一〇一(寶曆二年) 七月六日 秋元涼朝書狀

一一〇二(寶曆二年) 七月 六日 堀田正亮外四名幕府連署狀
 一一〇三(寶曆二年) 七月 六日 秋元涼朝書狀
 一一〇四(寶曆二年) 七月 六日 島津重年書狀
 一一〇五(寶曆二年) 七月十一日 島津重年屆書
 一一〇六(寶曆二年) 七月 廿日 西尾忠尚書狀
 一一〇七(寶曆二年) 七月 廿日 西尾忠尚書狀
 一一〇八 (記事) 島津忠雅、重年父子ニ謁見ス
 一一〇九(寶曆二年) 八月 四日 堀田正亮外四名幕府連署狀
 一一一〇(寶曆二年) 八月 四日 秋元涼朝書狀
 一一一一(寶曆二年) 八月十八日 松平武元書狀
 一一一二(寶曆二年) 八月十八日 秋元涼朝書狀
 一一一三(寶曆二年) 八月廿六日 松平武元書狀
 一一一四(寶曆二年) 八月廿六日 秋元涼朝書狀
 一一一五(寶曆二年) 八月廿六日 松平武元書狀
 一一一六(寶曆二年) 八月廿六日 秋元涼朝書狀
 一一一七 寶曆二年 八月 諏訪邦兼大目申渡書
 一一一八 寶曆二年 九月 鎌田政昌家老申渡書
 一一一九(寶曆二年) 九月 六日 堀田正亮書狀
 一二〇(寶曆二年) 九月 六日 秋元涼朝書狀
 一二一(寶曆二年) 九月 六日 堀田正亮書狀
 一二二(寶曆二年) 九月 六日 秋元涼朝書狀
 一二三(寶曆二年) 九月 七日 徳川家重御内書
 一二四(寶曆二年) 九月 七日 秋元涼朝書狀
 一二五(寶曆二年) 九月 七日 徳川家重御内書
 一二六(寶曆二年) 九月 七日 秋元涼朝書狀

一二二七(寶曆二年) 九月 九日 島津重年書狀
 一二二八(寶曆二年) 九月十一日 島津重年請書
 一二二九(寶曆二年) 九月十一日 島津重年屆書
 一二三〇 (記事) 重年、疏使ヲ携ヘ江都ニ述職ス
 一二三一(寶曆二年) 九月廿六日 堀田正亮外四名幕府連署狀
 一二三二(寶曆二年) 九月廿六日 秋元涼朝書狀
 一二三三 (記事) 重年、疏使ヲ携ヘ伏見ニ着ス
 一二三四(寶曆二年) 十月十一日 本多正珍書狀
 一二三五(寶曆二年) 十月十一日 秋元涼朝書狀
 一二三六(寶曆二年) 十月廿六日 本多正珍書狀
 一二三七(寶曆二年) 十月廿六日 秋元涼朝書狀
 一二三八(寶曆二年) 十月廿八日 本多正珍書狀
 一二三九(寶曆二年) 十月廿八日 秋元涼朝書狀
 一二四〇 寶曆二年 十一月 朔日 伊勢貞起・鎌田政昌連署知行目
 一二四一 寶曆二年 十一月 五日 島津重年判物
 一二四二(寶曆二年) 十一月 九日 酒井忠寄書狀
 一二四三(寶曆二年) 十一月 九日 秋元涼朝書狀
 一二四四(寶曆二年) 十一月十一日 酒井忠寄書狀
 一二四五(寶曆二年) 十一月十一日 秋元涼朝書狀
 一二四六 (記事) 重年、伏見ヲ出東海駅路ヲ経歴ス
 一二四七(寶曆二年) 十一月十二日 酒井忠寄書狀
 一二四八(寶曆二年) 十一月十三日 酒井忠寄書狀
 一二四九(寶曆二年) 十一月十三日 秋元涼朝書狀

一一五〇(寶曆二年)十一月十三日 秋元涼朝書狀

一一五一(寶曆二年)十一月十六日 酒井忠寄書狀

一一五二(寶曆二年)十一月廿五日 堀田正亮外四名幕府連署狀

一一五三(寶曆二年)十一月廿五日 秋元涼朝書狀

一一五四(寶曆二年)十一月廿五日 堀田正亮書狀

一一五五(寶曆二年)十一月廿五日 秋元涼朝書狀

一一五六(寶曆二年)十一月廿五日 堀田正亮外四名幕府連署狀

一一五七(寶曆二年)十一月廿五日 秋元涼朝書狀

一一五八(寶曆二年)十一月廿五日 酒井忠寄書狀

一一五九(寶曆二年)十一月廿七日 堀田正亮書狀

一一六〇(寶曆二年)十一月廿七日 秋元涼朝書狀

一一六一(寶曆二年)十一月 鎌田政昌・伊勢貞起家老連署拜領
刀拵書

一一六二 (記事) 重年、疏使ヲ携ヘ芝邸ニ着ス

一一六三(寶曆二年)十二月三日 島津重年請取狀

一一六四(寶曆二年)十二月六日 下賜米目錄

一一六五 (記事) 重年、粟米ヲ拝領ス

一一六六(寶曆二年)十二月十一日 堀田正亮外三名幕府連署狀

一一六七(寶曆二年) 登城令書

一一六八 (記事) 重年發營シ將軍父子ニ諸品ヲ獻ス

一一六九 (記事) 重年、御鷹ノ鶴拜領シ礼使ヲ遣

ハス

一一七〇(寶曆二年)十二月十三日 堀田正亮外三名幕府連署狀

一一七一(寶曆二年)十二月十三日 西尾忠尚宿次証文

一一七二(寶曆二年)十二月十四日 堀田正亮外三名幕府連署狀

一一七三 (記事) 重年、疏使ヲ携ヘ登營シ將軍ニ
謁ス

一一七四(寶曆二年)十二月十六日 西尾忠尚書狀

一一七五(寶曆二年)十二月十六日 西尾忠尚書狀

一一七六(寶曆二年)十二月十六日 秋元涼朝書狀

一一七七(寶曆二年)十二月十六日 西尾忠尚書狀

一一七八(寶曆二年)十二月十六日 秋元涼朝書狀

一一七九(寶曆二年)十二月十七日 堀田正亮外四名幕府連署狀

一一八〇(寶曆二年)十二月廿三日 德川宗睦書狀

一一八一(寶曆二年)十二月廿五日 西尾忠尚書狀

一一八二 (記事) 重年將軍父子ニ國産馬ヲ献上ス

一一八三(寶曆二年)十二月廿五日 西尾忠尚書狀

一一八四(寶曆二年)十二月廿五日 秋元涼朝書狀

一一八五(寶曆二年)十二月廿七日 德川家重御内書

一一八六(寶曆二年)十二月廿七日 秋元涼朝書狀

一一八七(寶曆二年)十二月廿七日 德川家重御内書

一一八八(寶曆二年)十二月廿七日 秋元涼朝書狀

一一八九(寶曆二年)十二月廿七日 島津重年書狀

一一九〇(寶曆二年)十二月廿七日 島津重年書狀

一一九一(寶曆二年)一月七日 松平武元書狀

一一九二(寶曆二年)一月七日 秋元涼朝書狀

一一九三(寶曆二年)一月七日 松平武元書狀

一一九四(寶曆二年)一月七日 秋元涼朝書狀

一一九五(寶曆二年)一月十一日 堀田正亮外四名幕府連署狀

一一九六(寶曆二年)一月十一日 秋元涼朝書狀

一一九七 (實曆三年) 一月十一日 松平武元書狀
 一一九八 (實曆三年) 一月十一日 秋元涼朝書狀
 一一九九 (實曆三年) 一月十一日 島津重年吉書
 一二〇〇 (實曆三年) 一月廿八日 松平武元書狀
 一二〇一 (實曆三年) 一月廿八日 秋元涼朝書狀
 一二〇二 (實曆三年) 二月六日 堀田正亮書狀
 一二〇三 (實曆三年) 二月六日 秋元涼朝書狀
 一二〇四 (實曆三年) 二月七日 堀田正亮書狀
 一二〇五 (實曆三年) 二月七日 秋元涼朝書狀
 一二〇六 (實曆三年) 二月十一日 堀田正亮書狀
 一二〇七 (實曆三年) 二月十一日 秋元涼朝書狀
 一二〇八 (實曆三年) 二月十二日 堀田正亮書狀
 一二〇九 (實曆三年) 二月十二日 秋元涼朝書狀
 一二一〇 (實曆三年) 二月廿一日 島津重年伺書
 一二一一 (實曆三年) 二月廿五日 堀田正亮書狀
 一二一二 (實曆三年) 二月廿五日 秋元涼朝書狀
 一二一三 (實曆三年) 二月廿五日 繼豊、天英院法事ニ香奠ヲ獻納
 一二一四 (實曆三年) 三月 朔日 堀田正亮書狀
 一二一五 (實曆三年) 三月 朔日 秋元涼朝書狀
 一二一六 (實曆三年) 三月 五日 本多正珍書狀
 一二一七 (實曆三年) 三月 六日 堀田正亮外四名幕府連署狀
 一二一八 (實曆三年) 三月 六日 秋元涼朝書狀
 一二一九 (實曆三年) 三月 六日 さゑた外四名連署消息
 一二二〇 (實曆三年) 三月十八日 本多正珍書狀

一二二一 (實曆三年) 三月十九日 徳川宗直書狀
 一二二二 (實曆三年) 三月 二十三日 与那原良暢起請文前書
 一二二三 (實曆三年) 三月 二十三日 東風平朝衛起請文前書
 一二二四 (實曆三年) 四月 二日 島津重年伺書
 一二二五 (實曆三年) 四月 七日 徳川宗陸書狀
 一二二六 (實曆三年) 四月 九日 繼豊三度在國療養ヲ許サル
 一二二七 (實曆三年) 四月 九日 島津重年願書
 一二二八 (實曆三年) 四月 九日 重年、帰国ヲ許サレ諸品ヲ拝領
 一二二九 (實曆三年) 四月十五日 島津久柄外二名老連署書狀
 一二三〇 (實曆三年) 五月十四日 伊勢貞起外三名老連署返書
 一二三一 (實曆三年) 四月十七日 堀田正亮外四名老連署狀
 一二三二 (實曆三年) 四月十九日 登城令書
 一二三三 (實曆三年) 四月十九日 拝領馬書上
 一二三四 (實曆三年) 五月十四日 島津久柄外二名老連署書狀
 一二三五 (實曆三年) 五月十四日 伊勢貞起外三名老連署返書
 一二三六 (實曆三年) 四月廿一日 島津重年願書
 一二三七 (實曆三年) 四月廿一日 島津重年願書
 一二三八 (實曆三年) 四月廿三日 秋元涼朝書狀
 一二三九 (實曆三年) 四月 暮府御触書
 一二四〇 (實曆三年) 四月 暮府御触書
 一二四一 (實曆三年) 四月廿九日 山沢盛福届書
 一二四二 (實曆三年) 五月 二日 徳川家重御内書
 一二四三 (實曆三年) 五月 二日 秋元涼朝書狀
 一二四四 (實曆三年) 五月 二日 徳川家重御内書

- 一二四五 (寶曆三年) 五月 二日 秋元涼朝書狀
- 一二四六 (寶曆三年) 竹姫總監消息
- 一二四七 (寶曆三年) 竹姫消息
- 一二四八 (寶曆三年) 五月 五日 山沢盛福屈書
- 一二四九 (寶曆三年) 五月 五日 山沢盛福請書
- 一二五〇 (寶曆三年) 五月十九日 酒井忠寄書狀
- 一二五一 (寶曆三年) 五月十九日 秋元涼朝書狀
- 一二五二 (寶曆三年) 六月 朔日 酒井忠寄書狀
- 一二五三 (寶曆三年) 六月十六日 松平武元書狀
- 一二五四 (寶曆三年) 六月十六日 秋元涼朝書狀
- 一二五五 (寶曆三年) 継豊、吉宗ノ法事ニ香爨ヲ献納
- 一二五六 (寶曆三年) 重年、吉宗ノ法事ニ香爨ヲ献納
- 一二五七 (寶曆三年) 六月廿六日 本多正珍書狀
- 一二五八 (寶曆三年) 六月廿七日 秋元涼朝書狀
- 一二五九 (寶曆三年) 六月廿七日 松平武元書狀
- 一二六〇 (寶曆三年) 六月廿七日 松平武元書狀
- 一二六一 (寶曆三年) 六月廿七日 秋元涼朝書狀
- 一二六二 (寶曆三年) 七月 六日 堀田正亮外四名幕府連署狀
- 一二六三 (寶曆三年) 七月 六日 秋元涼朝書狀
- 一二六四 (寶曆三年) 七月 六日 堀田正亮外四名幕府連署狀
- 一二六五 (寶曆三年) 七月 六日 秋元涼朝書狀
- 一二六六 (寶曆三年) 七月 九日 堀田正亮書狀
- 一二六七 (寶曆三年) 七月 九日 秋元涼朝書狀
- 一二六八 (寶曆三年) 七月十五日 堀田正亮書狀
- 一二六九 (寶曆三年) 七月廿日 酒井忠寄書狀
- 一二七〇 (寶曆三年) 七月廿日 酒井忠寄書狀
- 一二七一 (寶曆三年) 七月廿一日 佐久間盛邦屈書
- 一二七二 七月廿一日 佐久間盛邦屈書
- 一二七三 (寶曆三年) 八月 二日 大橋親義長崎奉行書狀
- 一二七四 (寶曆三年) 八月 四日 堀田正亮外四名幕府連署狀
- 一二七五 (寶曆三年) 八月 四日 秋元涼朝書狀
- 一二七六 (寶曆三年) 八月 六日 堀田正亮外四名幕府連署狀
- 一二七七 (寶曆三年) 八月 六日 秋元涼朝書狀
- 一二七八 (寶曆三年) 八月 七日 西尾忠尚書狀
- 一二七九 (寶曆三年) 八月 七日 秋元涼朝書狀
- 一二八〇 (寶曆三年) 八月 七日 西尾忠尚書狀
- 一二八一 (寶曆三年) 八月 七日 秋元涼朝書狀
- 一二八二 (寶曆三年) 八月十六日 島津重年書狀
- 一二八三 (寶曆三年) 重年、琉球王ノ献品ヲ幕府ニ達
- 一二八四 (寶曆三年) 八月廿一日 徳川宗勝書狀
- 一二八五 (寶曆三年) 八月廿八日 西尾忠尚書狀
- 一二八六 (寶曆三年) 八月廿八日 秋元涼朝書狀
- 一二八七 (寶曆三年) 八月廿八日 西尾忠尚書狀
- 一二八八 (寶曆三年) 八月廿八日 秋元涼朝書狀
- 一二八九 (寶曆三年) 八月 銀細工禁制触書
- 一二九〇 九月廿三日 山沢盛福添書
- 一二九一 (寶曆三年) 九月 六日 本多正珍書狀

二九二 (實曆二年) 九月 七日 秋元涼朝書狀
 二九三 (實曆三年) 九月 六日 本多正珍書狀
 二九四 (實曆三年) 九月 七日 秋元涼朝書狀
 二九五 (實曆三年) 九月 七日 徳川家重御内書
 二九六 (實曆三年) 九月 七日 秋元涼朝書狀
 二九七 (實曆三年) 九月 七日 徳川家重御内書
 二九八 (實曆三年) 九月 七日 秋元涼朝書狀
 二九九 (實曆三年) 九月 伊勢貞起申渡書
 三〇〇 (實曆三年) 九月十九日 島津重年伺書
 三〇一 九月廿五日 山沢盛福書狀
 三〇二 (實曆三年) 九月 幕府達書
 三〇三 (實曆三年) 九月廿三日 山沢盛福書狀
 三〇四 (實曆三年) 九月廿八日 山沢盛福伺書
 三〇五 九月廿八日 山沢盛福書狀
 三〇六 實曆三年 九月廿八日 村上範村覚書
 三〇七 (實曆三年) 十一月 六日 堀田正亮外四名幕府連署書狀
 三〇八 (實曆三年) 十一月 六日 秋元涼朝書狀
 三〇九 (實曆三年) 十一月 七日 秋元涼朝書狀
 三一〇 (實曆三年) 十一月十一日 松平武元書狀
 三一一 (實曆三年) 十一月十一日 秋元涼朝書狀
 三一二 (實曆三年) 十一月十三日 松平武元書狀
 三一三 (實曆三年) 十一月十三日 秋元涼朝書狀
 三一四 (實曆三年) 十一月廿五日 堀田正亮外四名幕府連署奉書
 三一五 (實曆三年) 十二月 六日 島津重年書狀
 三一六 (實曆三年) 十二月十三日 西尾忠尚書狀

一三二七 (實曆三年) 十二月十三日 秋元涼朝書狀
 一三二八 (實曆三年) 十二月十三日 西尾忠尚書狀
 一三二九 (實曆三年) 十二月十三日 秋元涼朝書狀
 一三三〇 (實曆三年) さえた外四名連署消息
 一三三一 (實曆三年) さえた外四名連署消息
 一三三二 重蒙元服ス
 一三三三 (記事)
 一三三四 (實曆三年) 十二月十六日 西尾忠尚書狀
 一三三五 (實曆三年) 十二月十六日 秋元涼朝書狀
 一三三六 (實曆三年) 十二月十六日 西尾忠尚書狀
 一三三七 (實曆三年) 十二月十六日 秋元涼朝書狀
 一三三八 (實曆三年) 十二月十八日 西尾忠尚書狀
 一三三九 (實曆三年) 十二月十八日 秋元涼朝書狀
 一三三〇 (實曆三年) 十二月廿五日 堀田正亮外四名幕府連署書狀
 一三三一 (記事)
 一三三二 (實曆三年) 十二月廿五日 堀田正亮外四名幕府連署奉書
 一三三三 (實曆三年) 十二月廿七日 徳川家重御内書
 一三三四 (實曆三年) 十二月廿七日 秋元涼朝書狀
 一三三五 十二月廿七日 徳川家重御内書
 一三三六 (實曆三年) 十二月廿九日 島津久馮・島津久郷老家連署書狀
 一三三七 (實曆四年) 一月廿五日 伊勢貞起外五名老家連署返書
 一三三八 十二月廿七日 濃尾勢州川、普請幕府役人書出
 一三三九 幕府達書
 一三四〇 幕府達書
 一三四一 (實曆四年) 一月 七日 本多正珍書狀

一三四二	(寶曆四年)	一月 七日	秋元涼朝書狀	一三六六	(寶曆四年)	一月	島津重年届書
一三四三	(寶曆四年)	一月 七日	本多正珍書狀	一三六七			一色政汎 <small>勘定奉行</small> 指図書
一三四四	(寶曆四年)	一月 七日	秋元涼朝書狀	一三六八	(寶曆四年)	一月	島津重年伺書
一三四五	寶曆四年	一月十一日	島津重年吉書	一三六九	(寶曆四年)	一月	普請小屋門出入条書
一三四六	(寶曆四年)	一月十一日	堀田正亮外三名 <small>幕府</small> 連署狀	一三七〇	(寶曆四年)	一月	濃尾勢州川、普請場役人名書
一三四七	(寶曆四年)	一月十一日	秋元涼朝書狀	一三七一	(寶曆四年)	一月廿一日	島津重年請書案
一三四八	(寶曆四年)	一月十一日	堀田正亮外三名 <small>幕府</small> 連署狀	一三七二	(寶曆四年)	一月廿一日	島津重年請書案
一三四九	(寶曆四年)	一月十一日	秋元涼朝書狀	一三七三	(寶曆四年)	一月廿一日	島津重年請書案
一三五〇	(寶曆四年)	一月十二日	本多正珍書狀	一三七四	(寶曆四年)	二月 二日	徳川宗陸書狀
一三五一	(寶曆四年)	一月十二日	秋元涼朝書狀	一三七五	(寶曆四年)	二月 四日	島津重年書狀
一三五二	(寶曆四年)	一月十二日	本多正珍書狀	一三七六	(寶曆四年)	二月 六日	堀田正亮書狀
一三五三	(寶曆四年)	一月十二日	秋元涼朝書狀	一三七七	(寶曆四年)	二月 六日	秋元涼朝書狀
一三四四	(寶曆四年)	一月十八日	さえた外四名連署消息	一三七八	(寶曆四年)	二月 六日	堀田正亮書狀
一三五五	(寶曆四年)	一月十八日	本多正珍書狀	一三七九	(寶曆四年)	二月 六日	徳川宗陸書狀
一三五六	(寶曆四年)	一月十八日	秋元涼朝書狀	一三八〇	(寶曆四年)	二月 六日	濃尾勢州川、普請場条書
一三五七	(寶曆四年)	一月廿三日	徳川宗勝書狀	一三八一	寶曆四年	二月	島津久馮・島津久郷 <small>幕府</small> 連署書狀
一三五八		(記事)	重年、御鷹ノ鶴拝領シ礼使ヲ遣ハス	一三八二	(寶曆四年)	二月 六日	伊勢貞起外四名連署返書
一三五九	(寶曆四年)		さえた外四名連署消息	一三八三	(寶曆四年)	二月廿六日	普請方申渡書并在府家老添書
一三六〇	(寶曆四年)		さえた外四名連署消息	一三八四	(寶曆四年)	一月	普請方申渡書并在府家老添書
一三六一	(寶曆四年)	一月廿九日	本多正珍書狀	一三八五	(寶曆四年)	一月	普請方申渡書并在府家老添書
一三六二	(寶曆四年)	一月廿九日	秋元涼朝書狀	一三八六	(寶曆四年)	一月	普請方申渡書并在府家老添書
一三六三	(寶曆四年)	一月	平田正輔申渡書	一三八七	寶曆四年	一月	普請場条書
一三六四	(寶曆四年)	一月	島津重年伺書	一三八八	(寶曆四年)	一月	御普請役申渡書
一三六五	(寶曆四年)	一月 四日	島津久馮・島津久郷 <small>幕府</small> 連署返書	一三八九	(寶曆四年)	一月	濃尾勢州川、普請場掛役人名書
				一三九〇	(寶曆四年)	一月	新見正栄外三名 <small>目付</small> 連署申渡書

一三九一〔寶曆四年〕 一月 晦日 島津久郷書狀
 一三九二〔寶曆四年〕 二月 一色政沅申渡書
 一三九三〔寶曆四年〕 二月 七日 徳川宗勝書狀
 一三九四〔寶曆四年〕 二月 十日 島津重年伺書
 一三九五〔寶曆四年〕 二月 十日 島津重年届書
 一三九六〔寶曆四年〕 二月 十一日 堀田正亮書狀
 一三九七〔寶曆四年〕 二月 十一日 秋元涼朝書狀
 一三九八〔寶曆四年〕 二月 十一日 堀田正亮書狀
 一三九九〔寶曆四年〕 二月 十一日 秋元涼朝書狀
 一四〇〇〔寶曆四年〕 二月 十五日 堀田正亮書狀
 一四〇一〔寶曆四年〕 二月 十五日 秋元涼朝書狀
 一四〇二〔寶曆四年〕 二月 十八日 堀田正亮書狀
 一四〇三〔寶曆四年〕 二月 十八日 秋元涼朝書狀
 一四〇四〔寶曆四年〕 二月 十八日 堀田正亮書狀
 一四〇五〔寶曆四年〕 二月 十八日 御手伝普請係役人名書
 一四〇六 二月 島津重年届書
 一四〇七〔寶曆四年〕 閏二月 廿二日 御手伝普請係役人名書
 一四〇八〔寶曆四年〕 閏二月 島津重年届書
 一四〇九〔寶曆四年〕 二月 廿一日 堀田正亮書狀
 一四一〇〔寶曆四年〕 二月 廿一日 秋元涼朝書狀
 一四一一〔寶曆四年〕 二月 廿一日 堀田正亮書狀
 一四一二〔寶曆四年〕 二月 廿一日 秋元涼朝書狀
 一四一三〔寶曆四年〕 二月 廿一日 秋元涼朝書狀
 一四一四〔寶曆四年〕 二月 幕府触書
 一四一五〔寶曆四年〕 二月 廿五日 徳川宗睦書狀

一四一六〔寶曆四年〕 二月 廿九日 堀田正亮書狀
 一四一七〔寶曆四年〕 閏二月 朔日 秋元涼朝書狀
 一四一八 (記事) 重年夫人辛サ大円寺ニ葬ル
 一四一九〔寶曆四年〕 閏二月 四日 堀田正亮外四名幕府連署狀
 一四二〇〔寶曆四年〕 閏二月 十六日 酒井忠寄書狀
 一四二一〔寶曆四年〕 閏二月 十六日 秋元涼朝書狀
 一四二二〔寶曆四年〕 閏二月 廿三日 島津重年伺書
 一四二三〔寶曆四年〕 さえた外四名連署消息
 一四二四〔寶曆四年〕 さえた外四名連署消息
 一四二五〔寶曆四年〕 さえた外四名連署消息
 一四二六〔寶曆四年〕 閏二月 廿三日 堀田正亮外四名幕府連署狀
 一四二七〔寶曆四年〕 閏二月 廿三日 秋元涼朝書狀
 一四二八〔寶曆四年〕 閏二月 廿三日 酒井忠寄書狀
 一四二九〔寶曆四年〕 閏二月 廿三日 秋元涼朝書狀
 一四三〇 (記事) 重蒙、兄重年ノ世子トナル
 一四三一〔寶曆四年〕 閏二月 廿三日 島津重年届書
 一四三二 (一) 三月 廿一日 岩下方峯届書
 一四三三 (二) 三月 廿三日 岩下方峯届書
 一四三四 (三) 三月 廿四日 岩下方峯届書
 一四三五 (四) 三月 廿五日 赤松則正届書
 一四三二〔寶曆四年〕 閏二月 廿五日 秋元涼朝書狀
 一四三三〔寶曆四年〕 閏二月 廿六日 酒井忠寄書狀
 一四三四〔寶曆四年〕 閏二月 廿五日 秋元涼朝書狀
 一四三五〔寶曆四年〕 閏二月 廿六日 酒井忠寄書狀
 一四三六〔寶曆四年〕 閏二月 廿六日 秋元涼朝書狀

一四三七 (寶曆四年) 閏二月廿六日 秋元涼朝書狀
 一四三八 (寶曆四年) (記事) 重年、絆豊ノ參府延期ヲ乞フ
 一四三九 (寶曆四年) 三月十三日 島津重年願書
 一四四〇 (寶曆四年) 三月十一日 竹姫御覽消息
 一四四一 (寶曆四年) 三月廿二日 秋元涼朝書狀
 一四四二 (寶曆四年) 三月廿二日 秋元涼朝書狀
 一四四三 (寶曆四年) 三月廿四日 岩下方峯屈書
 一四四四 (寶曆四年) 四月 四日 秋元涼朝書狀
 一四四五 (寶曆四年) 四月 四日 西尾忠尚書狀
 一四四六 (寶曆四年) 四月 四日 西尾忠尚書狀
 一四四七 (寶曆四年) 四月 四日 秋元涼朝書狀
 一四四八 (寶曆四年) 四月 幕府指図書
 一四四九 (寶曆四年) 四月十一日 徳川宗陸書狀
 一四五〇 (寶曆四年) 四月十八日 西尾忠尚書狀
 一四五一 (寶曆四年) 四月廿二日 西尾忠尚書狀
 一四五二 (寶曆四年) 四月廿二日 秋元涼朝書狀
 一四五三 (寶曆四年) 五月 二日 徳川家重御内書
 一四五四 (寶曆四年) 五月 二日 秋元涼朝書狀
 一四五五 (寶曆四年) 五月 二日 徳川家重御内書
 一四五六 (寶曆四年) 五月 二日 秋元涼朝書狀
 一四五七 (寶曆四年) (記事) 重年、重豪久ヲ携ヘ參勤ス
 一四五八 (寶曆四年) (記事) 重豪久、重年ニ從ヒ東都ニ到ル
 一四五九 (寶曆四年) 五月十九日 岩下方峯願書
 一四六〇 (寶曆四年) 五月 岩下方峯書狀
 一四六一 (寶曆四年) 五月廿五日 徳川宗勝書狀

一四六二 (寶曆四年) 六月 六日 堀田正亮書狀
 一四六三 (寶曆四年) 六月 六日 秋元涼朝書狀
 一四六四 (寶曆四年) 六月 六日 堀田正亮書狀
 一四六五 (寶曆四年) 六月 六日 秋元涼朝書狀
 一四六六 (寶曆四年) 六月廿二日 徳川宗勝書狀
 一四六七 (寶曆四年) 六月廿三日 堀田正亮書狀
 一四六八 (寶曆四年) 六月廿三日 堀田正亮書狀
 一四六九 (寶曆四年) 六月廿三日 秋元涼朝書狀
 一四七〇 (寶曆四年) 六月廿五日 堀田正亮書狀
 一四七一 (寶曆四年) 六月廿五日 秋元涼朝書狀
 一四七二 (寶曆四年) 六月廿五日 堀田正亮書狀
 一四七三 (寶曆四年) 六月廿五日 秋元涼朝書狀
 一四七四 (寶曆四年) 七月 朔日 堀田正亮書狀
 一四七五 (寶曆四年) 七月 五日 酒井忠寄書狀
 一四七六 (寶曆四年) 七月 五日 秋元涼朝書狀
 一四七七 (寶曆四年) 七月 六日 堀田正亮外三名幕府連署狀
 一四七八 (寶曆四年) 七月 六日 秋元涼朝書狀
 一四七九 (寶曆四年) 七月 六日 堀田正亮外三名幕府連署狀
 一四八〇 (寶曆四年) 七月 六日 秋元涼朝書狀
 一四八一 (寶曆四年) 七月 八日 島津久馮・島津久郷在府連署書狀
 一四八二 (寶曆四年) 八月 八日 義岡久中・鎌田政昌老連署返書
 一四八三 (寶曆四年) 六月 八日 普請場差出入數書届
 一四八四 (寶曆四年) (記事) 川田友助刺殺サル
 一四八五 (寶曆四年) 七月十二日 酒井忠寄書狀
 一四八六 (寶曆四年) 七月十三日 酒井忠寄書狀

- 一四八七〔寶曆四年〕 七月十三日 秋元涼朝書狀
 一四八八〔寶曆四年〕 七月十七日 伊勢貞起・新納久品連署首尾書
 一四八九〔寶曆四年〕 八月 八日 義岡久中・鎌田政昌連署返書
 一四九〇〔寶曆四年〕 七月廿二日 平田正輔首尾書
 一四九一〔寶曆四年〕 八月 八日 義岡久中・鎌田政昌連署返書
 一四九二〔寶曆四年〕 七月廿二日 平田正輔首尾書
 一四九三〔寶曆四年〕 八月 八日 義岡久中・鎌田政昌^家連署返書
 一四九四〔寶曆四年〕 七月十一日 御普請勤方人数配帳
 一四九五〔寶曆四年〕 七月廿七日 堀田正亮外三名^{老中}連署狀
 一四九六 登城令書
 一四九七 (記事) 重年ノ嫡子^實江戶ニテ改名ス
 一四九八〔寶曆四年〕 八月 四日 島津重年届書
 一四九九 (記事) 重蒙、重年ノ嫡子トナリ名ヲ改ム
- 一五〇〇 寶曆四年 七月 吉日 島津忠洪実名勘文
 一五〇一 寶曆四年 八月 四日 島津重蒙假名書上
 一五〇二 寶曆四年 八月 四日 島津重蒙名字狀
 一五〇三 九月 廿九日 児玉実門書狀
 一五〇四〔寶曆四年〕 八月廿八日 松平武元書狀
 一五〇五〔寶曆四年〕 八月廿八日 秋元涼朝書狀
 一五〇六〔寶曆四年〕 九月 二日 西尾忠尚書狀
 一五〇七〔寶曆四年〕 九月 二日 秋元涼朝書狀
 一五〇八〔寶曆四年〕 九月 二日 西尾忠尚書狀
 一五〇九〔寶曆四年〕 九月 六日 西尾忠尚書狀
 一五一〇〔寶曆四年〕 九月 六日 秋元涼朝書狀
- 一五一一〔寶曆四年〕 九月 七日 徳川家重御内書
 一五一二〔寶曆四年〕 九月 七日 秋元涼朝書狀
 一五一三〔寶曆四年〕 九月 七日 徳川家重御内書
 一五一四〔寶曆四年〕 九月十四日 平田正輔首尾書
 一五一五〔寶曆四年〕 九月 鎌田政昌申渡書
 一五一六〔寶曆四年〕 九月 鎌田政昌申渡書
 一五一七〔寶曆四年〕 九月廿七日 堀田正亮書狀
 一五一八〔寶曆四年〕 九月廿七日 堀田正亮書狀
 一五一九 寶曆四年 十月十八日 島津久馮外二名^家連署知行目録
 一五二〇〔寶曆四年〕 十月 廿日 酒井忠寄書狀
 一五二一〔寶曆四年〕 十月 幕府勘定奉行触書
 一五二二〔寶曆四年〕 十一月 四日 平田正輔書狀
 一五二三〔寶曆四年〕 十一月 七日 堀田正亮書狀
 一五二四〔寶曆四年〕 十一月 七日 秋元涼朝書狀
 一五二五 寶曆四年 十一月 七日 島津久馮外二名^家連署知行目録
 一五二六 幕府大御目付触書
 一五二七〔寶曆四年〕 十一月十四日 幕府大目付廻狀写
 一五二八〔寶曆四年〕 十一月十四日 赤松則正添書
 一五二九〔寶曆四年〕 十二月 二日 堀田正亮書狀
 一五三〇〔寶曆四年〕 十二月 二日 秋元涼朝書狀
 一五三一 (記事) 重年・継豊、家治ノ婚儀ヲ賀ス
 一五三二〔寶曆四年〕 十二月 二日 堀田正亮書狀
 一五三三〔寶曆四年〕 十二月 二日 秋元涼朝書狀
 一五三四〔寶曆四年〕 十二月 五日 松平武元書狀
 一五三五〔寶曆四年〕 十二月十三日 松平武元書狀

- 一五三六(寶曆四年) 十二月十三日 秋元涼朝書狀
一五三七 (寶曆五年) 重年、御鷹ノ鶴拝領ス
(記事)
一五三八(寶曆四年) 十二月十三日 松平武元書狀
一五三九(寶曆四年) 十二月 幕府指圖書
一五四〇 十二月廿日 岩下方峯書狀
一五四一(寶曆四年) 十二月十三日 秋元涼朝書狀
一五四二(寶曆四年) 十二月十五日 松平武元書狀
一五四三(寶曆四年) 十二月廿三日 松平武元書狀
一五四四(寶曆四年) 十二月廿七日 徳川家重御内書
一五四五(寶曆四年) 十二月廿七日 秋元涼朝書狀
一五四六 十二月廿七日 徳川家重御内書
一五四七 十二月廿七日 秋元涼朝書狀
一五四八(寶曆四年) 十二月 家中進上物定
一五四九 寶曆五年 一月 一日 島津忠洪吉書
一五五〇(寶曆五年) 荻原消息
一五五一(寶曆五年) 一月 島津重年内意書
一五五二(寶曆五年) 一月 五日 平田正輔首尾書
一五五三(寶曆五年) 二月 三日 島津久馮・鎌田政昌連署返書
(の二)
一五五四(寶曆五年) 一月 七日 酒井忠寄書狀
一五五五(寶曆五年) 一月 七日 秋元涼朝書狀
一五五六(寶曆五年) 一月 七日 酒井忠寄書狀
一五五七(寶曆五年) 一月 七日 秋元涼朝書狀
一五五八 寶曆五年 一月十一日 島津重年吉書
一五五九(寶曆五年) 一月十三日 島津重年伺書
(の二) 一月 献上物品書
- 一五六〇(寶曆五年) 一月十三日 島津重年伺書
一五六一 一月 献上物品書
一五六二(寶曆五年) 一月十八日 堀田正亮外四名幕府連署狀
一五六三(寶曆五年) 一月十八日 秋元涼朝書狀
一五六四(寶曆五年) 二月 二日 西尾忠尚書狀
一五六五(寶曆五年) 二月 二日 秋元涼朝書狀
一五六六(寶曆五年) 二月 六日 西尾忠尚書狀
一五六七(寶曆五年) 二月 六日 秋元涼朝書狀
一五六八(寶曆五年) 二月 九日 西尾忠尚書狀
一五六九(寶曆五年) 二月 九日 秋元涼朝書狀
一五七〇(寶曆五年) 二月 廿日 本多正珍書狀
一五七一(寶曆五年) 二月 廿三日 西尾忠尚書狀
一五七二(寶曆五年) 二月 廿三日 秋元涼朝書狀
一五七三(寶曆五年) 三月 十二日 本多正珍書狀
一五七四(寶曆五年) 三月 十二日 秋元涼朝書狀
一五七五 三月 十六日 赤松則正屈書
(の二)
一五七六(寶曆五年) 四月 七日 島津重年願書
一五七七(寶曆五年) 四月 十一日 平田正輔首尾書
一五七八(寶曆五年) 四月 廿八日 島津久馮・鎌田政昌在國連署返書
一五七九 (記事) 重年、登宮シテ帰國ノ暇ヲ謝ス
一五八〇(寶曆五年) 四月 十四日 堀田正亮外四名幕府連署狀
一五八一(寶曆五年) 四月 登城令書
一五八二(寶曆五年) 四月 島津重年内意書

- 一五八三 (寶曆五年) 四月十六日 義岡久中・島津久郷在府家老連署書狀
- 一五八四 四月十八日 義岡久中・島津久郷在府家老連署書狀
- 一五八五 五月 三日 山田有隆書狀
- 一五八六 四月十八日 義岡久中・島津久郷在府家老連署首尾書
- 一五八七 (寶曆五年) 四月 島津久柄佐土原城主願書
- 一五八八 (寶曆五年) 四月廿五日 島津久柄佐土原城主願書
- 一五八九 (寶曆五年) 五月 二日 徳川家重御内書
- 一五九〇 (寶曆五年) 五月 二日 秋元涼朝書狀
- 一五九一 寶曆五年 五月 九日 琉球王尚穆起請文前書
- 一五九二 (寶曆五年) 五月十一日 島津繼豊請書
- 一五九三 (記事) 重年、江府ニテ病勢ススム
- 一五九四 (寶曆五年) 五月十三日 島津重年届書
- 一五九五 (寶曆五年) 五月廿三日 秋元涼朝書狀
- 一五九六 (寶曆五年) 五月廿四日 平田正輔川普請首尾書
- 一五九七 (寶曆五年) 七月廿一日 島津久馮返書
- 一五九八 (寶曆五年) 六月 六日 義岡久中・島津久郷在府家老連署首尾書
- 一五九九 (寶曆五年) 七月廿一日 島津久馮・鎌田政昌連署返書
- 一六〇〇の一 六月 朔日 島津重年届書
- 一六〇〇の二 六月 朔日 岩下方峯届書
- 一六〇〇の三 六月 朔日 岩下方峯届書
- 一六〇一 六月 朔日 岩下方峯首尾書
- 一六〇二 (寶曆五年) 六月 五日 島津重年願書
- 一六〇三 六月 島津重年親類名書
- 一六〇四 (寶曆五年) 六月十一日 島津重年届書
- 一六〇五 六月十一日 山沢盛福届書
- 一六〇六 (寶曆五年) 六月十二日 義岡久中外二名家在府家老連署首尾書
- 一六〇七 (寶曆五年) 七月十二日 島津久馮・鎌田政昌在府家老連署返書
- 一六〇八 (寶曆五年) 六月十二日 堀田正亮外三名在府家老連署狀
- 一六〇九 (記事) 將軍家重、重年ノ病ヲ問ハシム
- 一六一〇 (寶曆五年) 六月十二日 島津重年届書
- 一六一一 (寶曆五年) 六月十二日 岩下方峯首尾書
- 一六一二 (寶曆五年) 六月十三日 義岡久中外二名家在府家老連署首尾書
- 一六一三 (寶曆五年) 七月十二日 島津久馮・鎌田政昌在府家老連署返書
- 一六一四 (寶曆五年) 六月十三日 義岡久中外二名家在府家老連署書狀
- 一六一五 (寶曆五年) 七月十二日 島津久馮・鎌田政昌在府家老連署返書
- 一六一六 (寶曆五年) 六月十三日 島津重年病氣首尾一件
- (の二) 六月十三日 島津重年届書
- (の三) 寶曆五年 六月十三日 島津重年願書
- (の四) 六月十三日 島津重年施療医師名書
- (の五) (寶曆五年) 六月十三日 島津重年縁者一類名書
- (の六) (寶曆五年) 六月十三日 島津重年容牀書
- (の七) (寶曆五年) 六月 山沢盛福首尾書
- 一六一七 (寶曆五年) 六月十三日 島津重年伺書
- 一六一八 (寶曆五年) 六月十三日 酒井忠寄書狀
- 一六一九 (記事) 秋元涼朝書狀
- 一六二〇 (記事) 重年、帰国ヲ前ニ病歿ス
- 一六二一 (寶曆五年) 六月十五日 家重、再度重年ノ病ヲ問ハシム
- 一六二二 (寶曆五年) 六月十五日 義岡久中外二名家在府家老連署書狀

- (の二) (寶曆五年) 六月十五日 島津重年容鉢書
(の二) (寶曆五年) 六月十五日 島津重年施療医師名書
(の三) (寶曆五年) 六月十五日 島津重年縁者一類名書
一六二二 (寶曆五年) 七月十二日 島津久馮・鎌田政昌^{老家}連署返書
一六二三 (寶曆五年) 重年死ス
(記事)
一六二四 (寶曆五年) 六月十六日 義岡久中外二名^{老家}連署書狀
一六二五 (寶曆五年) 七月十二日 島津久馮・鎌田政昌^{老家}連署返書
一六二六 (寶曆五年) 六月十六日 赤松則正届書一件
(の二) (寶曆五年) 六月十六日 島津久柄届書
(の二) (寶曆五年) 六月十六日 島津忠洪忌服届書
(の三) (寶曆五年) 六月十六日 島津繼豊・菊忌服請書
(の四) (寶曆五年) 六月十六日 菊忌服請書
一六二七 (寶曆五年) 將軍父子、重年ノ訃ヲ弔ハシム
(記事)
一六二八 (寶曆五年) 六月十九日 島津忠洪伺書
一六二九 (寶曆五年) 六月廿日 堀田正亮外四名^{幕府}連署奉書
一六三〇 (寶曆五年) 六月廿日 秋元涼朝奉書
一六三一 寶曆五年 六月廿日 岩下方峯願書
一六三二 寶曆五年 六月廿一日 河野通喬外三名^{御留}連署関所手
形
一六三三 (寶曆五年) 六月廿七日 酒井忠寄書狀
一六三四 (寶曆五年) 六月廿七日 秋元涼朝書狀
一六三五 (寶曆五年) 六月廿九日 酒井忠寄書狀
一六三六 (寶曆五年) 重年、子忠洪ヘノ襲封ヲ乞フ
(記事)
一六三七 (寶曆五年) 七月 島津繼豊申渡書
一六三八 (寶曆五年) 七月 島津繼豊申渡書
- 一六三九 七月 島津久馮・鎌田政昌^{老家}連署申渡書
一六四〇 (寶曆五年) 忠洪襲封許サレ繼豊政務ヲ代行
(記事)
一六四一 (寶曆五年) 七月廿七日 堀田正亮外二名^{幕府}連署奉書
一六四二 (寶曆五年) 七月廿六日 堀田正亮外三名^{幕府}連署書狀
一六四三 (寶曆五年) 幕府、忠洪ノ政務ヲ繼豊ニ代行
(記事)
一六四四 セシム
一六四五 (寶曆五年) 老中奉書扣
一六四六 島津忠洪^重請書
(記事)
一六四七 (寶曆五年) 忠洪襲封、幕府封國ヲ監理ス
一六四八 (寶曆五年) 七月 島津忠洪伺書
一六四九 (寶曆五年) 七月廿七日 島津久郷・伊集院久東^{在府}連署書狀
一六五〇 (寶曆五年) 九月 六月 島津久馮・鎌田政昌連署返書
一六五一 (寶曆五年) 十二月廿一日 島津久郷・伊集院久東^{在府}連署返書
一六五二 (寶曆五年) 七月廿七日 島津久郷・伊集院久東^{在府}連署書狀
一六五三 (寶曆五年) 八月 九月 義岡久中書狀
一六五四 (寶曆五年) 八月 九月 島津久郷・伊集院久東^{在府}連署書狀
一六五五 (寶曆五年) 八月廿五日 島津久馮・鎌田政昌連署返書
一六五六 (寶曆五年) 八月 島津久馮・鎌田政昌連署伺書
一六五七 (寶曆五年) 八月廿二日 島津忠洪内意書
八月 島津久馮申渡書

一六五八 八月 七日 島津忠洪家重願書
一六五九 (記事) 忠洪、家臣ノ旧ノ如ク勤事スベキヲ諭ス

一六六〇 (寶曆五年) 八月 島津忠洪申渡書

一六六一 (寶曆五年) 八月 九月 堀田正亮書狀

一六六二 (寶曆五年) 八月 九月 秋元涼朝書狀

一六六三 (寶曆五年) 八月 九月 堀田正亮書狀

一六六四 (寶曆五年) 八月 九月 堀田正亮書狀

一六六五 (寶曆五年) 八月 十一月 堀田正亮書狀

一六六六 (寶曆五年) 八月 十一月 秋元涼朝書狀

一六六七 (記事) 濃尾勢州川、普請ノ褒賞アリ、繼豐之ヲ謝ス

一六六八 (寶曆五年) 八月 十一月 堀田正亮書狀

一六六九 (寶曆五年) 八月 十一月 秋元涼朝書狀

一六七〇 (寶永五年) 八月 十一月 堀田正亮書狀

一六七一 (寶曆五年) 八月 十一月 秋元涼朝書狀

一六七二 八月 十一月 島津忠洪書狀

一六七三 (寶曆五年) 八月 十一月 島津久郷・伊集院久東在府連署書狀

一六七四 (寶曆五年) 九月 十六日 島津久馮外二名老連署返書

一六七五 (寶曆五年) 八月 十三日 島津久郷・伊集院久東在府連署書狀

一六七六 (寶曆五年) 九月 廿八日 島津久馮外二名老連署返書

一六七七 (寶曆五年) 八月 十四日 堀田正亮外四名老連署書狀

一六七八 (記事) 忠洪名代ヲ以テ家督ヲ礼謝ス

一六七九 (寶曆五年) 八月 十五日 島津忠洪書狀

一六八〇 (寶曆五年) 八月 十五日 堀田正亮書狀

一六八一 (寶曆五年) 八月 十五日 秋元涼朝書狀

一六八二 (寶曆五年) 八月 十五日 毎朔奈書

一六八三 (寶曆五年) 八月 十九日 秋元涼朝書狀

一六八四 (記事) 忠洪、縁辺へ諸品ヲ贈リ家督ヲ賀ス

一六八五 (記事) 重年ノ遺骸江戶ヲ送シ福昌寺ニ埋葬ス島津實備、忠洪ニ代リ代繕祭文ヲ獻ス

一六八六 (記事) 島津忠洪代繕祭文

一六八七 (記事) 重年ノ遺骸ヲ福昌寺ニ土葬ス松平重就使者、中陰法延ニ代參ス大円寺ニ重年ノ中陰覺儀ヲ修ス

一六八八 (記事) 島津忠紀祭文

一六八九 島津久定祭文

一六九〇 島津久亮祭文

一六九一 島津久馮祭文

一六九二 島津久茂祭文

一六九三 種子島久芳祭文

一六九四 島津久柄祭文

一六九五 島津貴備祭文

一六九六 島津久尚祭文

一六九七 (寶曆五年) 八月 廿三日 堀田正亮書狀

一六九八 (寶曆五年) 八月 廿三日 秋元涼朝書狀

一六九九 (寶曆五年) 八月 廿三日 堀田正亮書狀

一七〇〇 (寶曆五年) 八月 廿三日 秋元涼朝書狀

一七〇一 (寶曆五年) 八月 廿三日 頼山外四名連署消息

一七〇二 (寶曆五年) 八月 廿三日 島津忠洪明細書

一七〇三〔寶曆五年〕 八月廿一日 島津久郷・伊集院久東在府家老 連署書状

一七二五 幕府指圖書

一七〇四〔寶曆五年〕 九月十六日 島津久馮・義岡久中老家 連署返書

一七二六〔寶曆五年〕 九月廿三日 島津忠洪河書

一七〇五 (記事) 近衛内前、重年へ賻銀オクル

一七二七〔寶曆五年〕 九月廿三日 島津久郷・伊集院久東在府家老 連署書状

一七〇六〔寶曆五年〕 九月 六日 島津久馮外二名老家 連署書状

一七二八〔寶曆五年〕 十月廿八日 島津久馮外二名老家 連署返書

一七〇七〔寶曆五年〕 十月廿三日 島津久郷・伊集院久東在府家老 連署返書

一七二九〔寶曆五年〕 十月 四日 島津久郷・伊集院久東在府家老 連署書状

一七〇八〔寶曆五年〕 松しま消息

一七三〇〔寶曆五年〕 十月 七日 松平武元書状

一七〇九〔寶曆五年〕 九月 七日 徳川宗勝書状

一七三一〔寶曆五年〕 十月 七日 秋元涼朝書状

一七一〇〔寶曆五年〕 九月 七日 徳川家重御内書

一七三二〔寶曆五年〕 十月十二日 義岡久中書状

一七一一〔寶曆五年〕 九月 七日 秋元涼朝書状

一七三三〔寶曆五年〕 十一月 九日 島津久郷・伊集院久東在府家老 連署書状

一七一二〔寶曆五年〕 九月 七日 秋元涼朝書状

一七三四〔寶曆五年〕 十月十二日 義岡久中書状

一七一三 (記事) 継豊、忠洪ノ襲封ヲ謝ス

一七三五〔寶曆五年〕 十一月 九日 島津久郷・伊集院久東在府家老 連署書状

一七一四〔寶曆五年〕 九月十五日 島津久郷書状

一七三六〔寶曆五年〕 十月十九日 松平武元書状

一七一五〔寶曆五年〕 十月十二日 島津久馮外二名老家 連署返書

一七三七〔寶曆五年〕 十月廿一日 秋元涼朝書状

一七一六〔寶曆五年〕 九月十五日 島津久郷伊集院久東連署首尾書

一七三八〔寶曆五年〕 十月廿二日 島津久亮外二名在國家老 連署首尾書

一七一七〔寶曆五年〕 十月十二日 島津久馮外二名老家 連署返書

一七三九〔寶曆五年〕 十一月十七日 島津久郷・伊集院久東在府家老 連署返書

一七一八〔寶曆五年〕 九月十五日 島津久郷書状

一七四〇 十月 島津継豊願書案

一七一九〔寶曆五年〕 十月十二日 島津久馮外二名老家 連署返書

一七四一 (記事) 継豊以下忠洪ノ襲封ヲ謝ス

一七二〇〔寶曆五年〕 九月十六日 義岡久中書状

一七四二〔寶曆五年〕 十月廿三日 島津久郷・伊集院久東在府家老 連署書状

一七二一〔寶曆五年〕 十月廿三日 島津久郷・伊集院久東連署返書

一七四三〔寶曆五年〕 十一月廿五日 島津久亮外三名在國家老 連署返書

一七二二〔寶曆五年〕 九月十八日 本多正珍書状

一七四四 幕府目付京極高主等監国ノタメ薩府ニ至ル

一七二三〔寶曆五年〕 九月十八日 秋元涼朝書状

一七四二〔寶曆五年〕 十月廿三日 島津久郷・伊集院久東在府家老 連署書状

一七二四 (記事) 幕府目付京極高主等監国ノタメ薩府ニ至ル

一七四三〔寶曆五年〕 十一月廿五日 島津久亮外三名在國家老 連署返書

一七四四 (寶曆五年) 十月 幕府指圖書

一七四五 (寶曆五年) 十月廿五日 松平武元書狀

一七四六 (寶曆五年) 十月廿五日 秋元涼朝書狀

一七四七 (寶曆五年) せやま外四名連署消息

一七四八 (寶曆五年) 十月廿八日 義岡久中書狀

一七四九 (寶曆五年) 十一月廿四日 島津久郷・伊集院久東在府家老連署返書

一七五〇 (記事) 忠洪、初メテ毎朔条書ヲ下ス

一七五一 (寶曆五年) 十一月 朔日 毎朔条書

一七五二 (寶曆五年) 十一月 朔日 島津重年届書

一七五三 (寶曆五年) 十一月十二日 酒井忠寄書狀

一七五四 (寶曆五年) 十一月十二日 秋元涼朝書狀

一七五五 (寶曆五年) 十一月廿一日 島津忠洪伺書

一七五六 十一月 琉王、封王使へノ贈物例書

一七五七 (寶曆五年) 十一月廿五日 酒井忠寄書狀

一七五八 (寶曆五年) 十一月廿五日 秋元涼朝書狀

一七五九 (寶曆五年) 瀬やま外四名連署消息

一七六〇 (寶曆五年) 十一月廿五日 高橋種寿在園家老首尾書

一七六一 (寶曆六年) 一月 五日 島津久郷・伊集院久東在府家老連署返書

一七六二 (記事) 忠洪、女御入内ニツキ賀使ヲ派ス

一七六三 (記事) 菊姫縫置女嫁ス

一七六四 (寶曆五年) 十二月十五日 島津久亮外四名在園家老連署書狀

一七六五 (寶曆五年) 十二月十八日 西尾忠尚書狀

一七六六 (寶曆五年) 十二月十八日 西尾忠尚書狀

一七六七 (寶曆五年) 十二月十八日 秋元涼朝書狀

一七六八 (寶曆五年) 十二月十八日 西尾忠尚書狀

一七六九 (寶曆五年) 十二月十八日 秋元涼朝書狀

一七七〇 (寶曆五年) 十二月廿七日 徳川家重御内書

一七七一 (寶曆五年) 十二月廿七日 秋元涼朝書狀

一七七二 (寶曆五年) 十二月廿七日 秋元涼朝書狀

一七七三 (寶曆六年) 一月 一日 島津忠洪吉書

一七七四 (寶曆六年) 一月 五日 島津久郷・伊集院久東在府家老連署返書

一七七五 (寶曆六年) 二月十一日 首尾書

一七七六 (寶曆六年) 一月 七日 島津久亮外四名在園家老連署返書

一七七七 (寶曆六年) 一月 七日 本多正珍書狀

一七七七 (寶曆六年) 一月 七日 秋元涼朝書狀

一七七八 (寶曆六年) 一月 七日 本多正珍書狀

一七七九 (寶曆六年) 一月 七日 秋元涼朝書狀

一七八〇 (記事) 忠洪、初メテ吉書式ヲ行フ

一七八一 (寶曆六年) 一月十一日 島津忠洪吉書

一七八二 (寶曆六年) 一月十二日 堀田正亮外四名幕府家老連署狀

一七八三 (寶曆六年) 一月十二日 秋元涼朝書狀

一七八四 (寶曆六年) 一月十二日 本多正珍書狀

一七八五 (寶曆六年) 一月十二日 秋元涼朝書狀

一七八六 (記事) 繼豊、御鷹ノ鶴ヲ拜領シ礼使ヲ派ス

一七八七 (寶曆六年) 一月十五日 堀田正亮外四名幕府家老連署狀

一七八八 (寶曆六年) 一月十五日 本多正珍宿次証文

一七八九(寶曆六年) 瀬やま外四名連署消息

一七九〇 (記事) 継豊、国目付両使ヲ厚遇ス

一七九一 (記事) 信證院御室薩府ニ逝去ス

一七九二(寶曆六年) 一月 晦日 島津久馮外二名在國連署書狀

一七九三(寶曆六年) 二月 廿九日 島津久郷・伊集院久東在府連署返書

一七九四(寶曆六年) 二月 六日 堀田正亮書狀

一七九五(寶曆六年) 二月 六日 秋元涼朝書狀

一七九六 継豊、女御入内ヲ慶賀ス (記事)

一七九七(寶曆六年) 二月 十一日 堀田正亮書狀

一七九八(寶曆六年) 二月 十一日 秋元涼朝書狀

一七九九(寶曆六年) 二月 十一日 瀬やま外四名連署消息

一八〇〇(寶永六年) 二月 十一日 高橋種寿書狀

一八〇一 三月 八日 島津久郷・伊集院久東在府連署返書

一八〇二(寶曆六年) 二月 十九日 堀田正亮書狀

一八〇三(寶曆六年) 二月 十九日 秋元涼朝書狀

一八〇四(寶永六年) 二月 廿六日 島津忠洪同書

一八〇五(寶永六年) 二月 廿九日 島津久郷・伊集院久東在府連署書狀

一八〇六 四月 廿八日 島津久亮外四名連署返書

一八〇七(寶曆六年) 三月 十九日 松平武元書狀

一八〇八(寶曆六年) 三月 廿二日 島津忠洪願書

一八〇九(寶曆六年) 三月 廿五日 秋元涼朝書狀

一八一〇(寶曆六年) 三月 廿五日 高橋種寿書狀

一八一二(寶曆六年) 四月 廿一日 島津久郷・伊集院久東在府連署返書

一八一三(寶曆六年) 三月 廿八日 今婦仁朝義琉球王子起請文前書

一八一四(寶曆六年) 三月 廿九日 松平武元書狀

一八一五(寶曆六年) 四月 三日 西尾忠尚書狀

一八一六(寶曆六年) 四月 三日 秋元涼朝書狀

一八一七(寶曆六年) 四月 三日 西尾忠尚書狀

一八一八(寶曆六年) 四月 五日 伊集院久東書狀

一八一九(寶永六年) 六月 七日 島津久亮外三名在國連署返書

一八二〇(寶曆六年) 四月 五日 高橋種寿申渡書

一八二一(寶曆六年) 四月 六日 伊地知季置書狀

一八二二(寶永六年) 四月 六日 西尾忠尚書狀

一八二三(寶曆六年) 四月 七日 堀田正亮外四名在府連署書狀

一八二四(寶曆六年) 四月 八日 秋元涼朝書狀

一八二五(寶曆六年) 四月 九日 秋元涼朝書狀

一八二六(寶曆六年) 四月 十六日 岩下方峯・佐久間村央連署書狀

一八二七(寶曆六年) 四月 十六日 岩下方峯・佐久間村央連署書狀

一八二八(寶曆六年) 四月 十九日 秋元涼朝書狀

一八二九(寶曆六年) 四月 十九日 島津忠洪願書

一八三〇(寶曆六年) 四月 廿二日 西尾忠尚書狀

一八三一(寶曆六年) 四月 廿二日 秋元涼朝書狀

一八三二 (記事) 幕府、国目付ヲ薩府ニ派ス

一八三三 四月 島津継豊達書寫

一八三四 四月 高橋種寿外三名在國連署条書

一八三五〔寶曆六年〕 五月 二日 徳川家重御内書

一八三六〔寶曆六年〕 五月 二日 秋元涼朝書狀

一八三七〔寶曆六年〕 五月 二日 秋元涼朝書狀

一八三八〔寶曆六年〕 五月 廿一日 島津繼豊書狀

一八三九〔寶曆六年〕 五月 廿二日 酒井忠寄書狀

一八四〇〔寶曆六年〕 五月 廿二日 秋元涼朝書狀

一八四一〔寶曆六年〕 六月 十一日 本多正珍書狀

一八四二〔寶曆六年〕 六月 十一日 秋元涼朝書狀

一八四三 (記事) 忠洪、因目付両使ヲ饗応ス

一八四四〔寶曆六年〕 六月 十四日 高橋種寿在國書狀

一八四五〔寶曆六年〕 七月 廿一日 義岡久中・伊集院久東在府家老連署返書

一八四六 (記事) 重年中陰ニ、島津久峯・向久起祭文ヲ献ス

一八四七 島津久峯祭文

一八四八 島津久起祭文

一八四九 (記事) 忠洪、重年ノ遺物ヲ有司知己ニ贈呈ス
高橋(瑞毛)重年ノ靈前ニ祭文・經典ヲ献ス

一八五〇 尚穆(琉球王) 祭文

一八五一 (記事) 監国使城下東照宮等ニ初参ス

一八五二〔寶曆六年〕 六月 廿五日 本多正珍書狀

一八五三〔寶曆六年〕 六月 廿五日 秋元涼朝書狀

一八五四〔寶曆六年〕 六月 廿五日 本多正珍書狀

一八五五〔寶曆六年〕 六月 廿七日 本多正珍書狀

一八五六〔寶曆六年〕 六月 廿七日 秋元涼朝書狀

一八五七〔寶曆六年〕 六月 廿七日 本多正珍書狀

一八五八〔寶曆六年〕 六月 廿七日 秋元涼朝書狀

一八五九〔寶曆六年〕 七月 三日 堀田正亮書狀

一八六〇〔寶曆六年〕 七月 三日 秋元涼朝書狀

一八六一 (記事) 兩監国使領内ヲ巡見ス

一八六二〔寶曆六年〕 七月 六日 堀田正亮外二名幕府老中連署狀

一八六三〔寶曆六年〕 七月 六日 秋元涼朝書狀

一八六四〔寶曆六年〕 七月 六日 堀田正亮書狀

一八六五〔寶曆六年〕 七月 六日 秋元涼朝書狀

一八六六 (記事) 重年母免於登ヲ「様付」トス

一八六七〔寶曆六年〕 八月 二日 堀田正亮書狀

一八六八〔寶曆六年〕 八月 二日 秋元涼朝書狀

一八六九〔寶曆六年〕 八月 二日 堀田正亮書狀

一八七〇〔寶曆六年〕 八月 二日 秋元涼朝書狀

一八七一〔寶曆六年〕 八月 四日 松平武元書狀

一八七二〔寶曆六年〕 八月 四日 秋元涼朝書狀

一八七三〔寶曆六年〕 八月 廿二日 松平武元書狀

一八七四〔寶曆六年〕 九月 六日 酒井忠寄書狀

一八七五〔寶曆六年〕 九月 六日 秋元涼朝書狀

一八七六〔寶曆六年〕 九月 七日 徳川家重御内書

一八七七〔寶曆六年〕 九月 七日 秋元涼朝書狀

一八七八〔寶曆六年〕 九月 七日 秋元涼朝書狀

一八七九〔寶曆六年〕 九月 廿六日 酒井忠寄書狀

一八八〇〔寶曆六年〕 九月 廿七日 秋元涼朝書狀

一八八一〔寶曆六年〕 せやま外四名連署消息

一八八二〔寶曆六年〕 九月 晦日 高橋種寿在國家老

一八八三〔寶曆六年〕 十一月 朔日 島津久亮・義岡久中在府家老連署返書

- 一八八四(寶曆六年) 十月 二日 西尾忠尚書狀
- 一八八五(寶曆六年) 十月 二日 秋元涼朝書狀
- 一八八六 (記事) 忠洪、兩監国使ヲ招請懇応ス
- 一八八七(寶曆六年) 十月廿四日 高橋種壽書狀
- 一八八八(寶曆六年) 十一月廿六日 島津久亮・義岡久中在府連署返書家老
- 一八八九 (記事) 目付、任滿チテ帰府ス
- 一八九〇(寶曆六年) 十一月 三日 高橋種壽書狀
- 一八九一(寶曆六年) 閏十一月十一日 島津久亮・義岡久中在府連署返書家老
- 一八九二(寶曆六年) 十一月 三日 高橋種壽在府書家老 首尾書
- 一八九三(寶曆六年) 閏十一月十一日 島津久亮・義岡久中在府連署返書家老
- 一八九四(寶曆六年) 十一月十二日 本多正珍書狀
- 一八九五(寶曆六年) 十一月十二日 秋元涼朝書狀
- 一八九六(寶曆六年) 十一月廿三日 堀田正亮書狀
- 一八九七(寶曆六年) 十一月廿三日 秋元涼朝書狀
- 一八九八(寶曆六年) 十一月廿三日 堀田正亮書狀
- 一八九九(寶曆六年) 十一月廿三日 秋元涼朝書狀
- 一九〇〇(寶曆六年) 閏十一月廿四日 島津久亮・義岡久中在府連署首尾書
- 一九〇一(寶曆六年) 十二月廿八日 島津久馮外三名在府連署返書家老
- 一九〇二(寶曆六年) 閏十二月廿八日 堀田正亮書狀
- 一九〇三(寶曆六年) 閏十二月廿八日 高橋種壽書狀
- 一九〇四(寶曆七年) 一月廿九日 島津久亮・義岡久中在府連署返書家老
- 一九〇五(寶曆六年) 十二月 六日 松平武元書狀
- 一九〇六(寶曆六年) 十二月 六日 秋元涼朝書狀
- 一九〇七(寶曆六年) 十二月 六日 せやま外四名連署消息
- 一九〇八(寶曆六年) 十二月 六日 松平武元書狀
- 一九〇九(寶曆六年) 十二月 六日 秋元涼朝書狀
- 一九一〇(寶曆六年) 十二月廿五日 松平武元書狀
- 一九一一(寶曆六年) 十二月廿五日 秋元涼朝書狀
- 一九一二 十二月廿七日 徳川家重御内書
- 一九一三(寶曆六年) 十二月廿七日 秋元涼朝書狀
- 一九一四(寶曆六年) 十二月廿七日 秋元涼朝書狀
- 一九一五 寶曆七年 一月 一日 島津忠洪吉書
- 一九一六(寶曆七年) 一月 七日 酒井忠寄書狀
- 一九一七(寶曆七年) 一月 七日 秋元涼朝書狀
- 一九一八(寶曆七年) 一月 七日 酒井忠寄書狀
- 一九一九(寶曆七年) 一月 七日 秋元涼朝書狀
- 一九二〇(寶曆七年) 一月 九日 酒井忠寄書狀
- 一九二一(寶曆七年) 一月 九日 秋元涼朝書狀
- 一九二二(寶曆七年) 一月十一日 堀田正亮外四名在府連署狀家老
- 一九二三(寶曆七年) 一月十一日 秋元涼朝書狀
- 一九二四 寶曆七年 一月十一日 島津忠洪吉書
- 一九二五(寶曆七年) 一月十一日 酒井忠寄書狀
- 一九二六(寶曆七年) 一月十一日 秋元涼朝書狀
- 一九二七(寶曆七年) 二月 六日 西尾忠尚書狀
- 一九二八(寶曆七年) 二月 六日 秋元涼朝書狀
- 一九二九 (記事) 忠洪、忠昌二百五十年忌法事ヲ修ス
- 一九三〇(寶曆七年) 三月 二日 本多正珍書狀
- 一九三一(寶曆七年) 三月 二日 秋元涼朝書狀

- 一九三二 (寶曆七年) 三月 三日 島津忠洪疏
- 一九三三 (寶曆七年) 三月 廿八日 本多正珍書狀
- 一九三四 (寶曆七年) 三月 廿八日 秋元涼朝書狀
- 一九三五 (寶曆七年) 四月 五日 島津忠洪願書
- 一九三六 (寶曆七年) 四月 廿七日 堀田正亮書狀
- 一九三七 (寶曆七年) 四月 廿七日 秋元涼朝書狀
- 一九三八 (寶曆七年) 四月 廿九日 秋元涼朝書狀
- 一九三九 (寶曆七年) 五月 四日 徳川家重御内書
- 一九四〇 (寶曆七年) 五月 四日 秋元涼朝書狀
- 一九四一 (寶曆七年) 五月 四日 秋元涼朝書狀
- 一九四二 (寶曆七年) 五月 四日 島津繼豊請書
- 一九四三 (寶曆七年) 六月 六日 酒井忠寄書狀
- 一九四四 (寶曆七年) 六月 六日 秋元涼朝書狀
- 一九四五 (寶曆七年) 六月 七日 酒井忠寄書狀
- 一九四六 (寶曆七年) 六月 七日 秋元涼朝書狀
- 一九四七 (寶曆七年) 六月 六日 酒井忠寄書狀
- 一九四八 (寶曆七年) 六月 六日 秋元涼朝書狀
- 一九四九 (寶曆七年) 六月 九日 島津忠洪同書
- 一九五〇 (寶永七年) 六月 十二日 酒井忠寄書狀
- 一九五一 (寶曆七年) 六月 十二日 秋元涼朝書狀
- 一九五二 (寶曆七年) 六月 十八日 酒井忠寄書狀
- 一九五三 (寶曆七年) 六月 廿六日 酒井忠寄書狀
- 一九五四 (寶曆七年) 七月 六日 堀田正亮外三名^{老中}連署狀
- 一九五五 (寶曆七年) 七月 六日 秋元涼朝書狀
- 一九五六 (寶曆七年) 七月 六日 西尾忠尚書狀
- 一九五七 (寶曆七年) 七月 六日 秋元涼朝書狀
- 一九五八 (寶曆七年) 七月 十二日 西尾忠尚書狀
- 一九五九 (寶曆七年) 七月 十二日 秋元涼朝書狀
- 一九六〇 (寶曆七年) 七月 十三日 西尾忠尚書狀
- 一九六一 (寶曆七年) 七月 廿日 本多正珍書狀
- 一九六二 (寶曆七年) (記事) 忠洪、農民ヲ褒賞ス
- 一九六三 (寶曆七年) 八月 四日 松平武元書狀
- 一九六四 (寶曆七年) 八月 四日 秋元涼朝書狀
- 一九六五 (寶曆七年) (記事) 忠洪、実母追善ノ供養ヲナス
- 一九六六 (寶曆七年) 九月 七日 堀田正亮書狀
- 一九六七 (寶曆七年) 九月 七日 秋元涼朝書狀
- 一九六八 (寶曆七年) 九月 七日 徳川家重御内書
- 一九六九 (寶曆七年) 九月 七日 秋元涼朝書狀
- 一九七〇 (寶曆七年) 九月 七日 秋元涼朝書狀
- 一九七一 (寶曆七年) 九月 八日 堀田正亮書狀
- 一九七二 (寶曆七年) 九月 廿八日 島津久郷^{在府}書狀
- 一九七三 (寶曆七年) 十月 廿八日 島津久亮外四名^{在園}連署返書
- 一九七四 (寶曆七年) 九月 廿八日 島津久郷^{在府}書狀
- 一九七五 (寶曆七年) 十月 義岡久中首尾書
- 一九七六 (寶曆七年) 十月 十六日 伊地知季置書狀
- 一九七七 (寶曆七年) 十月 廿八日 島津久亮外四名^{在園}連署返書
- 一九七八 (寶曆七年) 十月 廿七日 桂久中大目付卜ナル
- 一九七九 (寶曆七年) (記事) 忠洪、綱吉ノ五十年忌ニ香奠ヲ献ス

- 一九八〇 (寶曆七年) 十一月十五日 酒井忠寄書狀
- 一九八一 (寶曆七年) 十一月十五日 秋元涼朝書狀
- 一九八二 (寶曆七年) 十二月 六日 西尾忠尚書狀
- 一九八三 (寶曆七年) 十二月 六日 秋元涼朝書狀
- 一九八四 (寶曆七年) 十二月十五日 西尾忠尚書狀
- 一九八五 (寶曆七年) 十二月十五日 西尾忠尚書狀
- 一九八六 (寶曆七年) 十二月十九日 秋元涼朝書狀
- 一九八七 (寶曆七年) 十二月廿七日 徳川家重御内書
- 一九八八 (寶曆七年) 十二月廿七日 秋元涼朝書狀
- 一九八九 (寶曆七年) 十二月廿七日 秋元涼朝書狀
- 一九九〇 (寶曆八年) 一月 一日 島津忠洪吉書
- 一九九一 (寶曆八年) 一月 七日 本多正珍書狀
- 一九九二 (寶曆八年) 一月 七日 秋元涼朝書狀
- 一九九三 (寶曆八年) 一月 七日 本多正珍書狀
- 一九九四 (寶曆八年) 一月 七日 秋元涼朝書狀
- 一九九五 (寶曆八年) 一月十一日 島津忠洪吉書
- 一九九六 (寶曆八年) 一月十九日 堀田正亮外三名_{幕府}連署狀
- 一九九七 (寶曆八年) 一月十九日 秋元涼朝書狀
- 一九九八 (寶曆八年) 一月十九日 本多正珍書狀
- 一九九九 (寶曆八年) 一月十九日 秋元涼朝書狀
- 二〇〇〇 (寶曆八年) 一月廿八日 島津久亮_{在國}書狀
- 二〇〇一 (寶曆八年) 六月十三日 島津久郷・高橋種寿_{在府}連署返書
- 二〇〇二 (寶曆八年) 一月廿八日 義岡久中書狀
- 二〇〇三 (寶曆八年) 三月廿二日 島津久郷・高橋種寿_{在府}連署返書
- 二〇〇四 (寶曆八年) 二月 四日 堀田正亮書狀
- 二〇〇五 (寶曆八年) 二月 四日 秋元涼朝書狀
- 二〇〇六 (寶曆八年) 二月廿六日 堀田正亮書狀
- 二〇〇七 (寶曆八年) 二月廿七日 秋元涼朝書狀
- 二〇〇八 (寶曆八年) 三月廿二日 樺山久智外二名_{在府}連署書狀
- 二〇〇九 (寶曆八年) 四月廿二日 島津久亮外三名_{在國}連署返書
- 二〇一〇 (寶曆八年) 四月 五日 島津忠洪同書
- 二〇一一 (寶曆八年) 四月十六日 本多正珍書狀
- 二〇一二 (寶曆八年) 四月十六日 秋元涼朝書狀
- 二〇一三 (寶曆八年) 四月十八日 堀田正亮外四名_{幕府}連署狀
- 二〇一四 (寶曆八年) 四月十八日 登城令書
- 二〇一五 (寶曆八年) (記事) 継豊、忠洪・家臣ノ拝謁ヲ謝ス
- 二〇一六 (寶曆八年) (記事) 忠洪登營シ將軍父子ニ拝謁ス
- 二〇一七 (寶曆八年) (記事) 忠洪、家重・家治ニ謁ス
- 二〇一八 (寶曆八年) 四月廿三日 島津忠洪書狀
- 二〇一九 (寶曆八年) 四月廿四日 樺山久智外二名_{在府}連署書狀
- 二〇二〇 (寶曆八年) 四月十八日 島津忠洪御目見一件
- (の二) 登城令書
- (の三) (寶曆八年) 四月十八日 島津忠洪請書
- (の四) (寶曆八年) 四月十八日 島津忠洪請書
- (の五) (寶曆八年) 四月 進上物書上
- (の六) (寶曆八年) 四月 家臣進上物書上
- 二〇二一 (寶曆八年) 五月十八日 島津久亮外三名_{在國}連署返書
- 二〇二二 (寶曆八年) 四月廿四日 樺山久智外二名_{在府}連署書狀
- 二〇二三 (寶曆八年) 五月十八日 島津久亮外三名_{在國}連署返書

- 二〇二四 (寶曆八年) 四月 島津忠洪伺書
- 二〇二五 (寶曆八年) 四月廿四日 樺山久智外二名在府家老連署書狀
- 二〇二六 (寶曆八年) 五月廿一日 島津久亮外三名在府家老連署返書
- 二〇二七 (寶曆八年) 四月廿七日 秋元涼朝書狀
- 二〇二八 (寶曆八年) 四月廿七日 本多正珍書狀
- 二〇二九 (寶曆八年) 四月廿七日 秋元涼朝書狀
- 二〇三〇 (寶曆八年) 五月二日 德川家重御內書
- 二〇三一 (寶曆八年) 五月二日 秋元涼朝書狀
- 二〇三二 (寶曆八年) 五月二日 德川家重御內書
- 二〇三三 (寶曆八年) 五月二日 秋元涼朝書狀
- 二〇三四 (寶曆八年) 五月六日 島津繼豐書狀
- 二〇三五 (寶曆八年) 五月八日 樺山久智外二名在府家老連署書狀
- 二〇三六 (寶曆八年) 五月十九日 島津久亮外三名在府家老連署返書
- 二〇三七 (寶曆八年) 五月十九日 西尾忠尚書狀
- 二〇三八 (寶曆八年) 五月廿一日 秋元涼朝書狀
- 二〇三九 (寶曆八年) 六月六日 酒井忠寄書狀
- 二〇四〇 (寶曆八年) 六月六日 秋元涼朝書狀
- 二〇四一 (寶曆八年) 六月六日 幕府指図書
- 二〇四二 (寶曆八年) 六月三日 島津忠洪屆書
- 二〇四三 (寶曆八年) 六月三日 島津忠洪伺書
- 二〇四四 (寶曆八年) 幕府指図書
- 二〇四五 (寶曆八年) 島津忠洪御目見次第書
- 二〇四六 (寶曆八年) 六月十二日 堀田正亮外三名在府家老連署狀
- 二〇四七 (寶曆八年) (記事) 忠洪、家重・家治ニ謁シ元服ス
- 二〇四八 寶曆八年 六月十三日 島津重豪諱字勘文
- 二〇四九 (記事) 繼豐、重豪ノ元服叙位任官ヲ謝ス
- 二〇五〇 寶曆八年 六月十三日 德川家重一字狀
- 二〇五一 寶曆八年 六月十三日 島津重豪叙從四位下口宣案
- 二〇五二 寶曆八年 六月十三日 島津重豪任左近衛權少將口宣案
- 二〇五三 寶曆八年 六月十三日 島津重豪叙從四位下位記
- 二〇五四 寶曆八年 六月十三日 島津重豪叙任上卿職事交名
- 二〇五五 寶曆八年 六月十三日 島津重豪任侍從口宣案
- 二〇五六 寶曆八年 六月十三日 島津重豪任侍從宣旨
- 二〇五七 寶曆八年 六月十三日 島津重豪任薩摩守口宣案
- 二〇五八 寶曆八年 六月十三日 島津重豪任薩摩守宣旨
- 二〇五九 寶曆八年 六月十三日 島津重豪叙從五位下口宣案
- 二〇六〇 寶曆八年 六月十三日 島津重豪任左近衛少將口宣案
- 二〇六一 寶曆八年 六月十三日 島津重豪叙從五位下位記
- 二〇六二 寶曆八年 六月十三日 島津重豪叙任上卿職事交名
- 二〇六三 寶曆八年 六月十三日 島津重豪叙任上卿職事交名
- 二〇六四 寶曆八年 六月十五日 飛鳥井雅香紫綯冠懸免許狀
- 二〇六五 (寶曆八年) 六月十五日 島津重豪明細書
- 二〇六六 (寶曆八年) 六月十五日 島津重豪願書
- 二〇六七 寶曆八年 六月廿二日 家老座賞書
- 二〇六八 (寶曆八年) 六月廿二日 酒井忠寄書狀
- 二〇六九 (寶曆八年) 六月廿二日 秋元涼朝書狀
- 二〇七〇 (寶曆八年) 六月廿二日 酒井忠寄書狀
- 二〇七一 (寶曆八年) 六月廿二日 秋元涼朝書狀
- 二〇七二 (記事) 島津重豪花押

- 二〇七三(寶曆八年) 六月廿四日 本多正珍書狀
- 二〇七四(寶曆八年) 六月廿八日 酒井忠寄書狀
- 二〇七五(寶曆八年) 六月廿八日 秋元涼朝書狀
- 二〇七六(寶曆八年) 六月廿九日 酒井忠寄書狀
- 二〇七七 (記事) 重豪、五節句・月次ノ登城ヲ請
フ
- 二〇七八(寶曆八年) 六月 晦日 島津重豪届書
- 二〇七九 (記事) 繼豊、重豪ノ袖留ヲ賀ス
- 二〇八〇(寶曆八年) 七月 二日 堀田正亮書狀
- 二〇八一(寶曆八年) 七月 二日 秋元涼朝書狀
- 二〇八二(寶曆八年) 七月 六日 堀田正亮外三名幕府連署狀
- 二〇八三(寶曆八年) 七月 六日 秋元涼朝書狀
- 二〇八四(寶曆八年) 七月 六日 堀田正亮書狀
- 二〇八五(寶曆八年) 七月 六日 秋元涼朝書狀
- 二〇八六 (記事) 重豪、片服・任官ヲ神前ニ告ク
重豪御鷹ノ雲書ヲ拜領ス
- 二〇八七(寶曆八年) 八月 四日 酒井忠寄書狀
- 二〇八八(寶曆八年) 八月 四日 秋元涼朝書狀
- 二〇八九(寶曆八年) 八月十九日 松平武元書狀
- 二〇九〇(寶曆八年) 八月十九日 秋元涼朝書狀
- 二〇九一(寶曆八年) せやま外四名連署消息
- 二〇九二(寶曆八年) せやま外四名連署消息
- 二〇九三(寶曆八年) せやま外四名連署消息
- 二〇九四(寶曆八年) 九月 五日 酒井忠寄書狀
- 二〇九五 (記事) 繼豊、重豪ノ首服・任官ヲ賀ス
- 二〇九六 九月 七日 徳川家重御内書
- 二〇九七(寶曆八年) 九月 七日 秋元涼朝書狀
- 二〇九八(寶曆八年) 九月 七日 徳川家重御内書
- 二〇九九(寶曆八年) 九月 七日 秋元涼朝書狀
- 二一〇〇(寶曆八年) 九月十三日 酒井忠寄書狀
- 二一〇一(寶曆八年) 九月十三日 秋元涼朝書狀
- 二一〇二(寶曆八年) 九月廿二日 酒井忠寄書狀
- 二一〇三(寶曆八年) 九月廿二日 秋元涼朝書狀
- 二一〇四 寶曆八年 九月廿七日 桃園天皇女房奉書
- 二一〇五 寶曆八年 九月 島津久亮外四名幕府連署申渡書
- 二一〇六(寶曆八年) せやま外四名連署消息
- 二一〇七(寶曆八年) 瀬山外四名連署消息
- 二一〇八(寶曆八年) 瀬やま外四名連署消息
- 二一〇九(寶曆八年) せやま外四名連署消息
- 二一〇(寶曆八年) 堀田正亮書狀
- 二一一(寶曆八年) 十月 廿日 堀田正亮書狀
- 二一二(寶曆八年) 十一月 朔日 西尾忠尚書狀
- 二一三 寶曆八年 十一月 朔日 秋元涼朝書狀
- 二一四 寶曆八年 十一月 六日 島津重豪公帖
- 二一五(寶曆八年) せやま外四名連署消息
- 二一六(寶曆八年) せやま外四名連署消息
- 二一七 (記事) 瀬山外四名連署消息
- 二一八(寶曆八年) 十二月十四日 重豪殿封後初メテ御鷹ノ鶴拜領ス
伊勢良矩、家重ニ拜領ス
- 二一九 (記事) 堀田正亮外四名幕府連署狀
- 二二〇(寶曆八年) 十二月 六日 繼豊、御鷹ノ鶴拜領シ礼謝ス
- 二二一(寶曆八年) 十二月 六日 堀田正亮外四名幕府連署狀
- 二二二(寶曆八年) 十二月 六日 松平武元宿次証文

- 二二二 (寶曆八年) 十二月 十日 松平武元書狀
- 二二三 (寶曆八年) 十二月十二日 松平武元書狀
- 二二四 (寶曆八年) 十二月十八日 松平武元書狀
- 二二五 (寶曆八年) 十二月十八日 秋元涼朝書狀
- 二二六 (寶曆八年) 十二月十八日 松平武元書狀
- 二二七 (寶曆八年) 十二月十八日 秋元涼朝書狀
- 二二八 (寶曆八年) 十二月廿三日 松平武元書狀
- 二二九 十二月廿七日 徳川家重御内書
- 二三〇 (寶曆八年) 十二月廿七日 秋元涼朝書狀
- 二三一 (寶曆八年) 十二月廿七日 徳川家重御内書
- 二三二 (寶曆八年) 十二月廿七日 秋元涼朝書狀
- 二三三 寶曆九年 一月 一日 島津重豪吉書
- 二三四 一月 三日 島津重豪口上書并添書
- 二三五 (寶曆九年) 一月 七日 酒井忠寄書狀
- 二三六 (寶曆九年) 一月 七日 秋元涼朝書狀
- 二三七 (寶曆九年) 一月 七日 酒井忠寄書狀
- 二三八 (寶曆九年) 一月 七日 秋元涼朝書狀
- 二三九 寶曆九年 一月 十一日 島津重豪吉書
- 二四〇 (寶曆九年) 一月 十五日 本多正珍書狀
- 二四一 (寶曆九年) 一月 廿一日 堀田正亮外三名幕府連署狀
- 二四二 (寶曆九年) 一月 廿一日 秋元涼朝書狀
- 二四三 (寶曆九年) 二月 五日 久世広氏屈書
- 二四四 (寶曆九年) 二月 六日 西尾忠尚書狀
- 二四五 (寶曆九年) 二月 六日 秋元涼朝書狀
- 二四六 寶曆九年 二月 六日 島津重豪公帖

- 二四七 寶曆九年 二月 六日 島津重豪公帖
- 二四八 (寶曆九年) 二月十六日 近衛内前書狀
- 二四九 (寶曆九年) 二月廿日 西尾忠尚書狀
- 二五〇 (寶曆九年) 二月 晦日 西尾忠尚書狀
- 二五一 (寶曆九年) 三月 朔日 西尾忠尚書狀
- 二五二 (寶曆九年) 三月 朔日 秋元涼朝書狀
- 二五三 (寶曆九年) 三月 朔日 西尾忠尚書狀
- 二五四 (寶曆九年) 三月 朔日 秋元涼朝書狀
- 二五五 (寶曆九年) 三月 朔日 西尾忠尚書狀
- 二五六 (寶曆九年) 三月 朔日 西尾忠尚書狀
- 二五七 (寶曆九年) 三月 朔日 秋元涼朝書狀
- 二五八 (寶曆九年) 三月 二日 堀田正亮書狀
- 二五九 (寶曆九年) 三月 二日 秋元涼朝書狀
- 二六〇 (寶曆九年) 三月 二日 せやま外四名連署消息
- 二六一 寶曆九年 三月 六日 島津重豪公帖
- 二六二 幕府許可狀
- 二六三 (寶曆九年) 三月十二日 堀田正亮書狀
- 二六四 (寶曆九年) 三月十二日 堀田正亮書狀
- 二六五 (寶曆九年) 三月十三日 堀田正亮外四名幕府連署狀
- 二六六 (寶曆九年) 三月十三日 秋元涼朝書狀
- 二六七 (寶曆九年) 三月十三日 せやま外四名連署消息
- 二六八 (記事) 重豪、保姫徳川宗トノ縁組ヲ許サル

- 二六九 (寶曆九年) 三月廿二日 秋元涼朝書狀
- 二七〇 (寶曆九年) 三月 島津継豊請書

- 二二七一 (寶曆九年) 三月廿五日 島津重豪願書
- 二二七二 (寶曆九年) 四月 二日 松平輝高書狀
- 二二七三 (寶曆九年) 四月 二日 松平輝高書狀
- 二二七四 (寶曆九年) 四月 二日 秋元涼朝書狀
- 二二七五 (寶曆九年) 四月 七日 島津重豪願書
- 二二七六 四月 七日 久世広氏屈書
- 二二七七 (記事) 重豪、増上寺火之番卜ナル
- 二二七八 (寶曆九年) 四月十六日 堀田正亮外四名幕府連署狀
- 二二七九 (寶曆九年) 四月廿二日 松平輝高書狀
- 二二八〇 (寶曆九年) 四月廿二日 秋元涼朝書狀
- 二二八一 (寶曆九年) 四月廿五日 堀田正亮外四名幕府連署狀
- 二二八二 (記事) 幕府、重豪ノ又從姉妹ヲ島津久柄佐土原城主ニ娶ラシム
- 二二八三 (寶曆九年) 四月廿七日 島津繼豊請書
- 二二八四 五月 二日 徳川家重御内書
- 二二八五 (寶曆九年) 五月 二日 秋元涼朝書狀
- 二二八六 (寶曆九年) 五月 二日 徳川家重御内書
- 二二八七 (寶曆九年) 五月 二日 秋元涼朝書狀
- 二二八八 (寶曆九年) 五月十二日 松平武元書狀
- 二二八九 (寶曆九年) 五月廿七日 島津繼豊内意書
- 二二九〇 (寶曆九年) 五月廿七日 島津重豪公帖
- 二二九一 (寶曆九年) 五月廿七日 島津重豪公帖
- 二二九二 (寶曆九年) 六月廿四日 松平輝高書狀
- 二二九三 (記事) 繼豊、お黨島津貴ノ縁組ヲ謝ス
- 二二九四 (寶曆九年) 六月廿七日 酒井忠寄書狀
- 二二九五 (寶曆九年) 六月廿七日 秋元涼朝書狀
- 二二九六 (寶曆九年) 七月 朔日 島津重豪加冠仮名書出
- 二二九七 (寶曆九年) 七月 朔日 島津重豪加冠仮名書出
- 二二九八 (寶曆九年) 七月 朔日 島津重豪加冠仮名書出
- 二二九九 (寶曆九年) 七月 朔日 島津重豪加冠仮名書出
- 二三〇〇 (寶曆九年) 七月 朔日 島津重豪加冠仮名書出
- 二三〇一 (寶曆九年) 七月 朔日 島津重豪加冠仮名書出
- 二三〇二 (寶曆九年) 七月 朔日 島津重豪加冠仮名書出
- 二三〇三 (寶曆九年) 七月 朔日 島津重豪加冠仮名書出
- 二三〇四 (寶曆九年) 七月 朔日 島津重豪加冠仮名書出
- 二三〇五 (寶曆九年) 七月 朔日 島津重豪加冠仮名書出
- 二三〇六 (寶曆九年) 七月 二日 西尾忠尚書狀
- 二三〇七 (寶曆九年) 七月 二日 秋元涼朝書狀
- 二三〇八 (寶曆九年) 七月 二日 西尾忠尚書狀
- 二三〇九 (寶曆九年) 七月 二日 西尾忠尚書狀
- 二三一〇 (寶曆九年) 七月 二日 秋元涼朝書狀
- 二三一一 (記事) 重豪襲封ニ付、諸社へ代參セシム
- 二三一二 (記事) 重豪、御鷹ノ雲雀拜領ス
- 二三二三 (寶曆九年) 七月 六日 堀田正亮外四名幕府連署狀
- 二三二四 (寶曆九年) 七月 六日 秋元涼朝書狀
- 二三二五 (寶曆九年) 七月 六日 西尾忠尚書狀
- 二三二六 (寶曆九年) 七月 六日 秋元涼朝書狀
- 二三二七 (寶曆九年) 七月 六日 西尾忠尚書狀
- 二三二八 (寶曆九年) 七月 六日 秋元涼朝書狀

二二二九 (寶曆九年) 七月十八日 菱刈実詮外三名^老連署証狀

二二三〇 (寶曆九年) 七月廿六日 西尾忠尚書狀

二二三一 (寶曆九年) 七月廿七日 秋元涼朝書狀

二二三二 (寶曆九年) せやま外四名連署消息

二二三三 (寶曆九年) せやま外四名連署消息

二二三四 (寶曆九年) 閏七月十三日 堀田正亮書狀

二二三五 (寶曆九年) 閏七月十五日 秋元涼朝書狀

二二三六 (寶曆九年) 八月十八日 島津重豪書狀

二二三七 (寶曆九年) 八月十八日 島津重豪書狀

二二三八 (寶曆九年) 八月十八日 島津重豪書狀

二二三九 (寶曆九年) 八月十八日 島津重豪書狀

二二四〇 (寶曆九年) 八月十八日 島津重豪書狀

二二四一 (寶曆九年) 八月十八日 島津重豪書狀

二二四二 (寶曆九年) 八月十八日 島津重豪書狀

二二四三 (寶曆九年) 八月 島津重豪書狀

二二四四 (寶曆九年) 八月 松平武元書狀

二二四五 (寶曆九年) 九月 七日 秋元涼朝書狀

二二四六 (寶曆九年) 九月 七日 秋元涼朝書狀

二二四七 (寶曆九年) 九月 七日 秋元涼朝書狀

二二四八 (寶曆九年) 九月 七日 秋元涼朝書狀

二二四九 (寶曆九年) 九月 七日 德川家重御内書

二二五〇 (寶曆九年) 九月 七日 秋元涼朝書狀

二二五一 (寶曆九年) 九月 七日 重豪、襲封ニ付諸寺院へ代參セ

二二五二 (寶曆九年) 九月 七日 重豪、襲封ニ付諸寺院へ代參セ

二二五三 (寶曆九年) 九月 七日 重豪、襲封ニ付諸寺院へ代參セ

二二五四 (寶曆九年) 九月 七日 重豪、襲封ニ付諸寺院へ代參セ

二二四三 (寶曆九年) 十月廿六日 松平武元書狀

二二四四 (寶曆九年) 十一月 二日 島津重豪伺書

二二四五 (寶曆九年) 十一月 三日 堀田正亮外四名^老幕府連署狀

二二四六 (寶曆九年) 十一月 三日 島津重豪請書

二二四七 (寶曆九年) 十一月 三日 島津重豪届書

二二四八 (寶曆九年) 十一月 三日 重豪、保姫^{徳川宗尹女}トノ縁組ヲ礼謝ス

二二四九 (寶曆九年) 十一月 四日 島津久柄書狀

二二五〇 (寶曆九年) 十一月 四日 島津重豪伺書

(の) (寶曆九年) 十一月 四日 島津重豪献上目錄

二二五一 (寶曆九年) 十一月 四日 島津重豪伺書

二二五二 (寶曆九年) 十一月 四日 献上物例書

二二五三 (寶曆九年) 十一月十一日 島津重豪伺書

二二五四 (寶曆九年) 十一月 九日 西尾忠尚書狀

二二五五 (寶曆九年) 十一月十八日 秋元涼朝書狀

二二五六 (寶曆九年) 十一月廿六日 西尾忠尚書狀

二二五七 (寶曆九年) 十一月廿七日 秋元涼朝書狀

二二五八 (寶曆九年) 十二月 六日 松平輝高書狀

二二五九 (寶曆九年) 十二月 六日 秋元涼朝書狀

二二六〇 (寶曆九年) 十二月 六日 重豪、御鷹ノ鶴ヲ拝領ス

二二六一 (寶曆九年) 十二月 九日 松平輝高書狀

二二六二 (寶曆九年) 十二月 九日 秋元涼朝書狀

二二六三 (寶曆九年) 十二月 九日 幕府、島津貴備女ト島津久柄トノ縁組ヲ許ス

二二六四 (寶曆九年) 十二月廿七日 徳川家重御内書

二二六五 (寶曆九年) 十二月廿七日 徳川家重御内書

二二六六 (寶曆九年) 十二月廿七日 徳川家重御内書

二二六七 (寶曆九年) 十二月廿七日 徳川家重御内書

- 二二六五 (實曆九年) 十二月廿七日 秋元涼朝書狀
- 二二六六 (實曆九年) 瀬やま外四名連署消息
- 二二六七 (實曆九年) 十二月廿七日 徳川家重御内書
- 二二六八 (實曆九年) 十二月廿七日 秋元涼朝書狀
- 二二六九 (實曆九年) 十二月廿九日 島津重豪請書
- 二二七〇 (實曆十年) 一月一日 島津重豪吉書
- 二二七一 (實曆十年) 一月八日 近衛内前書狀
- 二二七二 (實曆十年) 一月七日 松平武元書狀
- 二二七三 (實曆十年) 一月七日 秋元涼朝書狀
- 二二七四 (實曆十年) 一月九日 島津久郷書狀
- 二二七五 (實曆十年) 二月十四日 島津久峯返書
- 二二七六 (實曆十年) 一月十一日 島津重豪吉書
- 二二七七 (實曆十年) 一月十三日 松平武元書狀
- 二二七八 (實曆十年) 一月十三日 秋元涼朝書狀
- 二二七九 (實曆十年) (記事) 継豊、重豪ノ縁組整フヲ謝ス
- 二二八〇 (實曆十年) 一月十三日 松平武元書狀
- 二二八一 (實曆十年) 一月十五日 秋元涼朝書狀
- 二二八二 (實曆十年) 一月十八日 堀田正亮外四名幕府連署狀
- 二二八三 (實曆十年) 一月十八日 秋元涼朝書狀
- 二二八四 (實曆十年) (記事) 重豪、貫明公義ノ百五十年忌ヲ修ス
- 二二八五 (實曆十年) 一月廿五日 島津重豪加冠仮名書出
- 二二八六 (實曆十年) (記事) 重豪、家重・家治ノ昇進ヲ賀ス
- 二二八七 (實曆十年) 二月六日 酒井忠寄書狀
- 二二八八 (實曆十年) 二月六日 秋元涼朝書狀
- 二二八九 (實曆十年) 二月十二日 松平輝高書狀
- 二二九〇 (實曆十年) 二月十二日 秋元涼朝書狀
- 二二九一 (實曆十年) せやま外四名連署消息
- 二二九二 (實曆十年) せやま外四名連署消息
- 二二九三 (實曆十年) 三月十一日 堀田正亮書狀
- 二二九四 (實曆十年) 二月十三日 酒井忠寄書狀
- 二二九五 (實曆十年) (記事) 吉貴ノ令妹於伊勢神宮ニ詣テ、実子松平定喬ニ逢フ
- 二二九六 (實曆十年) 三月七日 島津重豪届書
- 二二九七 (實曆十年) 三月廿一日 酒井忠寄書狀
- 二二九八 (實曆十年) 三月廿五日 堀田正亮書狀
- 二二九九 (實曆十年) 三月廿五日 秋元涼朝書狀
- 二三〇〇 (實曆十年) 三月廿五日 島津重豪加冠仮名書出
- 二三〇一 (實曆十年) 三月廿六日 秋元涼朝書狀
- 二三〇二 (實曆十年) (記事) 継豊、將軍ノ本丸移徙ヲ賀ス
- 二三〇三 (實曆十年) (記事) 重豪、將軍讓職ヲ賀ス
- 二三〇四 (實曆十年) (記事) 継豊、恩賜ヲ謝ス
- 二三〇五 (實曆十年) 四月四日 菱刈実詮外二名家老連署知行目錄
- 二三〇六 (實曆十年) 四月六日 松平輝高書狀
- 二三〇七 (實曆十年) 四月六日 秋元涼朝書狀
- 二三〇八 (實曆十年) 四月十六日 松平輝高書狀
- 二三〇九 (實曆十年) 四月十八日 秋元涼朝書狀
- 二三一〇 (實曆十年) せやま外四名連署消息
- 二三一一 (實曆十年) 四月十九日 松平輝高書狀
- 二三一二 (實曆十年) 四月十九日 秋元涼朝書狀

- 二三一三 (寶曆十年) 四月廿五日 松平輝高書狀
- 二三一四 (寶曆十年) 四月廿五日 秋元涼朝書狀
- 二三一五 (寶曆十年) せやま外四名連署消息
- 二三一六 (寶曆十年) せやま外四名連署消息
- 二三一七 (寶曆十年) せやま外四名連署消息
- 二三一八 (寶曆十年) せやま外四名連署消息
- 二三一九 (寶曆十年) せやま外四名連署消息
- 二三二〇 (寶曆十年) 四月廿六日 秋元涼朝書狀
- 二三二一 (寶曆十年) (記事) 重豪、將軍任官ノ慶宴ヲ設ク
- 二三二二 (寶曆十年) 四月廿七日 島津重豪書狀
- 二三二三 (寶曆十年) 五月 朔日 島津重豪書狀
- 二三二四 (寶曆十年) 五月 二日 徳川家重御内書
- 二三二五 (寶曆十年) 五月 二日 秋元涼朝書狀
- 二三二六 (寶曆十年) 五月 二日 徳川家重御内書
- 二三二七 (寶曆十年) 五月 二日 秋元涼朝書狀
- 二三二八 (寶曆十年) 五月 四日 島津重豪屈書
- 二三二九 (寶曆十年) 五月 五日 島津重豪書狀
- 二三三〇 (寶曆十年) (記事) 継豊、家重・家治ノ転兼任ヲ賀ス
- 二三三一 (寶曆十年) 五月 九日 松平武元書狀
- 二三三二 (寶曆十年) 五月 九日 秋元涼朝書狀
- 二三三三 (寶曆十年) (記事) 島津氏役人書
- 二三三四 (寶曆十年) 五月十一日 島津重豪願書
- 二三三五 (寶曆十年) (記事) 継豊、將軍家移徙ヲ賀ス
- 二三三六 (寶曆十年) 五月十六日 堀田正亮外三名_{老中}連署狀
- 二三三七 (寶曆十年) 五月十六日 松平輝高書狀
- 二三三八 (寶曆十年) 五月十六日 堀田正亮書狀
- 二三三九 (寶曆十年) 五月十六日 松平輝高書狀
- 二三四〇 (寶曆十年) (記事) 重豪、代替ノ賀儀ヲ献ス
- 二三四一 (寶曆十年) (記事) 継豊、家治ノ將軍職承統ヲ賀ス
- 二三四二 (寶曆十年) 五月廿二日 堀田正亮外三名_{老中}連署狀
- 二三四三 (寶曆十年) (記事) 継豊、家重ニ賀品ヲ献ス
- 二三四四 (寶曆十年) 五月廿二日 松平輝高書狀
- 二三四五 (寶曆十年) (記事) 継豊、家重ノ退隠ヲ賀シ献品ス
- 二三四六 (寶曆十年) 五月廿二日 堀田正亮書狀
- 二三四七 (寶曆十年) 五月廿二日 松平輝高書狀
- 二三四八 (寶曆十年) 五月廿二日 堀田正亮書狀
- 二三四九 (寶曆十年) 五月廿二日 松平輝高書狀
- 二三五〇 (寶曆十年) 五月廿五日 松平輝高書狀
- 二三五一 (寶曆十年) たきかわ外六名連署消息
- 二三五二 (寶曆十年) 五月廿五日 島津重豪伺書
- 二三五三 (寶曆十年) 五月廿五日 島津重豪願書
- 二三五四 (寶曆十年) 六月 七日 酒井忠寄書狀
- 二三五五 (寶曆十年) 六月 七日 松平輝高書狀
- 二三五六 (寶曆十年) 六月十二日 酒井忠寄書狀
- 二三五七 (寶曆十年) 六月十二日 松平輝高書狀
- 二三五八 (寶曆十年) 六月十二日 酒井忠寄書狀
- 二三五九 (寶曆十年) 六月十二日 松平輝高書狀
- 二三六〇 (寶曆十年) 六月廿二日 松平輝高書狀
- 二三六一 (寶曆十年) 六月廿五日 松平輝高書狀
- 二三六二 (寶曆十年) 六月廿四日 堀田正亮書狀

- 二三六三(寶曆十年) 六月廿五日 島津重豪届書
 二三六四(寶曆十年) 七月 六日 堀田正亮外三名幕府連署状
 二三六五(寶曆十年) 七月 六日 松平輝高書状
 二三六六(寶曆十年) 七月 六日 堀田正亮書状
 二三六七(寶曆十年) 七月 六日 松平輝高書状
 二三六八(寶曆十年) 七月 七日 堀田正亮書状
 二三六九(寶曆十年) 七月 七日 松平輝高書状
 二三七〇(寶曆十年) 七月十二日 堀田正亮書状
 二三七一(寶曆十年) 七月十二日 松平輝高書状
 二三七二(寶曆十年) 滝川外六名連署消息
 二三七三(寶曆十年) 滝川外六名連署消息
 二三七四(寶曆十年) 滝かわ外六名連署消息
 二三七五(寶曆十年) 滝川外六名連署消息
 二三七六(寶曆十年) 七月十三日 島津重豪伺書
 二三七七(寶曆十年) (記事) 重豪、御鷹ノ雲雀扨領ス
 二三七八(寶曆十年) 七月廿三日 島津重豪願書
 二三七九(寶曆十年) 七月廿三日 堀田正亮書状
 二三八〇(寶曆十年) 七月廿三日 松平輝高書状
 二三八一(寶曆十年) 滝川外六名連署消息
 二三八二(寶曆十年) たき川外六名連署消息
 二三八三(寶曆十年) たき川外六名連署消息
 二三八四(寶曆十年) たき川外六名連署消息
 二三八五(寶曆十年) 七月廿六日 堀田正亮書状
 二三八六(寶曆十年) 七月廿七日 松平輝高書状
 二三八七(寶曆十年) 七月廿七日 たき川外六名連署消息
- 二三八八(寶曆十年) たき川外六名連署消息
 二三八九(寶曆十年) 滝川外六名連署消息
 二三九〇(寶曆十年) たき川外六名連署消息
 二三九一(寶曆十年) 八月 四日 松平輝高書状
 二三九二(寶曆十年) 八月 四日 秋元涼朝書状
 二三九三 (記事) 重豪、元久ノ三百五十年忌ヲ修又
 二三九四(寶曆十年) 八月 七日 島津重豪届書
 二三九五(寶曆十年) 八月十一日 島津重豪届書
 二三九六(寶曆十年) 八月 幕府老中申渡書
 二三九七 (記事) 繼豊、家重ヨリノ嘉賜扨載ス
 二三九八(寶曆十年) 八月十五日 秋元涼朝書状
 二三九九(寶曆十年) 八月十五日 松平輝高書状
 二四〇〇(寶曆十年) たき川外六名連署消息
 二四〇一(寶曆十年) たき川外六名連署消息
 二四〇二 寶曆二年 六月 朔日 島津久亮外二名幕府連署申渡書
 二四〇三(寶曆十年) 八月十八日 島津重豪書状
 二四〇四(寶曆十年) 八月十八日 島津重豪書状
 二四〇五(寶曆十年) 八月十八日 島津重豪書状
 二四〇六(寶曆十年) 八月十八日 島津重豪書状
 二四〇七(寶曆十年) 八月十八日 島津重豪書状
 二四〇八(寶曆十年) 八月十八日 島津重豪書状
 二四〇九(寶曆十年) 八月十八日 島津重豪書状
 二四一〇(寶曆十年) 八月十八日 島津重豪書状
 二四一一(寶曆十年) 八月 幕府指図書

- 二四二 (實曆十年) 八月廿一日 秋元涼朝書狀
- 二四三 實曆十年 八月廿七日 堀田正亮外三名幕府老中連署奉書
- 二四四 (記事) 繼豊、家治ノ將軍宣下ヲ賀ス
- 二四一 重豪、家治ノ將軍宣下ヲ賀ス
- 二四一五 (記事) 重豪、家治ノ將軍宣下ヲ賀ス
- 二四一六 (實曆十年) 九月 五日 松平武元書狀
- 二四一七 (實永十年) 九月 七日 徳川家治御内書
- 二四一八 (實曆十年) 九月 七日 松平輝高書狀
- 二四一九 (記事) 重豪、登城シ將軍宣下ヲ賀ス
- 二四二〇 (實曆十年) 九月十九日 堀田正亮外三名幕府老中連署狀
- 二四二一 (記事) 重豪、御靈所叙任ヲ賀ス
- 二四二二 (實曆十年) 九月廿三日 松平武元書狀
- 二四二三 (實曆十年) 九月廿三日 松平輝高書狀
- 二四二四 (實曆十年) 九月廿二日 松平武元書狀
- 二四二五 (實曆十年) 九月廿二日 松平輝高書狀
- 二四二六 九月廿五日 鎌田政芳外二名老中連署書狀
- 二四二七 十一月 六日 菱刈実詮返書
- 二四二八 (實曆十年) 九月廿五日 松平武元書狀
- 二四二九 (實曆十年) 九月廿五日 松平輝高書狀
- 二四三〇 (實曆十年) 十月 四日 島津重豪屈書
- 二四三一 (實曆十年) 十月 島津重豪申渡書
- 二四三二 (記事) 重豪、繼豊ノ門ニヨリ官医ヲ乞フ
- 二四三三 (實曆十年) 十月 七日 堀田正亮外三名幕府老中連署奉書
- 二四三四 (實曆十年) 十月 七日 松平輝高奉書
- 二四三五 實曆十年 十月 七日 幕府申渡書
- 二四三六 (記事) 將軍再ヒ繼豊ノ病ヲ問フモ既ニ
- 二四三七 (記事) 逝去ス
- 二四三八 (實曆十年) 十月 九日 堀田正亮外三名幕府老中連署奉書
- 二四三九 (實曆十年) 十月 九日 松平輝高書狀
- 二四四〇 (記事) 重豪、代繼祭文ヲ献ス
- 二四四一 島津重豪代繼祭文
- 二四四二 島津貴備祭文
- 二四四三 島津忠紀祭文
- 二四四四 島津忠通祭文
- 二四四五 島津久定祭文
- 二四四六 島津久尚祭文
- 二四四七 島津久亮祭文
- 二四四八 島津久芳祭文
- 二四四九 島津久丘祭文
- 二四五〇 島津久峯祭文
- 二四五一 島津久殿祭文
- 二四五二 種子島久芳祭文
- 二四五三 入来院定勝祭文
- 二四五四 (記事) 重豪、繼豊ノ中陰法事ヲ執行ス
- 二四五五 (記事) 重豪、領知判物ヲ拝領ス
- 二四五六 (實曆十年) 十月廿二日 秋元涼朝書狀
- 二四五七 (實曆十年) 十一月廿八日 島津重豪願書
- 二四五八 (實曆十年) 十一月 島津重豪同書
- 二四五九 十二月 琉球使參府例書

二四六〇 (寶曆十年) 十二月 九日 島津重豪請書

二四六一 (寶曆十年) 十二月十二日 松平輝高書狀

二四六二 (寶曆十年) 十二月十二日 秋元涼朝書狀

二四六三 (寶曆十年) 十二月十八日 川田国福書狀

二四六四 (寶曆十年) 一月十五日 樺山久智外二名家 連署返書

二四六五 (寶曆十年) 十二月廿七日 德川家治御内書

二四六六 (寶曆十年) 十二月廿七日 松平輝高書狀

二四六七 (寶曆十年) 一月 川田国福寄若年申渡書

二四六八 (寶曆十年) 二月 八日 川田国福書狀

二四六九 (寶曆十年) 三月 二日 樺山久智外二名家 連署返書

二四七〇 (寶曆十年) 三月 二日 重豪、重年ノ靈塔ヲ高野山ニ建立ス

二四七一 (寶曆十年) 六月十八日 蓮金院秀惠疏

二四七二 (寶曆十年) 六月 巴德院重年法事大曼茶羅供職衆請

二四七三 (寶曆十年) 六月 定 巴德院重年追薦大曼茶羅供職衆請

二四七四 (寶曆十年) (記事) 重豪、繼豊ノ遺髮ヲ高野山ヘ納メ、靈塔ヲ建シ

二四七五 (寶曆十年) 六月十七日 蓮金院秀惠契帖

二四七六 (寶曆十年) 六月 有邦院繼豊追薦大曼茶羅供職衆請

二四七七 (寶曆十年) 六月 定 有邦院繼豊法事大曼茶羅供職衆請

二四七八 (寶曆十年) 六月十七日 島津重豪諷誦文

二四七九 (寶曆十年) (記事) 重豪、有邦院ノ遺物ヲ有司知己ニ贈ル久柄、香奠・祭文ヲ有邦院ニ獻ス

二四八〇 島津久柄祭文

二四八一 琉球王祭文并供物ヲ獻ス

二四八二 琉球王尚穆祭文

二四八三 島津重豪吉書

二四八四 寶曆十年 一月十一日 島津重豪吉書

二四八五 (寶曆十年) 一月 七日 松平武元書狀

二四八六 (寶曆十年) 一月 七日 松平輝高書狀

二四八七 (記事) 重豪、御鷹ノ鶴拝領ス

二四八八 (記事) 重豪、帰國ス

二四八九 (寶曆十年) 二月 六日 近衛内前書狀

二四九〇 (記事) 重豪、奉文ノ取扱ヒヲ規定ス

二四九一 (寶曆十年) 島津重豪書狀

二四九二 (記事) 重豪、將軍宣下ヲ賀シ招宴ス

二四九三 (寶曆十年) 二月十九日 酒井忠寄外二名家兼府中連署狀

二四九四 (寶曆十年) 二月 廿日 秋元涼朝書狀

二四九五 (記事) 重豪登城シ武家諸法度ヲ受ク

二四九六 寶曆十年 二月廿一日 武家諸法度

二四九七 (寶曆十年) 二月廿二日 島津重豪書狀

二四九八 (寶曆十年) 二月廿四日 島津重豪届書

二四九九 (寶曆十年) 三月 朔日 島津重豪書狀

二五〇〇 (寶曆十年) 三月 朔日 島津重豪書狀

二五〇一 (寶曆十年) 島津重豪書狀

二五〇二 (寶曆十年) 三月十九日 松平武元書狀

二五〇三 (寶曆十年) 三月十九日 松平輝高書狀

二五〇四 (記事) 重豪、老女衆等ヲ賀宴ニ招待ス

- 二五〇五 (實曆十年) 四月 三日 島津重豪伺書
- 二五〇六 四月 幕府 献上物例書
- 二五〇七 (記事) 重豪、家督初メテ暇賜ハル
- 二五〇八 (實曆十年) 四月十六日 島津重豪書狀
- 二五〇九 (實曆十年) 四月十六日 島津重豪伺書
- 二五一〇 (實曆十年) 四月十六日 島津重豪伺書
- 二五一一 (實曆十年) 四月十七日 酒井忠寄外三名^{幕府}連署狀
- 二五一二 登城令書
- 二五一三 (記事) 重豪登營シ、將軍ニ拜謁ス
- 二五一四 (實曆十年) 四月十七日 島津重豪伺書
- 二五一五 (實曆十年) 四月十八日 幕府指図書
- 二五一六 四月十八日 島津重豪書狀
- 二五一一七 (實曆十年) 四月十九日 島津重豪書狀
- 二五一八 (實曆十年) 四月十九日 島津重豪起請文前書
- 二五一九 (實曆十年) 四月十九日 岩下方峯覚書
- 二五二〇 (實曆十年) 四月廿一日 島津重豪願書
- 二五二一 (實曆十年) 四月廿一日 島津重豪願書
- 二五二二 (實曆十年) 四月廿三日 菱刈実詮書狀
- 二五二三 記事 重豪、家督初メテ帰国ス
- 二五二四 (實曆十年) 五月 二日 徳川家治御内書
- 二五二五 (記事) 重豪、孝子褒賞
- 二五二六 (實曆十年) 五月十一日 松平武元書狀
- 二五二七 (實曆十年) 六月 朔日 松平武元書狀
- 二五二八 (記事) 重豪、徳徳院信宗ノ法事ヲ修ス
- 二五二九 (記事) 家重^{家重}馳ス 巡見使領内ヲ巡見ス
- 二五三〇 (實曆十年) 六月廿四日 島津重豪届書
- 二五三一 (の二) 六月十二日 菱刈実詮^家申渡書
- (の二) 六月十一日 幕府触書
- (の二) 六月十二日 幕府触書
- (の三) 六月 幕府触書
- (の四) 六月 幕府触書
- (の五) 六月十二日 江副某・中川某連署廻狀
- (の六) 六月十五日 家重葬礼諸役名書
- (の七) 六月十四日 幕府大目付副狀
- (の八) 幕府触書
- (の九) 六月十四日 幕府大目付副狀
- (の二) 六月十三日 幕府触書
- (の二) 六月十五日 幕府大目付副狀
- (の三) 六月 幕府触書
- 二五三二 (實曆十年) 六月廿五日 秋元涼朝書狀
- 二五三三 (實曆十年) 七月 三日 松平武元書狀
- 二五三四 (實曆十年) 島津重豪書狀
- 二五三五 (實曆十年) 七月廿三日 島津重豪届書
- 二五三六 (記事) 重豪、諸所ニ放鷹遊獵ス
- 二五三七 (實曆十年) 七月廿九日 松平武元書狀
- 二五三八 (實曆十年) 八月 朔日 松平武元書狀
- 二五三九 (實曆十年) 八月 三日 井上利容書狀
- 二五四〇 (實曆十年) 八月 四日 酒井忠寄外三名^{幕府}連署狀
- 二五四一 (實曆十年) 八月 六日 酒井忠寄外三名^{幕府}連署狀
- 二五四二 (實曆十年) 八月十五日 松平武元書狀

- 二五四三 (實曆十年) 八月廿日 酒井忠寄書狀
- 二五四四 (實曆十年) 八月廿七日 井上利容書狀
- 二五四五 (實曆十年) 八月廿七日 島津重豪書狀
- 二五四六 (實曆十年) 八月廿九日 井上利容書狀
- 二五四七 (實曆十年) 八月 幕府指圖書
- 二五四八 (實曆十年) 島津重豪書狀
- 二五四九 (實曆十年) 九月 三日 島津重豪屈書
- 二五五〇 (實曆十年) 九月 三日 重豪、伝来ノ系譜重器ヲ觀ル
- 二五五一 (實曆十年) 九月 七日 徳川家治御内書
- 二五五二 (實曆十年) 九月十二日 酒井忠寄書狀
- 二五五三 (實曆十年) 九月十五日 島津重豪書狀
- 二五五四 (實曆十年) 九月十五日 家治、重豪ノ初メテ國ニ帰ルヲ問フ
- 二五五五 (實曆十年) 九月十八日 酒井忠寄外三名^{幕府}連署狀
- 二五五六 (實曆十年) 九月廿二日 島津重豪書狀
- 二五五七 (實曆十年) 九月廿二日 酒井忠寄書狀
- 二五五八 (實曆十年) 九月廿四日 酒井忠寄書狀
- 二五五九 (實曆十年) 九月廿五日 酒井忠寄外三名^{幕府}連署狀
- 二五六〇 (實曆十年) 九月廿八日 酒井忠寄書狀
- 二五六一 (實曆十年) (記事) 一門宗族家老長臣等重豪ノ入部ヲ質ス
- 二五六二 (實曆十年) 九月 諸士御騰進上之次第
- 二五六三 (實曆十年) 十月 朔日 酒井忠寄書狀
- 二五六四 (實曆十年) 十月 四日 秋元涼朝書狀
- 二五六五 (實曆十年) 十月 島津重豪伺書
- 二五六六 (實曆十年) (記事) 重豪、家宣ノ法事ニ供薦ス
- 二五六七 (實曆十年) 十月十八日 島津重豪書狀
- 二五六八 (實曆十年) 十月廿一日 幕府指圖書
- 二五六九 (實曆十年) (記事) 在國ノ重豪領知判物ヲ受ク
- 二五七〇 (實曆十年) 十月廿一日 徳川家治領知判物
- 二五七一 (實曆十年) 十月廿一日 重豪、領知目錄ヲ受ク
- 二五七二 (實曆十年) 十月廿一日 松平乗祐・戸田氏英連署領知目錄
- 二五七三 (實曆十年) 十月廿一日 秋元涼朝書狀
- 二五七四 (實曆十年) 十月廿三日 島津重豪書狀
- 二五七五 (實曆十年) 十月廿三日 島津重豪書狀
- 二五七六 (實曆十年) 十月廿三日 島津重豪書狀
- 二五七七 (實曆十年) 十月廿三日 島津重豪書狀
- 二五七八 (實曆十年) 十月廿三日 島津重豪書狀
- 二五七九 (實曆十年) 十月廿三日 島津重豪書狀
- 二五八〇 (實曆十年) 九月廿五日 酒井忠寄外三名^{幕府}連署狀
- 二五八一 (實曆十年) 十月廿八日 秋元涼朝書狀
- 二五八二 (實曆十年) 十月廿八日 島津重豪加冠仮名書出
- 二五八三 (實曆十年) 十月廿八日 島津重豪書狀
- 二五八四 (實曆十年) (記事) 重豪、一門諸士山伏等ニ膳食ヲ与フ
- 二五八五 (實曆十年) 十月 島津久亮申渡書
- 二五八六 (實曆十年) 十月 家臣招宴次第
- 二五八七 (實曆十年) 十月 島津久亮申渡書
- 二五八八 (實曆十年) 十一月 朔日 島津久亮申渡書

- 二五八八〔實曆^十年〕十一月三日 島津重豪入部稻荷社社參次第
- 二五九〇〔實曆^十年〕 島津重豪入部社參日記
- 二五九一 (記事) 重豪、諸所ニ出遊ス
- 二五九二 (記事) 重豪、花尾権現ニ參詣ス
- 二五九三 實曆^十年 十一月 六日 大般若經寄進記
- 二五九四〔實曆^十年〕十一月 七日 島津久定申渡書
- 二五九五〔實曆^十年〕十一月 島津久亮申渡書
- 二五九六〔實曆^十年〕十一月十一日 松平輝高書狀
- 二五九七〔實曆^十年〕十一月十一日 松平武元外二名^{幕府}連署狀
- 二五九八〔實曆^十年〕十一月十四日 松平武元書狀
- 二五九九〔實曆^十年〕十一月十八日 松平武元書狀
- 二六〇〇〔實曆^十年〕十一月廿一日 松平武元書狀
- 二六〇一〔實曆^十年〕十一月 島津久亮申渡書
- 二六〇二〔實曆^十年〕十一月 島津久亮申渡書
- 二六〇三〔實曆^十年〕十一月 島津久亮申渡書
- 二六〇四 實曆^十年 十一月廿八日 島津重豪加冠仮名書出
- 二六〇五 實曆^十年 十一月廿八日 島津重豪加冠仮名書出
- 二六〇六 實曆^十年 十一月廿八日 島津重豪加冠仮名書出
- 二六〇七〔實曆^十年〕十一月 晦日 松平武元書狀
- 二六〇八 幕府指図書
- 二六〇九〔實曆^十年〕十二月 二日 松平武元書狀
- 二六一〇〔實曆^十年〕十二月 六日 松平武元書狀
- 二六一一〔實曆^十年〕十二月 七日 松平武元外三名^{幕府}連署狀
- 二六一二〔實曆^十年〕十二月十一日 松平武元書狀
- 二六一三 實曆^十年 十二月十一日 島津重豪寄進狀
- 二六一四 島津重豪寄進刀拵書
- 二六一五〔實曆^十年〕十二月十九日 松平武元書狀
- 二六一六〔實曆^十年〕十二月十九日 松平武元書狀
- 二六一七〔實曆^十年〕十二月十九日 島津重豪小城権現社參覽書
- 二六一八〔實曆^十年〕十二月十九日 島津重豪福ヶ迫諏方社參覽書
- 二六一九〔實曆^十年〕十二月廿一日 島津重豪請書
- 二六二〇〔實曆^十年〕十二月廿一日 島津久品申渡書
- 二六二一〔實曆^十年〕十二月廿一日 島津重豪書狀
- 二六二二 實曆^十年 十二月廿六日 島津重豪加冠仮名書出
- 二六二三〔實曆^十年〕十二月廿七日 徳川家治御内書
- 二六二四 實曆^十年 十二月廿八日 島津重豪加冠仮名書出
- 二六二五 實曆^十年 十二月廿八日 島津重豪加冠仮名書出
- 二六二六 (記事) 芝邸火シ重豪參勤ノ途ニ帰國
- 二六二七 實曆^十年 一月 一日 島津重豪吉書
- 二六二八〔實曆^十年〕一月 七日 松平輝高書狀
- 二六二九 實曆^十年 一月十一日 島津重豪吉書
- 二六三〇〔實曆^十年〕一月十一日 松平武元外三名^{幕府}連署狀
- 二六三一〔實曆^十年〕 島津重豪御判物拝領次第
- 二六三二 (記事) 入部中ノ重豪、土踊ヲ見ル
- 二六三三〔實曆^十年〕一月 上下土踊之次第書
- 二六三四〔實曆^十年〕一月 上下町踊之次第
- 二六三五 實曆^十年 一月廿五日 島津重豪袖判直書
- 二六三六 實曆^十年 一月廿五日 島津重豪袖判申渡書
- 二六三七 實曆^十年 一月廿五日 島津重豪証狀
- 二六三八 實曆^十年 一月廿六日 島津久亮外四名^{幕府}連署申渡書

二六三九〔寶曆三年〕 一月廿七日 松平輝高書狀

二六四〇〔寶曆三年〕 二月 二日 近衛内前書狀

二六四一〔寶曆三年〕 二月 二日 秋元涼朝書狀

二六四二〔寶曆三年〕 二月 四日 秋元涼朝書狀

二六四三 (記事) 重豪、參勤ノ途次芝第焼亡ヲ聞

二六四四〔寶曆三年〕 二月十二日 秋元涼朝書狀

二六四五〔寶曆三年〕 二月十三日 酒井忠寄外四名幕府連署狀

二六四六〔寶曆三年〕 二月十六日 菱刈実詮・高橋種寿連署書狀

二六四七〔寶曆三年〕 三月十九日 島津久亮返書

二六四八 島津久品・島津久金連署書狀

二六四九 菱刈実詮・高橋種寿連署書狀

二六五〇 島津久亮外二名老連署返書

二六五一〔寶曆三年〕 二月十七日 菱刈実詮・高橋種寿連署書狀

二六五二〔寶曆三年〕 三月 九日 島津久金・島津久品連署返書

二六五三 (記事) 重豪參勤ノ途次、芝第焼亡ヲ聞

二六五四〔寶曆三年〕 二月十八日 松平武元外二名幕府連署奉書

二六五五〔寶曆三年〕 二月十九日 酒井忠寄外三名老中連署奉書

二六五六〔寶曆三年〕 二月十九日 酒井忠寄外三名老中連署奉書

二六五七〔寶曆三年〕 二月十九日 菱刈実詮・高橋種寿連署書狀

二六五八〔寶曆三年〕 三月 九日 島津久金・島津久品連署返書

二六五九〔寶曆三年〕 二月 廿日 菱刈実詮・高橋種寿連署書狀

二六六〇〔寶曆三年〕 三月 九日 島津久金・島津久品連署返書

二六六一〔寶曆三年〕 二月廿二日 登城令書

二六六二 (記事) 幕府芝第造宮費ヲ貸与ス

二六六三 幕府達書

二六六四〔寶曆三年〕 二月廿三日 菱刈実詮・高橋種寿連署書狀

二六六五〔寶曆三年〕 二月廿三日 菱刈実詮・高橋種寿連署書狀

二六六六〔寶曆三年〕 三月十九日 島津久亮外四名老連署返書

二六六七〔寶曆三年〕 二月廿三日 菱刈実詮・高橋種寿連署書狀

二六六八〔寶曆三年〕 三月 九日 島津久金・島津久品連署返書

二六六九 寶曆三年 二月 拜借金請取狀

二六七〇 幕府勘定吟味役連署裏書

二六七一〔寶曆三年〕 二月廿六日 松平武元書狀

二六七二 寶曆三年 二月廿八日 島津久尙・町田久連連署副狀

二六七三〔寶曆三年〕 二月廿九日 秋元涼朝書狀

二六七四〔寶曆三年〕 三月 六日 井上利容書狀

二六七五〔寶曆三年〕 三月 九日 井上利容書狀

二六七六〔寶曆三年〕 三月 九日 島津久金・島津久品連署書狀

二六七七〔寶曆三年〕 三月十九日 島津久亮外二名連署返書

二六七八〔寶曆三年〕 三月 九日 島津久金・島津久品連署書狀

二六七九〔寶曆三年〕 三月十九日 島津久亮外二名老連署返書

二六八〇〔寶曆三年〕 島津重豪書狀

二六八一 寶曆三年 三月十五日 島津重豪疏

二六八二〔寶曆三年〕 三月廿六日 井上利容書狀

二六八三〔寶曆三年〕 三月廿七日 井上利容書狀

二六八四〔寶曆三年〕 四月 二日 酒井忠寄書狀

二六八五 (記事) 重豪、増上寺悖信廟ニ燈籠ヲ献

- 二六八六 (寶曆七年) 六月十二日 島津重豪寄進燈籠銘
二六八七 (寶曆七年) 四月 十日 菱刈実詮・高橋種寿在府老連署書狀
二六八八 (寶曆七年) 四月 晦日 島津久亮外四名在國老連署返書
二六八九 四月十六日 酒井忠寄書狀
二六九〇 (寶曆七年) 四月十九日 松平輝高書狀
二六九一 (寶曆七年) 四月廿二日 酒井忠寄書狀
二六九二 (記事) 重豪、芝守殿隣地ヲ借地ス
二六九三 (寶曆七年) 高津重豪書狀
二六九四 (寶曆七年) 四月廿七日 菱刈実詮・高橋種寿連署書狀
二六九五 (寶曆七年) 閏四月廿八日 島津久亮外四名連署返書
二六九六 (寶曆七年) 四月廿八日 酒井忠寄書狀
二六九七 (寶曆七年) 五月 二日 徳川家治御内書
二六九八 (記事) 重豪參勤ス
二六九九 (記事) 重豪參勤ス
二七〇〇 (寶曆七年) 五月廿三日 松平輝高書狀
二七〇一 (寶曆七年) 五月廿八日 松平輝高書狀
二七〇二 (記事) 重豪ノ芝第宮作ニ家臣等資金ヲ調進ス
二七〇三 (寶曆七年) 六月 五日 秋元涼朝書狀
二七〇四 (記事) 重豪、家重ノ小祥忌ニ香奠ヲ献ス
二七〇五 (寶曆七年) 六月廿七日 秋元涼朝書狀
二七〇六 (記事) 重豪、島津貞久ノ四百年忌ヲ修ス
二七〇七 (寶曆七年) 七月 六日 酒井忠寄外四名老中連署書狀
二七〇八 (寶曆七年) 七月 九日 菱刈実詮在府老連署書狀
二七〇九 (寶曆七年) 七月十一日 井上利容書狀
二七一〇 (寶曆七年) 七月十二日 松平輝高書狀
二七一 七月十一日 重豪、天皇兩桃崩御ヲ弔ヒ香奠ヲ献納ス
二七一二 (寶曆七年) 七月廿二日 井上利容書狀
二七一三 (寶曆七年) 七月 山沢盛福留守
二七一四 (寶曆七年) 八月 山沢盛福留守 同書
二七一五 (寶曆七年) 八月 松平武元外二名老中連署書狀
二七一六 (寶曆七年) 八月十四日 酒井忠寄外三名老中連署書狀
二七一七 登城令書
二七一八 (記事) 重豪登營シ參府ヲ礼謝ス
二七一九 (寶曆七年) 滝川外七名連署消息
二七二〇 (記事) 重豪、將軍ヘ國産ノ馬ヲ献ス
二七二一 (寶曆七年) 八月廿五日 酒井忠寄書狀
二七二二 寶曆七年 八月廿五日 島津重豪金子請取狀并裏書
二七二三 (寶曆七年) 九月 七日 徳川家治御内書
二七二四 (寶曆七年) 九月十五日 松平武元書狀
二七二五 (記事) 重豪、継豊ノ三回忌ヲ修ス
二七二六 (寶曆七年) 九月廿九日 松平武元書狀
二七二七 (記事) 重豪、守殿ヲ造宮ス
二七二八 (寶曆七年) 十月十三日 山沢盛福留守 口上覚書
二七二九 (寶曆七年) 十月廿日 松平武元書狀
二七三〇 (寶曆七年) 十月廿一日 島津重豪書狀
二七三一 (寶曆七年) 十月廿一日 島津重豪書狀

二七三二 (記事) 重豪登宮シ、竹千代家誕生ヲ賀

又

二七三三 (寶曆十年) 十月 高橋種寿・島津久郷家連署申渡

書

二七三四 芝邸各間飾付次第書

二七三五 (寶曆十年) 十月 御結納次第書

二七三六 (寶曆十年) 十一月 御結納使者取持次第書

二七三七 幕府指圖書

二七三八 (寶曆十年) 十二月十二日 松平武元外二名幕府連署狀

二七三九 (記事) 重豪、令嗣降誕ヲ祝シ登宮ス

二七四〇 (寶曆十年) 十一月 川田因福家申渡書

二七四一 (寶曆十年) 十二月十四日 高橋種寿・島津久郷存府連署書狀

二七四二 (寶曆十年) 十二月廿八日 島津久亮外二名存國連署返書

二七四三 (記事) 重豪、御廣ノ御拜領又家治、重豪ノ成婚ヲ賀ス

二七四四 (寶曆十年) 十二月 九日 島津久郷・高橋種寿存府連署書狀

二七四五 (寶曆十年) 一月 六日 島津久亮外二名存國連署返書

二七四六 保姫 徳川宗 入興次第

二七四七 保姫 尹息女 入興次第

二七四八 保姫入興并祝宴次第

二七四九 保姫入興当日祝儀次第

二七五〇 (寶曆十年) 十二月 四日 保姫 徳川宗 入興規式次第

二七五一 (寶曆十年) 保姫入興行列次第

二七五二 (寶曆十年) 十二月十四日 酒井忠寄外四名幕府連署狀

二七五三 (記事) 重豪、婚儀ノ成ルヲ礼謝シ將軍

へ献物ス

二七五四 (寶曆十年) 十二月十八日 松平輝高書狀

むめた外六名連署消息

二七五五 (寶曆十年) 島津重豪進上太刀目錄

二七五六 進上太刀拵書

二七五七 十二月廿一日 重豪、宗尹ノ家臣ヲ招キ饗応ス

二七五八 (記事) 徳川家治御内書

二七五九 (寶曆十年) 十二月廿七日 松平康福書狀

二七六〇 (寶曆十年) 十二月廿八日 島津久郷・高橋種寿連署首尾書

二七六一 (寶曆十年) 十二月廿八日 島津久亮外三名存國連署返書

二七六二 (寶曆十年) 一月 三日 高橋種寿・島津久郷家連署申渡

二七六三 (寶曆十年) 十二月 書

二七六四 寶曆十年 一月 一日 島津重豪吉書

二七六五 (記事) 重豪、寶曆十三年在國公辺記事

二七六六 (寶曆十年) 一月 七日 松平康福書狀

二七六七 (寶曆十年) 一月 七日 酒井忠寄書狀

二七六八 寶曆十年 一月十一日 島津重豪吉書

二七六九 (寶曆十年) 一月十一日 秋元涼朝書狀

二七七〇 (寶曆十年) 一月十一日 松平康福書狀

二七七一 (寶曆十年) 一月十五日 松平輝高書狀

二七七二 (寶曆十年) 二月十八日 島津重豪書狀

二七七三 (寶曆十年) 二月十八日 島津重豪書狀

二七七四 (寶曆十年) 二月十八日 島津重豪書狀

二七七五 (寶曆十年) 二月十八日 島津重豪書狀

二七七六 (寶曆十年) 二月十八日 島津重豪書狀

二七七七 (寶曆十年) 二月十八日 島津重豪書狀

二七七八 二月十八日 島津重豪書狀

二七七九 二月十八日 島津重豪書狀
二七八〇 (寶曆十五年) 二月十八日 島津重豪書狀
二七八一 (記事) 重豪、竹千代ノ色直ヲ慶賀セシ
ム

二七八二 (寶曆十五年) 三月 朔日 松平康福書狀
二七八三 (寶曆十五年) 三月 朔日 松平輝高書狀

二七八四 (記事) 重豪、郷士ノ善行ヲ賞ス
重豪、竹千代ノ表出御ヲ賀セシム

二七八五 三月廿九日 島津重豪書狀
二七八六 (寶曆十五年) 三月廿九日 島津重豪伺書
幕府指図書

(の二)

二七八七 (寶曆十五年) 島津重豪書狀
二七八八 松嶋消息

二七八九 (記事) 重豪、帰國ノ暇ヲ賜ハル

二七九〇 (寶曆十五年) 四月十三日 島津重豪伺書
二七九一 (寶曆十五年) 四月十三日 島津重豪伺書

二七九二 (寶曆十五年) 四月十三日 酒井忠寄外三名幕府連署狀
二七九三 登城令書

二七九四 寶曆十五年 四月廿二日 島津重豪願書
二七九五 (寶曆十五年) 四月廿四日 有川貞厚伺書

二七九六 (寶曆十五年) 四月廿八日 松平康福書狀
二七九七 (記事) 重豪、帰國シ礼使ヲ派ス

二七九八 (寶曆十五年) 五月 二日 徳川家治御内書
二七九九 (寶曆十五年) 五月 二日 松平康福書狀

二八〇〇 (寶曆十五年) 五月 四日 秋元涼朝書狀
二八〇一 (寶曆十五年) 五月廿九日 秋元涼朝書狀

二八〇二 (記事) 重豪、家重ノ法事ニ香燵ヲ献ス
二八〇三 (寶曆十五年) 六月十五日 松平康福西丸書狀
二八〇四 (寶曆十五年) 六月十五日 松平武元書狀
二八〇五 (記事) 重豪、吉宗ノ法事ニ香燵ヲ献セシム

二八〇六 (寶曆十五年) 七月 六日 酒井忠寄外三名幕府連署狀
二八〇七 (寶曆十五年) 七月 六日 松平康福西丸書狀
二八〇八 (寶曆十五年) 七月十二日 酒井忠寄書狀
二八〇九 (記事) 重豪、中山王ヲシテ家重ノ討ヲ弔ハシム

二八一〇 (寶曆十五年) 七月廿日 秋元涼朝書狀

二八一二 (寶曆十五年) 七月 島津重豪内意書

二八一三 (寶曆十五年) 七月 島津久亮外四名在國連署申渡書
二八一四 (寶曆十五年) 七月 晦日 島津久亮外四名在國連署申渡書

二八一五 (寶曆十五年) 八月 四日 松平康福西丸書狀
二八一六 (寶曆十五年) 八月 四日 酒井忠寄外三名幕府連署狀

二八一七 (寶曆十五年) 八月十五日 酒井忠寄書狀
二八一八 (寶曆十五年) 八月十八日 酒井忠寄書狀

二八一九 (寶曆十五年) 八月廿五日 酒井忠寄書狀
二八二〇 (寶曆十五年) 八月廿九日 酒井忠寄書狀

二八二一 (寶曆十五年) 九月 小松清香申渡書
二八二二 (寶曆十五年) 九月 小松清香伺書

二八二三 (寶曆十五年) 九月 四日 板倉勝清書狀
二八二四 (寶曆十五年) 九月 七日 徳川家治御内書

二八二五 (寶曆七年) 九月 七日 松平康福^{西丸}書狀
 二八二六 (寶曆七年) 九月十一日 松平輝高書狀
 二八二七 (寶曆七年) 九月十一日 松平康福書狀
 二八二八 (寶曆七年) 九月十一日 秋元涼朝書狀
 二八二九 (寶曆七年) 九月十一日 松平康福書狀
 二八三〇 (寶曆七年) 九月十三日 秋元涼朝書狀
 二八三一 (寶曆七年) 九月十三日 秋元涼朝書狀
 二八三二 (寶曆七年) 九月十五日 松平康福書狀
 二八三三 (寶曆七年) 九月十五日 秋元涼朝書狀
 二八三四 (寶曆七年) 九月十六日 松平康福書狀
 二八三五 (寶曆七年) 九月十六日 酒井忠寄外三名^{幕府}連署狀
 二八三六 (寶曆七年) 十月 七日 板倉勝清^{西丸}書狀
 二八三七 (寶曆七年) 十月 七日 酒井忠寄外三名^{幕府}連署狀
 二八三八 (寶曆七年) (記事) 重豪、吉貴ノ十七回忌ヲ修ス
 二八三九 (寶曆七年) (記事) 悟姫^{重豪}誕生
 二八四〇 (寶曆七年) 十月廿八日 島津重豪加冠仮名書出
 二八四一 (寶曆七年) 十月廿八日 島津重豪加冠仮名書出
 二八四二 (寶曆七年) 十一月 朔日 松平輝高書狀
 二八四三 (寶曆七年) 十一月 朔日 島津重豪加冠仮名書出
 二八四四 (寶曆七年) 十一月十三日 松平康福書狀
 二八四五 (寶曆七年) 十一月十三日 松平輝高書狀
 二八四六 (寶曆七年) 十一月十五日 島津重豪公帖
 二八四七 (寶曆七年) 十一月十五日 島津重豪公帖
 二八四八 (寶曆七年) 十一月十五日 島津重豪公帖
 二八四九 (寶曆七年) 十一月十八日 松平輝高書狀

二八五〇 (寶曆七年) 十一月十八日 松平康福書狀
 二八五一 (寶曆七年) 十二月 四日 松平武元書狀
 二八五二 (寶曆七年) (記事) 重豪、後桜町帝即位ヲ賀ス
 二八五三 (寶曆七年) 十二月 五日 松平康福書狀
 二八五四 (寶曆七年) 十二月 五日 松平武元書狀
 二八五五 (寶曆七年) 十二月 五日 島津重豪願書
 二八五六 (寶曆七年) 十二月 五日 島津重豪願書
 二八五七 (寶曆七年) 十二月十五日 島津久峯外五名連署書狀
 二八五八 (寶曆七年) 十二月十五日 松平武元書狀
 二八五九 (寶曆七年) 十二月十五日 松平康福書狀
 二八六〇 (寶曆七年) 十二月十八日 島津重豪加冠仮名書出
 二八六一 (寶曆七年) 十二月十八日 松平武元書狀
 二八六二 (寶曆七年) 十二月十八日 松平康福^{西丸}書狀
 二八六三 (寶曆七年) 十二月十八日 松平武元書狀
 二八六四 (寶曆七年) 十二月十八日 松平武元書狀
 二八六五 (寶曆七年) 十二月十八日 松平康福^{西丸}書狀
 二八六六 (寶曆七年) 十二月十八日 松平康福^{西丸}書狀
 二八六七 (寶曆七年) 十二月十九日 松平武元書狀
 二八六八 (寶曆七年) 十二月十九日 松平康福^{西丸}書狀
 二八六九 (寶曆七年) 十二月十九日 松平武元書狀
 二八七〇 (寶曆七年) 十二月十九日 松平康福^{西丸}書狀
 二八七一 (寶曆七年) 十二月十九日 島津重豪書狀
 二八七二 (寶曆七年) 十二月廿七日 むめた外六名連署消息
 二八七三 (寶曆七年) 十二月廿七日 徳川家治御内書

- 二八七四 (寶曆三年) 十二月廿七日 松平康福_{老中}書狀
- 二八七五 幕府老中指圖書
- 二八七六 (寶曆三年) 十二月廿八日 松平康福_{老中}書狀
- 二八七七 (寶曆三年) 十二月廿九日 酒井忠寄外四名_{幕府老中}連署狀
- 二八七八 幕府老中指圖書
- 二八七九 (寶曆三年) 十二月廿九日 松平康福_{老中}書狀
- 二八八〇 (寶曆三年) 十二月廿九日 酒井忠寄外四名_{幕府老中}連署狀
- 二八八一 幕府老中指圖書
- 二八八二 (寶曆三年) 十二月廿九日 板倉勝清_{老中}書狀
- 二八八三 (寶曆三年) 十二月廿九日 板倉勝清_{老中}書狀
- 二八八四 幕府指圖書
- 二八八五 (寶曆三年) 十二月廿九日 松平武元書狀
- 二八八六 (寶曆三年) 十二月廿九日 松平康福_{老中}書狀

鹿兒島県史料編さん関係者

顧問 聖心女子大 講師 大久保 利謙

早稻田大 教授 竹内 理三

學習院大 學長 兒玉 幸多

東洋大 教授 沼田 次郎

前東京大 教授 小西 四郎

東京大 教授 山口 啓二

北川 鐵三

原口 虎雄

五味 克夫

山下 千本

山本 政正

岡本 政徳

鎌倉 繁

本田 親宣

藏敷 清子

田島 秀隆

下堂 純治

堂満 幸子

久留 涼子

伊東 洋子

木山 常一

田實 勇

今別府 修一

西迫 清成

安田 繁

村野 守次

桑波 興

四本 健光

桃園 恵真

山口 啓二

小西 四郎

沼田 次郎

兒玉 幸多

竹内 理三

大久保 利謙

鹿兒島県史料 旧記雜録追録 5

昭和 49 年 11 月 20 日 印刷
 昭和 50 年 2 月 1 日 発行 非 売 品

編 集 鹿兒島県維新史料編さん所

発 行 鹿 兒 島 県

印 刷 所 合名会社 文尚堂印刷所
 鹿兒島市西千石町 1 - 8
 電話 (0992) - 22 - 1643
 23 - 7723